

## 基本計画書

基本計画																																				
事項	記入欄								備考																											
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更																																			
フリガナ設置者	ガッコウホウジン イワテイカダイガク 学校法人 岩手医科大学																																			
フリガナ大学の名称	イワテイカダイガク 岩手医科大学																																			
大学本部の位置	岩手県紫波郡矢巾町医大通一丁目1番1号																																			
大学の目的	<p>本学の目的は、医学教育、歯学教育、薬学教育及び看護学教育を通じて誠の人間を育成するにある。すなわち、まず人としての教養を高め、十分な知識と技術とを修得させ、更に進んでは専門の学理を究め、実地の修練を積み、出でては力を厚生済民に尽くし、入っては真摯な学者として、斯道の進歩発展に貢献させること、これが本学の使命とする所である。</p>																																			
新設学部等の目的	<p>令和6年度を期限とする35名の入学定員数について、令和7年度までの期限を付した再度の入学定員増を行い、令和7年度に再度の定員増を行わなかった場合の95名から令和7年度に再度の定員増を行った場合の入学定員130名に変更する。 これに併せて、令和7年度の再度の定員増を行った場合の収容定員数についても、令和7年度までの期限を付した臨時の入学定員増を踏まえ、再度の定員増を行わなかった場合の570名から再度の定員増を行った場合の605名に変更する。</p>																																			
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	医学部医学科の今回の35名の入学定員の増員は、令和7年度までの臨時定員増である。また、医学部医学科の令和6年度における収容定員は769名である。																										
	医学部 医学科	6	130 (95)	—	605 (570)	学士(医学)	医学関係	令和7年4月 第1年次	岩手県紫波郡矢巾町医大通一丁目1番1号																											
	歯学部 歯学科	6	73	—	438	学士(歯学)	歯学関係	昭和40年4月 第1年次	岩手県盛岡市中央通一丁目3番27号																											
	薬学部 薬学科	6	50	—	300	学士(薬学)	薬学関係	平成19年4月 第1年次	岩手県紫波郡矢巾町医大通一丁目1番1号																											
	看護学部 看護学科	4	90	3年次 5	370	学士(看護学)	保健衛生学 (看護学関係)	平成29年4月 第1年次	岩手県紫波郡矢巾町医大通一丁目1番1号																											
	計		343 (308)	5	1713 (1678)			平成31年4月 第3年次																												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>入学定員</td> <td>収容定員</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>130</td> <td>769</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>130</td> <td>772</td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td>95</td> <td>737</td> </tr> <tr> <td>令和9年度</td> <td>95</td> <td>706</td> </tr> <tr> <td>令和10年度</td> <td>95</td> <td>675</td> </tr> <tr> <td>令和11年度</td> <td>95</td> <td>640</td> </tr> <tr> <td>令和12年度</td> <td>95</td> <td>605</td> </tr> <tr> <td>令和13年度</td> <td>95</td> <td>570</td> </tr> </table>											入学定員	収容定員	令和6年度	130	769	令和7年度	130	772	令和8年度	95	737	令和9年度	95	706	令和10年度	95	675	令和11年度	95	640	令和12年度	95	605	令和13年度	95	570
	入学定員	収容定員																																		
令和6年度	130	769																																		
令和7年度	130	772																																		
令和8年度	95	737																																		
令和9年度	95	706																																		
令和10年度	95	675																																		
令和11年度	95	640																																		
令和12年度	95	605																																		
令和13年度	95	570																																		
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）																																				
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数																														
		講義	演習	実験・実習	計																															
—		— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	— 単位																														
学部等の名称		基幹教員					助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)																												
		教授	准教授	講師	助教	計																														
新	医学部 医学科	52 (52)	33 (33)	41 (41)	45 (45)	171 (171)	3 (3)	257 (257)																												
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	52 (52)	33 (33)	41 (41)	45 (45)	171 (171)																														
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)																														
	小計（a～b）	52 (52)	33 (33)	41 (41)	45 (45)	171 (171)																														
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)																														
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)																														
計（a～d）	52 (52)	33 (33)	41 (41)	45 (45)	171 (171)																															

設	歯学部 歯学科	18 (18)	13 (13)	12 (12)	44 (44)	87 (87)	0 (0)	10 (10)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 64人				
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	18 (18)	13 (13)	12 (12)	44 (44)	87 (87)							
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
	小計（a～b）	18 (18)	13 (13)	12 (12)	44 (44)	87 (87)							
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
	計（a～d）	18 (18)	13 (13)	12 (12)	44 (44)	87 (87)							
	薬学部 薬学科	14 (14)	7 (7)	3 (3)	8 (8)	32 (32)				0 (0)	1 (1)		
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	14 (14)	7 (7)	3 (3)	8 (8)	32 (32)							
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
	小計（a～b）	14 (14)	7 (7)	3 (3)	8 (8)	32 (32)							
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
	計（a～d）	14 (14)	7 (7)	3 (3)	8 (8)	32 (32)							
	看護学部 看護学科	6 (6)	7 (7)	10 (10)	7 (7)	30 (30)						3 (3)	0 (0)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	7 (7)	10 (10)	7 (7)	30 (30)							
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
	小計（a～b）	6 (6)	7 (7)	10 (10)	7 (7)	30 (30)							
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
計（a～d）	6 (6)	7 (7)	10 (10)	7 (7)	30 (30)								
教養教育センター	4 (4)	6 (6)	5 (5)	9 (9)	24 (24)	0 (0)	0 (0)						
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	6 (6)	5 (5)	9 (9)	24 (24)								
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
小計（a～b）	4 (4)	6 (6)	5 (5)	9 (9)	24 (24)								
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
計（a～d）	4 (4)	6 (6)	5 (5)	9 (9)	24 (24)								
計	94 (94)	66 (66)	71 (71)	113 (113)	344 (344)			6 (6)	— (—)				
分													

既設	なし	-	-	-	-	-	-	-	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 - 人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(0)	(0)	
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位の以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	小計(a~b)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位の以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位の以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	計(a~d)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
分	計	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
合計		94 (94)	66 (66)	71 (71)	113 (113)	344 (344)	6 (6)	- (-)	
職種		専属			その他		計		
事務職員		291 (291)			186 (186)		477 (477)		人
技術職員		1827 (1827)			59 (59)		1886 (1886)		
図書館職員		7 (7)			8 (8)		15 (15)		
その他の職員		55 (55)			77 (77)		132 (132)		
指導補助者		0 (0)			0 (0)		0 (0)		
計		2180 (2180)			330 (330)		2510 (2510)		
校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用		計			
	校舎敷地	241,342.12㎡	0㎡	0㎡		241,342.12㎡			
	その他	292,597.63㎡	0㎡	0㎡		292,597.63㎡			
	合計	533,939.75㎡	0㎡	0㎡		533,939.75㎡			
校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用		計			
		108,732.29㎡ (108,732.29㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)		108,732.29㎡ (108,732.29㎡)			
教室・教員研究室		教室	198室	教員研究室		260室		大学全体	
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕		電子ジャーナル 〔うち外国書〕		機械・器具 点	標本 点
	大学全体	310,659 [137,644] (303,084 [137,264])	5,727 [5,477] (5,642 [5,477])	13,377 [6,101] (13,377 [6,101])	5,177 [3,517] (5,177 [3,517])	11,068 (11,068)	44 (44)		
	計	310,659 [137,644] (303,084 [137,264])	5,727 [5,477] (5,642 [5,477])	13,377 [6,101] (13,377 [6,101])	5,177 [3,517] (5,177 [3,517])	11,068 (11,068)	44 (44)		
スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂		厚生補導施設		大学全体	
		83,154.70㎡		1,067.99㎡		5,862.66㎡			
経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体 図書費には電子ジャーナルデータベースの整備費(運用コスト)を含む。
	経費の見積り		257千円	257千円	257千円	257千円	257千円	257千円	
	教員1人当り研究費等		156,232千円	156,232千円	156,232千円	156,232千円	156,232千円	156,232千円	
	共同研究費等		141,797千円	141,797千円	141,797千円	141,797千円	141,797千円	141,797千円	
	図書購入費		759,600千円	758,750千円	758,750千円	758,750千円	758,750千円	758,750千円	
	設備購入費		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	学生1人当り納付金		医学部 9,000千円	医学部 5,000千円	医学部 5,000千円	医学部 5,000千円	医学部 5,000千円	医学部 5,000千円	
		歯学部 6,100千円	歯学部 4,300千円	歯学部 4,300千円	歯学部 4,300千円	歯学部 4,300千円	歯学部 4,300千円		
		薬学部 2,175千円	薬学部 1,895千円	薬学部 1,895千円	薬学部 1,895千円	薬学部 1,895千円	薬学部 1,895千円		
		看護学部 1,650千円	看護学部 1,400千円	看護学部 1,400千円	看護学部 1,400千円	-	-		
学生納付金以外の維持方法の概要		寄付金、研究助成金及び補助金、雑収入等							

大学等の名称	岩手医科大学								所在地	
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度		
既設大学等の状況	医学部 医学科	6	130	—	769	学士（医学）	1.04	令和6年	岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1	平成30年度入学定員減(△40人) 令和3年度入学定員減(△40人) 令和6年度入学定員減(△30人)
	歯学部 歯学科	6	73	—	438	学士（歯学）	0.55	昭和40年	岩手県盛岡市中央通1-3-27	
	薬学部 薬学科	6	50	—	530	学士（薬学）	0.48	平成19年	岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1	
	看護学部 看護学科	4	90	3年次 <sup>5</sup>	370	学士（看護学）	0.98	平成29年	岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1	
	医学研究科生理系専攻	4	6	—	24	博士（医学）	0.00	昭和35年	岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1	
	医学研究科病理系専攻	4	3	—	12	博士（医学）	0.33	昭和35年	岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1	
	医学研究科社会学系専攻	4	2	—	8	博士（医学）	0.75	昭和35年	岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1	
	医学研究科内科系専攻	4	20	—	80	博士（医学）	0.50	昭和35年	岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1	
	医学研究科外科系専攻	4	19	—	76	博士（医学）	0.67	昭和35年	岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1	
	医学研究科医科学専攻	2	10	—	20	修士（医科学）	0.90	平成16年	岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1	
	歯学研究科歯学専攻	4	18	—	72	博士（歯学）	0.36	昭和58年	岩手県盛岡市中央通1-3-27	
	薬学研究科医療薬学専攻	4	3	—	12	博士（薬学）	0.25	平成25年	岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1	
附属施設の概要	<p>施設名称・目的・規模等（所在地、設置年月）</p> <p>名称：岩手医科大学附属病院 （岩手県紫波郡矢巾町医大通2-1-1、令和元年9月設置） 岩手医科大学附属内丸メディカルセンター （岩手県盛岡市内丸19-1、令和元年9月設置） 目的：医学歯学の教育・実習・研究のため 規模等：土地 181,131.38㎡、建物 125,903.80㎡</p> <p>名称：岩手医科大学附属薬用植物園 （岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1、平成19年4月設置） 目的：薬学の教育・研究のため 規模等：671.30㎡</p>									

(注)

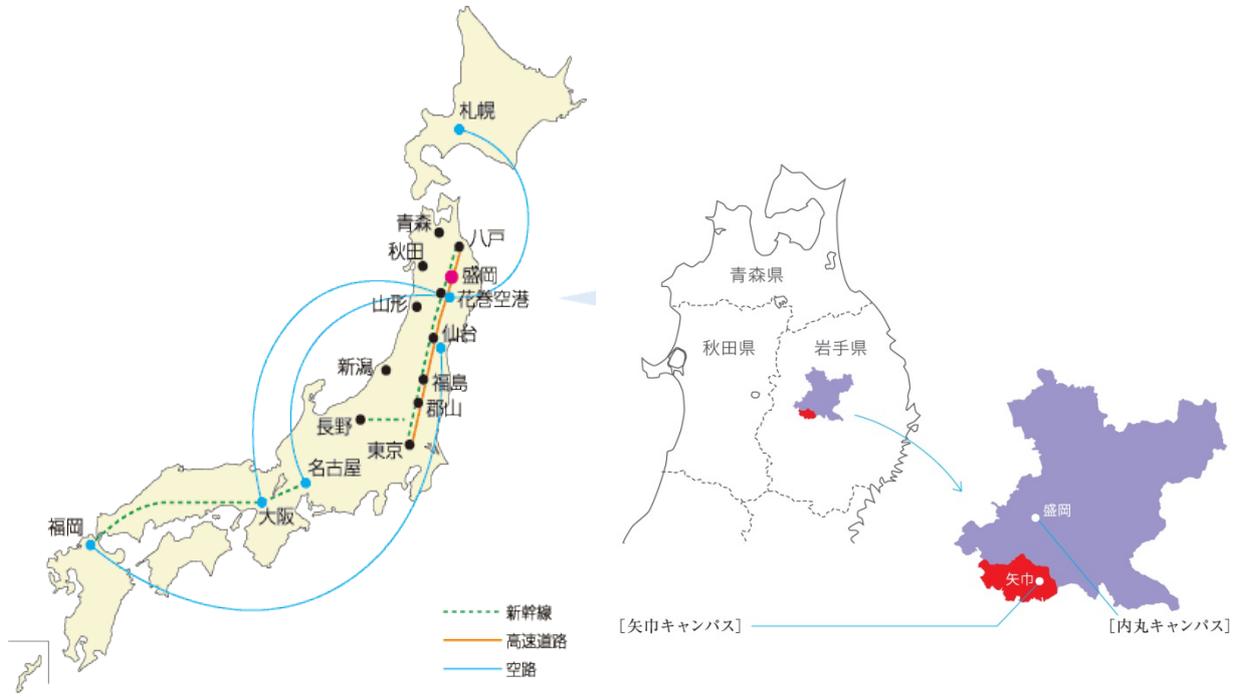
- 1 共同学科の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一イ」については、専門職大学にあつては「専門職大学設置基準別表第一イ」、短期大学にあつては「短期大学設置基準別表第一イ」、専門職短期大学にあつては「専門職短期大学設置基準別表第一イ」にそれぞれ読み替えて作成すること。
- 3 「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 4 私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」、「スポーツ施設等」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 6 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 7 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。

学校法人岩手医科大学 収容定員関係学則変更認可申請に関わる組織の移行表

令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
岩手医科大学 医学部 医学科	130	-	605	岩手医科大学 医学部 医学科	<u>130</u>	-	<u>605</u>	定員変更(35)
歯学部 歯学科	73	-	438	歯学部 歯学科	73	-	438	
薬学部 薬学科(6年制)	50	-	300	薬学部 薬学科(6年制)	50	-	300	
看護学部 看護学科	90	<sup>3年次</sup> 5	370	看護学部 看護学科	90	<sup>3年次</sup> 5	370	
計				計				
	343	<sup>2年次</sup> - <sup>3年次</sup> 5	1,713		<u>343</u>	<sup>2年次</sup> - <sup>3年次</sup> 5	<u>1,713</u>	
岩手医科大学 大学院医学研究科(博士課程) 生理系専攻	6	-		岩手医科大学 大学院医学研究科(博士課程) 生理系専攻	6	-		
病理系専攻	3	-		病理系専攻	3	-		
社会医学系専攻	2	-	200	社会医学系専攻	2	-	200	
内科系専攻	20	-		内科系専攻	20	-		
外科系専攻	19	-		外科系専攻	19	-		
大学院医学研究科(修士課程) 医科学専攻	10	-	20	大学院医学研究科(修士課程) 医科学専攻	10	-	20	
大学院歯学研究科(博士課程) 歯学専攻	18	-	72	大学院歯学研究科(博士課程) 歯学専攻	18	-	72	
大学院薬学研究科(博士課程) 医療薬学専攻	3	-	12	大学院薬学研究科(博士課程) 医療薬学専攻	3	-	12	
計				計				
	81	-	304		81	-	304	
岩手医科大学医療専門学校 歯科衛生学科	40	-	120	岩手医科大学医療専門学校 歯科衛生学科	40	-	120	
計				計				
	40	-	120		40	-	120	

# 校地校舎等の図面

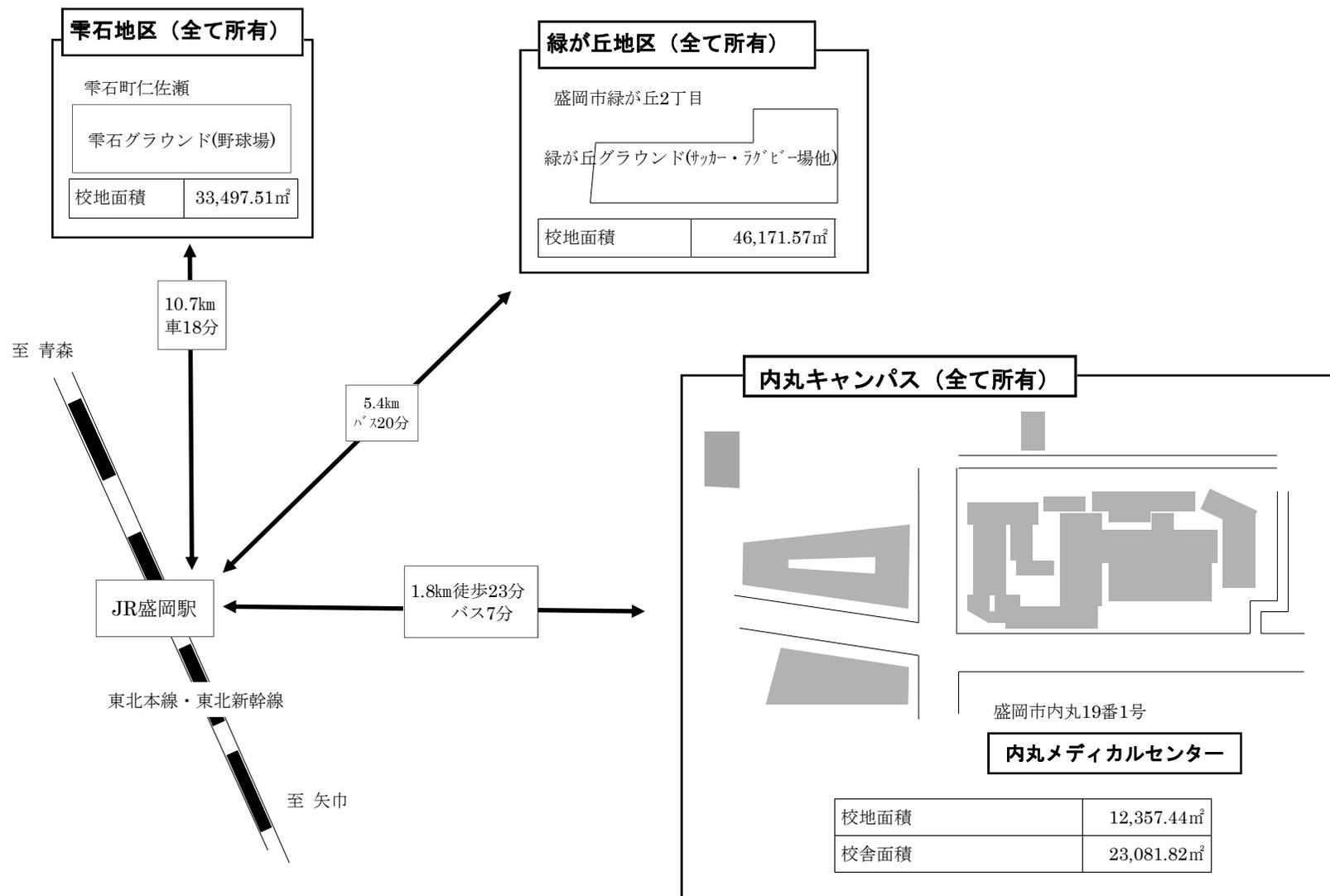
## 都道府県内における位置関係の図面



## 交通機関がわかる図面

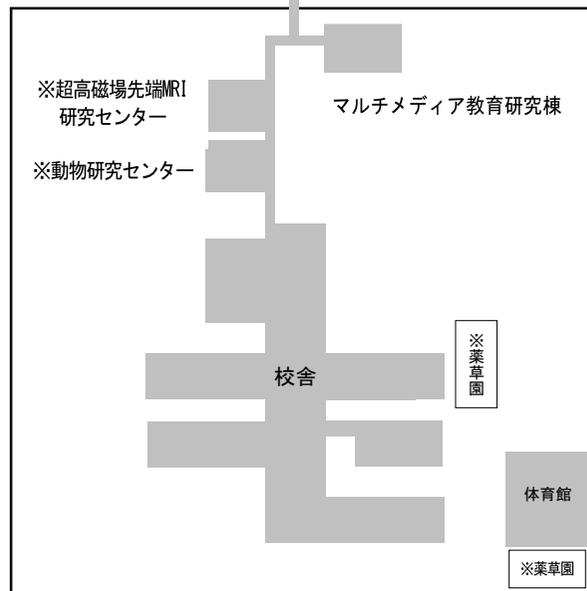
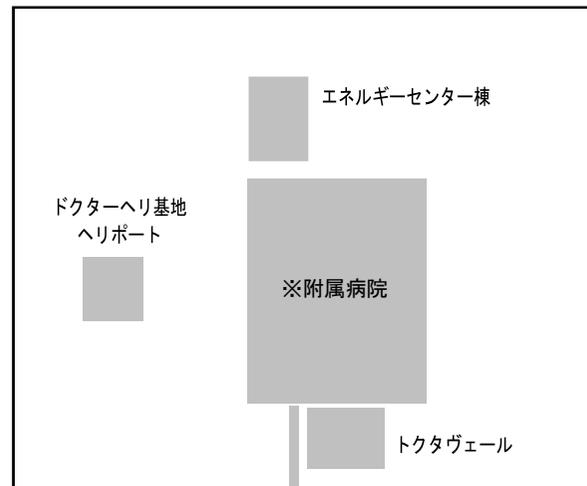
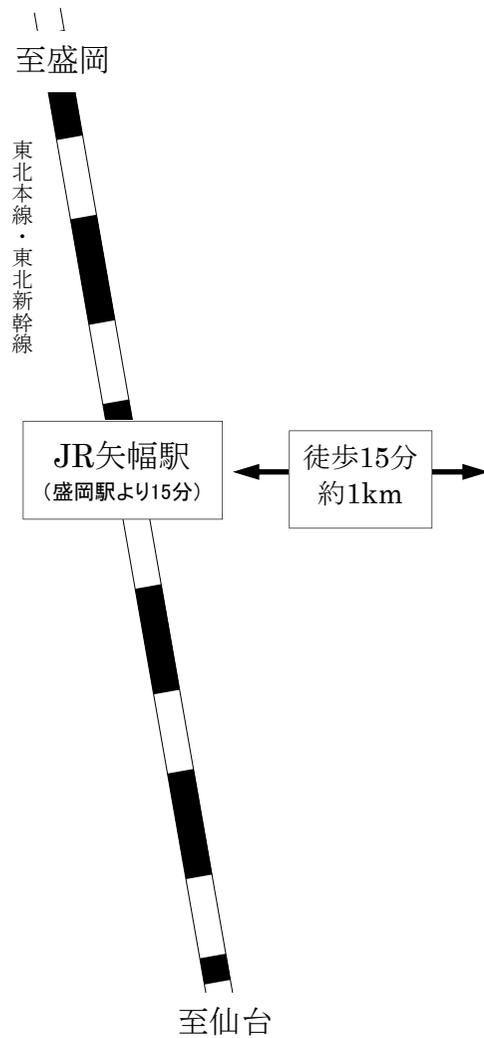


最寄り駅からの距離がわかる図面  
校舎、運動場等の配置図  
(1)盛岡以北



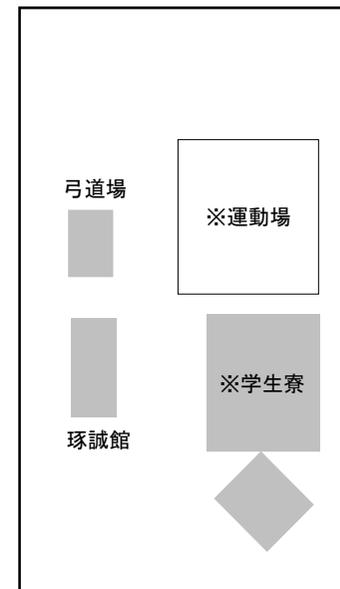
図面-2

最寄り駅からの距離がわかる図面  
校舎、運動場等の配置図  
(2) 矢巾以南(盛岡市の南11kmに位置)



矢巾キャンパス (全て所有)

所在地：紫波郡矢巾町医大通1丁目、2丁目  
校地面積：149,315.60 m<sup>2</sup>  
校舎面積：85,650.47 m<sup>2</sup>



図面-3

# 岩手医科大学学則

## 第1章 目的及び使命

第1条 本学の目的は、医学教育、歯学教育、薬学教育及び看護学教育を通じて誠の人間を育成するにある。すなわち、まず人としての教養を高め、十分な知識と技術とを修得させ、更に進んでは専門の学理を究め、実地の修練を積み、出でては力を厚生済民に尽くし、入っては真摯な学者として、斯道の進歩発展に貢献させること、これが本学の使命とする所である。

2 各学部における教育研究上の目的は別に定める。

3 本学は教育研究水準の向上を図り、前項の目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について、自ら点検及び評価を行うものとする。

4 前項の点検及び評価の方法並びに体制等については、別に定める。

## 第2章 組織及び修業年限

第2条 本学に次の学部学科を置く。

医学部 医学科

歯学部 歯学科

薬学部 薬学科

看護学部 看護学科

2 医学部、歯学部及び薬学部の修業年限は6年とし、看護学部は4年とする。

3 各学部の学生の在学年限は、次のとおりとし、通算して修業年限の2倍を超えることができない。ただし、再入学者の在学年限については別に定める。

(1) 医学部・歯学部・薬学部 同一学年につき2年

(2) 看護学部 同一学年につき3年

## 第3章 学年・学期及び休業日

第3条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。ただし、学長が教育上必要と認めるときは、変更することがある。

第4条 学年は、前期、後期の2期に分ける。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から3月31日まで

ただし、前期及び後期の期間は、学長が教育上必要と認めるときは、変更することがある。

第5条 定期休業日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

(3) 春期休業 3月16日から4月15日まで

(4) 夏期休業 7月16日から8月31日まで

(5) 冬期休業 12月23日から1月15日まで

ただし、春期、夏期及び冬期休業の期間については、学長が教育上必要と認めるときは、変更することがある。

2 臨時休業日は、その都度学長が定める。

#### 第4章 授業科目、授業時間数及び単位

第6条 各学部の授業科目等は別表1のとおりとする。

#### 第5章 授業科目の履修及び課程修了の認定

##### 第1節 医学部、歯学部

第7条 医学部、歯学部においては、第6条に定める所定の授業科目を履修しなければならない。

2 履修方法及び履修すべき授業時間数については別に定める。

3 履修した科目に単位を付与する場合は、45時間の学修を必要とする内容を1単位とすることを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね15時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位として単位数を計算するものとする。

第8条 所定の講義及び実習を履修した者に対し試験を行う。

2 試験に関する実施規程は別に定める。

第9条 試験の成績は、合格または不合格とし、評価等は別に定める。

##### 第2節 薬学部、看護学部

第10条 薬学部、看護学部においては、第6条に定める授業科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。

2 履修方法及び取得すべき単位数については別に定める。

3 単位の計算は、第7条第3項を準用する。

第11条 履修した授業科目については、別に定める方法で試験を行う。

第12条 試験の成績は、第9条を準用する。

##### 第3節 全学部共通

第13条 特定の授業科目を履修した者に履修証明書を与えることがある。

第14条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを標準とする。

第14条の2 本学が、教育上有益と認めるときは、学生が所属する学部以外の学部の授業科目を履修することができる。

第 15 条 本学が、教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60 単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、学生が、外国の大学又は短期大学に留学する場合、外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

第 16 条 本学が、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第 1 項及び第 2 項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

第 17 条 本学が、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生により修得した単位を含む。）を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 本学が、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第 1 項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることができる。

3 前 2 項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、30 単位を超えないものとし、かつ、第 15 条第 1 項（同条第 2 項において準用する場合を含む。）及び前条第 1 項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

## 第 6 章 卒業及び学位

第 18 条 医学部、歯学部においては第 2 条に定める期間を在学し、かつ、第 6 条に定める所定の授業科目及び単位を履修修得し、試験に合格した者は、当該学部教授会の議を経て学長が卒業を認定し、医学部を卒業した者には学士（医学）、歯学部を卒業した者には学士（歯学）の学位を授与する。

2 薬学部においては第 2 条に定める期間を在学し、かつ、第 6 条に定める所定の授業科目を履修のうえ、試験に合格し、薬学実務実習 20 単位以上を含む 186 単位以上を修得した者は、当該学部教授会の議を経て学長が卒業を認定し、学士（薬学）の学位を授与する。

3 看護学部においては第 2 条に定める期間を在学し、かつ、第 6 条に定める所定の授業科目を履修のうえ、試験に合格し、124 単位以上を修得した者は、当該学部教授会の議を経て学長が卒業を認定し、学士（看護学）の学位を授与する。

## 第7章 入学、休学、再入学、転入学、編入学、転部入学及び退学

第19条 入学の時期は、学年の始めとする。

第20条 本学に入学資格のある者は、次の各号の一に該当しなければならない。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者。
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む）。
- (3) 外国において、学校教育12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。
- (5) 文部科学大臣の指定した者。
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定資格試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む）。
- (7) その他、相当の年令に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認められた者。

第21条 入学志願者は、所定の入学願書に、履歴書、資格証明書、写真及び入学検定料を添えて学長に願い出なければならない。

第22条 本学に入学を志願した者については、教授会の議を経て学長が入学の許可、不許可を決定する。

2 本学を退学した者で、本学に再入学を志願する者については、欠員のある場合に限り、別に定めるところにより選考し、教授会の議を経て学長が相当年次に入学を許可することができる。

第23条 入学を許可された者は、本学所定の方式によって宣誓し、保証人2名を定めて在学保証書その他所定の書類を提出し、かつ所定の期日までに入学金を納入しなければならない。

第24条 保証人は、学生本人の父兄及び独立の生計を営む成年者とする。ただし、保証人のうち1名は学費負担者でなければならない。

2 保証人は学生の在学中の一切のことについて責任を負わなければならない。

3 保証人が死亡し、あるいはその資格を失ったときは、直ちに第1項の規定によって新たに設けなければならない。

第25条 学生、保証人が氏名、本籍、住所を変更した場合は直ちに届け出なければならない。

第26条 病気、その他やむを得ない事由により3ヶ月以上修学できないときは、その事由を証明する書類を添え保証人連署の休学願を提出し、教授会の議を経て学長の許可を得なければならない。

2 休学の期間は、1年を超えることはできない。ただし特別の事情がある場合は、教授会の議を経て学長が更に1年以内の休学を許可することができる。

3 休学期間は、通算して4年を超えることができない。

4 休学期間は、在学期間に算入しない。

第 27 条 休学期間であっても事故止みとなり復学を願い出た場合は、教授会の議を経て許可することがある。

第 28 条 他の大学から本学に、本学から他の大学に転入学、編入学を願い出た者がある場合は、教授会の議を経て学長が許可することがある。

2 本学の第 1 学年の学生で他学部への転部入学を希望する者があるときは、選考の上、第 2 学年の始めに限り転部入学を許可することがある。ただし、看護学部は除くものとする。

3 転入学、編入学、転部入学に関する規程は、別に定める。

第 29 条 本学を退学しようとする場合は、その事由を明記し、保証人連署の退学願を提出し教授会の議を経て、学長の許可を受けなければならない。ただし、退学の事由が病気の場合は、医師の診断書を添えなければならない。

## 第 8 章 入学検定料、入学金、授業料、その他の学費

第 30 条 入学検定料、入学金、授業料、その他の学費（以下授業料等という）の額は別表 2 に定める。

第 31 条 授業料等の納入は、次の各号のとおりとする。

(1) 入学金は、入学手続き時に納入しなければならない。

(2) 入学初年度の授業料、実験実習費、施設整備費及び教育充実費は、入学初年度は入学手続き時に納入しなければならない。ただし、半額ずつ分納することができるものとし、分納する場合には所定の期日までに納入しなければならない。

(3) 入学次年度以降の授業料、実験実習費、施設整備費及び教育充実費は、毎年 4 月 25 日までに納入しなければならない。ただし、授業料は半額ずつ分納することができるものとし、分納する場合の 2 回目の納入期限日は 9 月 25 日までとする。

(4) 薬学部第 5 学年の長期実務実習にかかる費用の額及び納入方法は、別に定める。

第 32 条 授業料等を所定期日までに納入しない場合は、納入するまでその者の出席を停止し、30 日を経過して、なお納入しない場合は、学長がこれを除籍することがある。

第 33 条 納入した授業料等は、返還しない。ただし、入学手続きを完了したもので、所定期日までに入学辞退の届出を行い、かつ授業料等の返還を申し出た者については、入学検定料及び入学金を除く外の納入金を返還する。

2 前項の規定にかかわらず、休学期間中の授業料および実験実習費は、休学を許可された月の翌月から復学を許可された月の前月までの月割計算による額の半額を免除する。

## 第 9 章 職員組織

第 34 条 本学に次の職員を置く。

学長・副学長・教授・准教授・講師・助教・助手・技術員・事務員・その他必要な職員。

2 職員の定員に関しては、別にこれを定める。

## 第10章 教授会

第35条 本学に教授会を置く。

- 2 教授会は、医学部、歯学部、薬学部及び看護学部のそれぞれの専任教授をもって当該学部毎に組織する。
- 3 教授会は、学長が次の事項について決定を行うに当たり、意見を述べるものとする。
  - (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了
  - (2) 学位の授与
  - (3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、別に定めるもの
- 4 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長（以下「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
- 5 教授会の運営に関する規程は、別に定める。

## 第11章 学生収容定員

第36条 各学部の学生定員は次のとおりとする。

医学部医学科	入学定員	95名	収容定員	570名		
歯学部歯学科	入学定員	73名	収容定員	438名		
薬学部薬学科	入学定員	50名	収容定員	300名		
看護学部看護学科	入学定員	90名	3年次編入学定員	5名	収容定員	370名

## 第12章 研究生・研修生・研究員・聴講生・科目等履修生及び外国人学生

第37条 本学において特殊事項に関する研究及び研修を志願する者については、選考のうえ研究生、研修生、研究員として許可することができる。

- 2 研究生、研修生、研究員に関する規程は、別に定める。

第38条 本学に聴講を希望する者がある場合は、選考のうえ聴講生として入学を許可することができる。

- 2 聴講生の規程は、別に定める。

第38条の2 本学の学生以外の者で、本学が開講する一又は複数の授業科目の履修を志願する者があるときは、授業に支障のない限り、選考のうえ、科目等履修生として入学を許可し、単位を与えることができる。

- 2 科目等履修生の規程は、別にこれを定める。

第38条の3 研究生、研修生、研究員、聴講生には、第8条、第9条、第11条、第12条、第18条、第19条、第20条、第30条及び第40条は、これを適用しない。

第39条 外国人留学生を入学させることがある。外国人学生は、特に規定あるものの外は本学則の一般規定を準用する。

## 第13章 賞罰

第40条 人物及び学業の優秀な者は、教授会の議を経て学長がこれを表彰することがある。

第41条 学生がその本分にもとる行為をした場合は、教授会の議を経て学長が懲戒する。

2 懲戒は、戒告、停学、退学、退学のうえ除籍の4種とする。

第42条 次の各号の一に該当する学生は、教授会の議を経て学長が退学又は退学のうえ除籍することができる。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当の理由がなく欠席が多い者
- (4) 本学の秩序を乱す者

## 第14章 附属施設

第43条 本学に次の附属施設を置く。

- (1) 附属図書館
- (2) 附属病院
- (3) 附属薬用植物園

2 附属図書館規程、附属病院規程及び附属薬用植物園規程は、別に定める。

## 第15章 学生の厚生補導等

第44条 学生の厚生補導の充実を図るため、学生部を置く。

2 学生部規程および学生の厚生及び補導については別に定める。

第45条 本学に学生寮を置くことができる。

## 第16章 学生心得

第46条 学生心得は、別に定める。

## 第17章 改廃

第47条 この学則の改廃は、関係学部教授会及び教学運営会議の議を経て理事会が決定するものとする。

附 則

この学則は、昭和22年6月18日から施行する。

附 則

この学則は、昭和27年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 29 年 9 月 15 日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 40 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 41 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 43 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、昭和 44 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料は、第 24 条の規定にかかわらずなお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、昭和 46 年 1 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の第 24 条の授業料等については、昭和 46 年以前から在学している者に対してはなお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、昭和 48 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の第 24 条の授業料等については、昭和 48 年以前から在学している者に対してはなお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、昭和 50 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料等は、第 24 条の規定にかかわらずなお従前の例による。

附 則

この学則は、昭和 50 年 10 月 24 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、昭和 52 年 1 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料及び実験実習費は第 24 条の規定にかかわらずなお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、昭和 53 年 2 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料及び実験実習費は第 24 条の規定にかかわらずなお従前の例による。

附 則

この学則は、昭和 54 年 2 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、昭和 55 年 2 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料及び実験実習費は第 24 条の規定にかか

わらずなお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、昭和 57 年 1 月 5 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料及び実験実習費は第 24 条の規定にかかわらずなお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、昭和 59 年 1 月 2 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の施設整備費は第 24 条及び第 25 条の規定にかかわらずなお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、昭和 61 年 1 月 6 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料、実験実習費及び施設整備費は第 24 条及び第 25 条の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- 1 この学則は、昭和 62 年 10 月 20 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料、実験実習費及び施設整備費は第 24 条第 1 項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成元年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 24 条第 1 項に定める歯学部学納金のうち、実験実習費並びに施設整備費の ( ) 書は昭和 63 年度以降歯学部に入学者に適用する。
- 3 この改正学則施行の際、昭和 60 年度以前に入学者、在学している学生については、第 24 条第 3 項の規定は適用しない。

附 則

- 1 この学則は、平成 2 年 1 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学している学生については、第 20 条第 2 項、第 3 項および第 27 条第 2 項の規定は、平成 2 年 4 月 1 日より適用する。  
ただし、この改正学則施行の際、現に休学している学生については、第 20 条 2 項、第 3 項および第 27 条第 2 項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成 2 年 10 月 19 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料は、第 24 条第 1 項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成 3 年 11 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料は、第 24 条第 1 項の規定にかかわらず従前どおりとする。  
ただし、消費税法の一部を改正する法律（平成 3 年 5 月 15 日法律第 73 号）の改正にともない、第 24 条の入学金及び施設整備費は非課税とする。

附 則

- 1 この学則は、平成5年11月1日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料は、第24条第1項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

この学則は、平成7年9月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成10年9月1日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料その他の学費は、第24条第1項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成11年4月1日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の在学年限は、第2条第3項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成13年10月1日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料その他の学費は、第24条第1項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成14年10月1日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料その他の学費は、第24条第1項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成18年11月30日付、文部科学大臣からの薬学部設置認可に伴い改正し、平成19年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 第36条の規定にかかわらず、平成20年度から平成29年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度～ 29年度
入学定員	90人	90人	90人	90人	90人	90人
収容定員	490人	500人	510人	520人	530人	540人

- 3 第31条の規程にかかわらず、本附則第2項のうち医学部地域枠特別推薦入学による入学生（岩手県医師養成事業奨学金制度利用の者）の授業料、実験実習費、施設整備費、及び教育充実費の納入法については、別に定める。

附 則

この学則は、平成 20 年 8 月 1 日から施行する。

附 則

- この学則は、平成21年 4 月 1 日から施行する。
- 第36条の規定にかかわらず、平成21年度から平成29年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度～ 29年度
入学定員	95人	95人	95人	95人	95人	95人
収容定員	505人	520人	535人	550人	565人	570人

- 第31条の規程にかかわらず、本附則第 2 項のうち医学部地域枠特別推薦入学による入学生（岩手県医師養成事業奨学金制度利用の者）の授業料、実験実習費、施設整備費、及び教育充実費の納入法については、別に定める。

附 則

- この学則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。
- 学生定員の取扱については、平成 20 年 8 月 5 日付、文部科学省からの「地域や診療科の医師確保の観点からの医師養成の推進について（通知）」に基づき改定するものとし、平成 20 年 4 月 1 日の「新医師確保総合対策」に基づく附則、ならびに平成 21 年 4 月 1 日施行の「緊急医師確保対策」に基づく附則に関わらず次のとおりとする。

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度～ 29年度
入学定員	110人	110人	110人	110人	110人	110人
収容定員	520人	550人	580人	610人	640人	660人

附 則

- この学則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
- 第 36 条の規定にかかわらず、平成 22 年度から平成 37 年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度 ～29年度	平成30年度
入学定員	125人	125人	125人	125人	125人	125人	110人
収容定員	565人	610人	655人	700人	735人	750人	735人
	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度
入学定員	110人	95人	95人	95人	95人	95人	95人
収容定員	720人	690人	660人	630人	600人	585人	570人

- 第31条の規程にかかわらず、本附則第 2 項のうち医学部地域枠等に係る入学生（地方自治体による医学生奨学金制度等を利用の者）の授業料、実験実習費、施設整備費、及び教育充実費の納入法については、別に定める。

- 4 第36条の規定にかかわらず、平成22年度から平成31年度までの間における歯学部歯学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度～ 31年度
入学定員	75人	75人	75人	75人	75人	75人
収容定員	475人	470人	465人	460人	455人	450人

附 則

- この学則は、平成23年4月1日から施行する。(平成22年6月28日一部改正)
- この改正学則施行の際、現に在学中の学生の学納金は第30条の規定にかかわらず従前どおりとする。
- この学則は、平成23年4月1日から施行する。(平成23年2月28日一部改正)

附 則

この学則は、平成23年6月1日から施行する。(平成23年5月30日一部改正)

附 則

- この学則は、平成24年7月1日から施行する。(平成24年6月25日一部改正)
- この改正学則施行の際、現に在学中の学生の学納金は第30条の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- この学則は、平成25年4月1日から施行する。(平成24年10月29日一部改正)
- 第36条の規定にかかわらず、平成25年度から平成37年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
入学定員	123人	123人	123人	123人	123人	108人	108人
編入学定員	7人						
収容定員	705人	745人	765人	770人	768人	751人	736人
	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	
入学定員	95人	95人	95人	95人	95人	95人	
編入学定員	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
収容定員	701人	666人	631人	596人	583人	570人	

- 第36条の規定にかかわらず、平成25年度から平成31年度までの間における歯学部歯学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度～ 31年度
入学定員	73人	73人	73人	73人	73人	73人
収容定員	458人	451人	444人	442人	440人	438人

附 則

この学則は、平成27年4月1日から施行する。(平成27年3月23日一部改正)

附 則

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 28 年 8 月 31 日付、文部科学大臣からの看護学部設置認可に伴い改正し、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の同一学年在学年限は、第 2 条第 3 項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。（平成 29 年 7 月 31 日一部改正、平成 30 年 3 月 26 日一部改正(別表 1 第 6 条関係の変更)）
- 2 第 36 条の規定にかかわらず、平成 30 年度から平成 37 年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度
入学定員	123 人	123 人	95 人	95 人	95 人	95 人	95 人
編入学定員	7 人	7 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
収容定員	766 人	766 人	731 人	696 人	661 人	626 人	598 人
	平成37年度						
入学定員	95 人						
編入学定員	0 人						
収容定員	570 人						

- 3 第 36 条の規定にかかわらず、平成 30 年度から平成 35 年度までの間における薬学部薬学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
入学定員	120 人					
収容定員	920 人	880 人	840 人	800 人	760 人	720 人

附 則

この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。（平成 30 年 4 月 23 日一部改正（別表 1 第 6 条関係の変更）、平成 31 年 3 月 25 日一部改正（別表 1 第 6 条関係の変更））

附 則

- 1 この学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。（令和元年 7 月 29 日一部改正、令和 2 年 3 月 30 日一部改正（別表 1 第 6 条関係の変更））
- 2 第 36 条の規定にかかわらず、令和 2 年度から令和 9 年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
入学定員	126人	126人	95人	95人	95人	95人	95人
編入学定員	4人	4人	0人	0人	0人	0人	0人
収容定員	766人	766人	731人	696人	664人	632人	601人
	令和9年度						
入学定員	95人						
編入学定員	0人						
収容定員	570人						

附 則

- この学則は、令和3年4月1日から施行する。（令和2年6月29日一部改正、令和3年3月29日一部改正（別表1第6条関係の変更））
- 第36条の規定にかかわらず、令和3年度から令和8年度までの間における薬学部薬学科の学生定員は、次のとおりとする。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
入学定員	80人	80人	80人	80人	80人	80人
収容定員	760人	680人	600人	560人	520人	480人

附 則

- この学則は、令和4年4月1日から施行する。（令和3年4月26日一部改正（別表1第6条関係の変更）、令和3年7月26日一部改正、令和4年3月28日一部改正（別表1第6条関係の変更））
- 第36条の規定にかかわらず、令和4年度から令和10年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
入学定員	126人	95人	95人	95人	95人	95人	95人
編入学定員	4人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
収容定員	766人	731人	699人	667人	632人	601人	570人

附 則

- この学則は、令和5年4月1日から施行する。（令和4年9月6日一部改正、令和5年3月27日一部改正（別表1第6条関係の変更））
- 第36条の規定にかかわらず、令和5年度から令和11年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
入学定員	130人	95人	95人	95人	95人	95人	95人
収容定員	766人	734人	702人	667人	636人	605人	570人

附 則

- この学則は、令和6年4月1日から施行する。（令和5年10月26日一部改正、令和5年12月18日一部改正、令和6年3月25日一部改正（別表1第6条関係の変更、第7条関係の

変更) )

2 第36条の規定にかかわらず、令和6年度から令和12年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
入学定員	130人	95人	95人	95人	95人	95人	95人
収容定員	769人	737人	702人	671人	640人	605人	570人

3 第36条の規定にかかわらず、令和6年度から令和11年度までの間における薬学部薬学科の学生定員は、次のとおりとする。

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
入学定員	50名	50名	50名	50名	50名	50名
収容定員	530名	460名	390名	360名	330名	300名

附 則

1 この学則は、令和7年4月1日から施行する。

2 第36条の規定にかかわらず、令和7年度から令和13年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
入学定員	130名	95名	95名	95名	95名	95名	95名
収容定員	772名	737名	706名	675名	640名	605名	570名

別表1(第6条関係:医学部)

科目区分	科目名	履修年次	コマ数	時間数	単位	区分	備考
教養教育科目	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1	8	12.0	2	講義	必修
	医療倫理学	1	8	12.0	1	講義	必修
	法学	1	8	12.0	1	講義	必修
	心理学	1	9	13.5	1	講義	必修
	医療面接の基礎	1	10	15.0	1	講義	必修
	データサイエンス	1	7	10.5	1	演習	必修
	情報リテラシー	1	7	10.5	1	講義	必修
	物理学	1	14	21.0	1	講義	必修
	物理学実習	1	21	31.5	1	実験	必修
	専門課程への化学	1	14	21.0	1	講義	必修
	エッセンシャル生物	1	8	12.0	1	講義	必修
	化学実習	1	21	31.5	1	実験	必修
	生物学実習	1	21	31.5	1	実験	必修
	English Reading & Writing I	1	14	21.0	1	講義	必修
	English Reading & Writing II	1	14	21.0	1	講義	必修
	English Speaking & Listening I	1	14	21.0	1	講義	必修
	English Speaking & Listening II	1	14	21.0	1	講義	必修
	行動科学	1	9	13.5	1	講義	必修
	健康運動科学	1	8	12.0	1	講義	必修
	ベニックス生物	1	14	21.0	1	講義	選択
	スタンダード生物	1	14	21.0	1	講義	選択
	アドバンスト生物	1	14	21.0	1	講義	選択
	自然・文化人類学	1	14	21.0	1	講義	選択
	ベニックス化学	1	14	21.0	1	講義	選択
	アドバンスト化学	1	14	21.0	1	講義	選択
	ベニックス物理	1	14	21.0	1	講義	選択
	ベニックス数学	1	14	21.0	1	講義	選択
	アドバンスト数学	1	14	21.0	1	講義	選択
	解析学入門	1	14	21.0	1	講義	選択
	文学の世界	1	14	21.0	1	講義	選択
	医療とコミュニケーション	1	14	21.0	1	講義	選択
	道徳のしくみ	1	14	21.0	1	講義	選択
	医療とスポーツ	1	9	13.5	1	講義	選択
	実践英語	1	5	7.5	1	実技	選択
	医療と福祉	1	14	21.0	1	講義	選択
	医療と物語	1	10	15.0	1	講義	選択
	パーソナリティ心理学	1	10	15.0	1	講義	選択
	哲学の世界	1	10	15.0	1	講義	選択
	人間関係論	1	10	15.0	1	講義	選択
	医療と法律	1	10	15.0	1	講義	選択
	科学英語	1	10	15.0	1	講義	選択
	データサイエンスII	2	14	21.0	-	講義	必修
	医学英語入門	2	22	33.0	-	講義	必修
	医学英語	3	14	21.0	-	講義	必修
	医事法学	4	10	15.0	-	講義	必修
	医療プロフェッショナリズムII	2	2	3.0	-	講義	必修
		2	28	42.0	-	実習	必修
	医療プロフェッショナリズムIII	3	2	3.0	-	講義	必修
		3	30	45.0	-	実習	必修
	医療プロフェッショナリズムIV	4	8	12.0	-	講義	必修

科目区分	科目名	履修年次	コマ数	時間数	単位	区分	備考
医学専門科目	医療入門 (全人的医療基礎講義含む)	1	18	27.0	講義	必修	
		1	50	75.0	実習	必修	
	分子細胞生物学I	1	14	21.0	講義	必修	
		1	1	1.5	演習	必修	
		1	2	3.0	実習	必修	
	分子細胞生物学II	1	12	18.0	講義	必修	
		1	2	3.0	演習	必修	
	基礎組織学	1	8	12.0	講義	必修	
		1	1	1.5	演習	必修	
		1	9	13.5	実習	必修	
	解剖学総論	1	9	13.5	講義	必修	
		1	5	7.5	実習	必修	
	医化学I	1	14	21.0	講義	必修	
	医科生化学	1	22	33.0	講義	必修	
	初年次ゼミナール	1	8	12.0	演習	必修	
	症例基盤・問題解決型学修(入門)	1	7	10.5	講義	必修	
	医療安全学	1	20	30.0	実習	必修	
		1	8	12.0	講義	必修	
	組織学	2	18	27.0	講義	必修	
		2	20	30.0	実習	必修	
		2	1	1.5	演習	必修	
	人体発生学	2	12	18.0	講義	必修	
		2	2	3.0	演習	必修	
	臨床解剖学	2	21	31.5	講義	必修	
		2	87	130.5	実習	必修	
	器官生理学	2	27	40.5	講義	必修	
		2	20	30.0	実習	必修	
	医化学II	2	21	31.5	講義	必修	
	分子生物学	2	18	27.0	実習	必修	
		2	22	33.0	講義	必修	
	神経科学	2	32	48.0	講義	必修	
		2	14	21.0	実習	必修	
		2	1	1.5	演習	必修	
		2	40	60.0	講義	必修	
	微生物学	2	9	13.5	実習	必修	
		2	2	3.0	演習	必修	
		2	19	28.5	講義	必修	
	免疫学	2	4	6.0	実習	必修	
		2	2	3.0	演習	必修	
	病理学総論	2	26	39.0	講義	必修	
		2	2	3.0	実習	必修	
	基礎医学演習	2	14	21.0	演習	必修	
	症例基盤・問題解決型学修(実践)	2	17	25.5	講義	必修	

科目区分	科目名	履修年次	コマ数	時間数	単位	区分	備考
医学専門科目	薬理学	2	27	40.5	講義	必修	
		2	6	9.0	実習	必修	
		3	27	40.5	講義	必修	
		3	6	9.0	実習	必修	
	器官病理学	3	36	54.0	講義	必修	
		3	19	28.5	実習	必修	
	疫学・環境医学	3	22	33.0	講義	必修	
		3	32	48.0	実習	必修	
	チーム医療リテラシー	3	12	18.0	講義	必修	
	基礎病態・社会医学演習	3	14	21.0	演習	必修	
	消化器病学	3	36	54.0	講義	必修	
	内分泌・代謝病学	3	23	34.5	講義	必修	
	循環器病学	3	27	40.5	講義	必修	
	呼吸器病学	3	29	43.5	講義	必修	
	神経病学	3	36	54.0	講義	必修	
	産婦人科学	3	35	52.5	講義	必修	
	免疫病学	3	14	21.0	講義	必修	
	血液病学	3	20	30.0	講義	必修	
	小児科学	3	13	19.5	講義	必修	
	腎臓病学	3	19	28.5	講義	必修	
	臨床検査医学	3	13	19.5	講義	必修	
	臨床医学演習	3	13	19.5	演習	必修	
	症例基盤・問題解決型学修(発展)	3	8	12.0	実習	必修	
	医学研究リテラシー-研究室配属	3	80	120.0	実習	必修	
	地域医療学II	3	23	34.5	実習	必修	
	災害医学	4	4	6.0	講義	必修	
		4	6	9.0	実習	必修	
	老年医学	4	8	12.0	講義	必修	
	整形外科学	4	17	25.5	講義	必修	
	リハビリテーション医学	4	8	12.0	講義	必修	
	形成外科学	4	11	16.5	講義	必修	
	耳鼻咽喉科頭頸部外科学	4	14	21.0	講義	必修	
	眼科学	4	10	15.0	講義	必修	
	皮膚科学	4	14	21.0	講義	必修	
	泌尿器科学	4	10	15.0	講義	必修	
	神経精神科学	4	16	24.0	講義	必修	
	放射線医学	4	17	25.5	講義	必修	
	麻酔学	4	12	18.0	講義	必修	
	救急医学	4	9	13.5	講義	必修	
	法医学	4	16	24.0	講義	必修	
	実践臨床医学	4	6	9.0	実習	必修	
	臨床遺伝学	4	8	12.0	講義	必修	
	感染症学	4	9	13.5	講義	必修	
	臨床腫瘍学	4	8	12.0	講義	必修	
	臨床病理学	4	9	13.5	講義	必修	
	基本的臨床技能実習	4	96	96.0	実習	必修	
	統合医学演習	4	14	21.0	演習	必修	
	症候学	4	20	30.0	実習	必修	
		5	20	30.0	実習	必修	
	消化器内科学	4・5	20	30.0	実習	必修	
	肝臓内科学	4・5	20	30.0	実習	必修	
	腎・高血圧内科学	4・5	20	30.0	実習	必修	
	循環器内科学	4・5	20	30.0	実習	必修	
	呼吸器内科学/リウマチ・膠原病・アレルギー内科学	4・5	20	30.0	実習	必修	
	脳神経内科学・老年科学	4・5	20	30.0	実習	必修	
糖尿病・代謝・内分泌内科学	4・5	20	30.0	実習	必修		
血液腫瘍内科学	4・5	20	30.0	実習	必修		
外科学	4・5	20	30.0	実習	必修		
脳神経外科学	4・5	20	30.0	実習	必修		
心臓血管外科学	4・5	20	30.0	実習	必修		
整形外科学	4・5	20	30.0	実習	必修		
形成外科学	4・5	20	30.0	実習	必修		
呼吸器外科学	4・5	20	30.0	実習	必修		
耳鼻咽喉科頭頸部外科学	4・5	20	30.0	実習	必修		
眼科学	4・5	20	30.0	実習	必修		
皮膚科学	4・5	20	30.0	実習	必修		
泌尿器科学	4・5	20	30.0	実習	必修		
放射線医学	4・5	20	30.0	実習	必修		
麻酔学	4・5	20	30.0	実習	必修		
臨床検査医学	4・5	20	30.0	実習	必修		
救急医学	4・5	20	30.0	実習	必修		
病理診断学	4・5	20	30.0	実習	必修		
緩和医療学/臨床腫瘍学	4・5	20	30.0	実習	必修		
リハビリテーション医学	4・5	20	30.0	実習	必修		
臨床遺伝学	4・5	20	30.0	実習	必修		
医療安全/感染制御学	4・5	20	30.0	実習	必修		
予防医学	5	19	28.5	講義	必修		
	5	1	1.5	演習	必修		
地域医療臨床実習	5	80	120.0	実習	必修		
総合臨床医学	5	9	13.5	講義	必修		
高次臨床実習	5・6	720	1080.0	実習	必修		
総合医学	6	126	126.0	講義	必修		
4学部合同セミナー	6	5	7.5	演習	必修		

科目区分	科目名	履修年次	コマ数	時間数	単位	区分	備考
自由科目	海外英語演習	1~6	40	60.0	2	演習	自由
自由科目	地域医療課題解決演習	1~6	8	12.0	1	演習	自由

別表1 (第6条関係: 歯学部)

科目区分	科目名	履修年次	時間数	単位	区分	備考
教養教育科目	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1	24.0	2	演習	必修
	医療倫理学	1	21.0	1	講義	必修
	法学	1	21.0	1	講義	必修
	心理学	1	12.0	1	講義	必修
	医療における社会・行動科学	1	12.0	1	講義	必修
	医療面接の基礎	1	15.0	1	講義	必修
	データサイエンス	1	21.0	1	講義	必修
	情報リテラシー	1	21.0	1	演習	必修
	物理学	1	21.0	1	講義	必修
	物理学実習	1	31.5	1	実験	必修
	専門課程への化学	1	21.0	1	講義	必修
	化学実習	1	31.5	1	実験	必修
	エッセンシャル生物	1	12.0	1	講義	必修
	専門課程への生物学	1	21.0	1	講義	必修
	生物学実習	1	31.5	1	実験	必修
	English Reading & Writing I	1	21.0	1	講義	必修
	English Reading & Writing II	1	21.0	1	講義	必修
	English Speaking & Listening I	1	21.0	1	講義	必修
	English Speaking & Listening II	1	21.0	1	講義	必修
	健康運動科学	1	24.0	1	実技	必修
	ベーシック生物	1	21.0	1	講義	選択
	スタンダード生物	1	21.0	1	講義	選択
	アドバンスト生物	1	21.0	1	講義	選択
	自然・文化人類学	1	21.0	1	講義	選択
	ベーシック化学	1	21.0	1	講義	選択
	ベーシック物理	1	21.0	1	講義	選択
	解析学入門	1	21.0	1	講義	選択
	医療とスポーツ	1	21.0	1	講義	選択
	医療とコミュニケーション	1	21.0	1	講義	選択
	道徳のしくみ	1	21.0	1	講義	選択
	アドバンスト数学	1	21.0	1	講義	選択
	ベーシック数学	1	21.0	1	講義	選択
	アドバンスト化学	1	21.0	1	講義	選択
	文学の世界	1	21.0	1	講義	選択
	実践英語	1	21.0	1	講義	選択
	医療と福祉	1	21.0	1	講義	選択
	科学英語	1	15.0	1	講義	選択
	医療と物語	1	15.0	1	講義	選択
	人間関係論	1	15.0	1	講義	選択
	パーソナリティ心理学	1	15.0	1	講義	選択
	哲学の世界	1	15.0	1	講義	選択
	医療と法律	1	15.0	1	講義	選択
	医学統計学	2	19.5	1	講義	必修

科目区分	科目名	履修年次	時間数	単位	区分	備考
歯学専門科目	歯科医学概論	1	34.5	講義	必修	
	(看護・介護体験実習)	1	40.5	実習	必修	
	解剖学	1	33.0	講義	必修	
	組織学	1	22.5	講義	必修	
	生理学	1	19.5	講義	必修	
	生化学	1	24.0	講義	必修	
	基礎歯科学入門	1	22.5	講義	必修	
	臨床歯科学入門	1	33.0	講義	必修	
	解剖学	2	67.5	講義	必修	
	解剖学実習	2	130.5	実習	必修	
	組織学	2	69.0	講義	必修	
	組織学実習	2	54.0	実習	必修	
	生理学	2	82.5	講義	必修	
	生理学実習	2	18.0	実習	必修	
	生化学	2	45.0	講義	必修	
	生化学実習	2	30.0	実習	必修	
	歯科理工学	2	37.5	講義	必修	
	歯科理工学実習	2	24.0	実習	必修	
	微生物学・免疫学 I	2	45.0	講義	必修	
	薬理学	2	36.0	講義	必修	
	薬理学実習	2	12.0	実習	必修	
	病理学	2	18.0	講義	必修	
	病理学実習	2	22.5	実習	必修	

科目区分	科目名	履修年次	時間数	単位	区分	備考
歯学専門科目	衛生・公衆衛生学	2	24.0	講義	必修	
	衛生・公衆衛生学実習	2	6.0	実習	必修	
	歯科専門体験実習	2	36.0	実習	必修	
	専門英語 (2年)	2	27.0	講義	必修	
	歯科理工学	3	33.0	講義	必修	
	歯科理工学実習	3	28.5	実習	必修	
	病理学	3	24.0	講義	必修	
	病理学実習	3	39.0	実習	必修	
	微生物学・免疫学 II	3	16.5	講義	必修	
	微生物学・免疫学 II 実習	3	22.5	実習	必修	
	薬理学	3	33.0	講義	必修	
	社会と歯学	3	19.5	講義	必修	
	予防歯科学	3	24.0	講義	必修	
	予防歯科学実習	3	6.0	実習	必修	
	歯科放射線学	3	31.0	講義	必修	
	歯科放射線学実習	3	9.0	実習	必修	
	医科学総論	3	39.0	講義	必修	
	基礎科学演習	3	24.0	演習	必修	
	コア歯学教育演習基礎	3	73.5	講義	必修	
	医療リベラルアーツ	3	18.0	講義	必修	
	チーム医療リテラシー	3	18.0	講義	必修	
	歯科患者を診るためのIntroduction	3	6.0	講義	必修	
	歯科患者を診るためのIntroduction実習	3	15.0	実習	必修	
	口腔治療学 (硬組織、歯髄、歯周組織疾患)	3	150.0	講義	必修	
	口腔治療学 (硬組織、歯髄、歯周組織疾患) 実習	3	126.0	実習	必修	
	補綴歯科治療	4	100.5	講義	必修	
	補綴歯科治療実習	4	178.5	実習	必修	
	医科学 (I)	4	36.0	講義	必修	
	全身管理と歯科麻酔	4	67.5	講義	必修	
	高齢者歯科医学	4	34.5	講義	必修	
口腔外科的治療	4	124.5	講義	必修		
成長発達歯科医学と障害者の歯科治療	4	99.0	講義	必修		
成長発達歯科医学と障害者の歯科治療実習	4	64.5	実習	必修		
コア歯学教育演習 (I)	4	121.0	演習	必修		
法歯科医学・災害歯科医学	4	10.5	講義	必修		
法歯科医学・災害歯科医学実習	4	12.0	実習	必修		
専門英語 (4年)	4	10.5	講義	必修		
総合講義 (I)	5	232.0	講義	必修		
臨床実習	5	1190.5	実習	必修		
医科学 (II)	5	62.0	講義	必修		
総合講義 (II)	6	855.7	講義	必修		
4学部合同セミナー	6	7.5	演習	必修		

- ※歯科患者を診るためのIntroduction (IDP)
- ※口腔治療学 (硬組織、歯髄、歯周組織疾患) (TxAD)
- ※補綴歯科治療 (FR)
- ※医科学 (I) (MSD-I)
- ※全身管理と歯科麻酔 (SmAD)
- ※高齢者歯科医学
- ※口腔外科的治療 (AST)
- ※成長発達歯科医学と障害者の歯科治療 (Txch)

科目区分	科目名	履修年次	単位	区分	備考
自由科目	海外英語演習	1~6	2.0	演習	自由
自由科目	地域医療課題解決演習	1~6	1.0	演習	自由

別表1 (第6条関係:薬学部)  
(1) 2024年度入学用(1学年)

科目区分	科目名	履修年次	単位数	区分	備考	
教養教育科目	生命倫理学	1	1	講義	必修	
	法学	1	1	講義	必修	
	薬学数学1	1	1	講義	必修	
	基礎物理学	1	1	講義	必修	
	情報科学	1	1	講義・演習	必修	
	基礎化学	1	1	講義	必修	
	エッセンシャル生物	1	1	講義	必修	
	English Reading & Writing	1	2	講義	必修	
	English Speaking & Listening	1	2	講義	必修	
	健康運動科学	1	1	講義・実技	必修	
	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1	2	講義・演習	必修	
	心理学	2	1	講義	必修	
	医療における社会・行動科学	2	1	講義	必修	
	医療面接の基礎	2	1	講義	必修	
	データサイエンス	2	1	講義	必修	
	物理学実習	1	1	実験	必修	
	化学実習	1	1	実験	必修	
	生物学実習	1	1	実験	必修	
	ベーシック生物	1	1	講義	選択	
	スタンダード生物	1	1	講義	選択	
	アドバンスト生物	1	1	講義	選択	
	自然・文化人類学	1	1	講義	選択	
	ベーシック化学	1	1	講義	選択	
	アドバンスト化学	1	1	講義	選択	
	ベーシック物理	1	1	講義	選択	
	ベーシック数学	1	1	講義	選択	
	アドバンスト数学	1	1	講義	選択	
	解析学入門	1	1	講義	選択	
	文学の世界	1	1	講義	選択	
	医療とコミュニケーション	1	1	講義	選択	
	道徳のしくみ	1	1	講義	選択	
	医療とスポーツ	1	1	講義・実技	選択	
	実践英語	1	1	講義	選択	
	医療と福祉	1	1	講義	選択	
	医療と物語	1	1	講義	選択	
	パーソナリティ心理学	1	1	講義	選択	
	哲学の世界	1	1	講義	選択	
	人間関係論	1	1	講義	選択	
	医療と法律	1	1	講義	選択	
	科学英語	1	1	講義	選択	
	薬学専門科目	薬学入門(全人的医療基礎講義含む)	1	1	講義	必修
		薬学数学2	1	1	講義	必修
		はじめて学ぶ大学の有機化学	1	1	講義	必修
		薬化学の基礎	1	1	講義	必修
		基礎機能形態学	1	1	講義	必修
基礎生化学(生体分子)		1	1	講義	必修	
機能形態学		1	2	講義	必修	
生化学1(タンパク質科学)		1	1	講義	必修	
早期体験学習(全人的医療基礎講義含む)		1	2	実習	必修	
基礎演習1		2	1	演習	必修	
薬学実践英語1		2	1	講義	必修	
物理化学1		2	1	講義	必修	
物理化学2		2	1	講義	必修	
分析化学1		2	1	講義	必修	
分析化学2		2	1	講義	必修	
有機スペクトル解析		2	1	講義	必修	
有機薬化学1(炭素-炭素多重結合の化学)		2	1	講義	必修	
有機薬化学2(炭素-ヘテロ原子単結合の化学)		2	1	講義	必修	
生化学2(エネルギー代謝)		2	1	講義	必修	
生化学3(ゲノムサイエンス)		2	1	講義	必修	
細胞生物学		2	1	講義	必修	
免疫生物学		2	2	講義	必修	
微生物学		2	1	講義	必修	
薬理学1		2	2	講義	必修	
薬理学2		2	1	講義	必修	
創剤学1		2	1	講義	必修	
創剤学2		2	1	講義	必修	
化学療法1		2	1	講義	必修	
薬物速度論		2	1	講義	必修	
食品栄養学		2	1	講義	必修	
食品衛生学		2	1	講義	必修	
環境衛生学		2	1	講義	必修	
早期臨床体験		2	2	実習	必修	
分析化学実習		2	1	実習	必修	
生化学実習		2	1	実習	必修	
微生物学実習		2	1	実習	必修	
薬理学・組織学実習		2	1	実習	必修	
基礎演習2		3	1	演習	必修	
基礎演習3		3	1	演習	必修	
薬学実践英語2		3	1	講義	必修	

科目区分	科目名	履修年次	単位数	区分	備考
薬学専門科目	チーム医療リテラシー	3	1	講義	必修
	有機薬化学3(炭素-ヘテロ原子多重結合の化学)	3	1	講義	必修
	物理化学3	3	1	講義	必修
	有機生体制御化学	3	2	講義	必修
	生薬学	3	2	講義	必修
	天然物化学	3	1	講義	必修
	感染症学	3	1	講義	必修
	化学療法2	3	1	講義	必修
	医薬安全性学	3	1	講義	必修
	薬物動態学	3	2	講義	必修
	薬物動態解析	3	1	講義	必修
	薬物送達学	3	1	講義	必修
	調剤学(個別最適化の基本となる調剤)	3	1	講義	必修
	日本薬局方概論	3	1	講義	必修
	薬事関連法規	3	1	講義	必修
	医療薬学1(神経)	3	1	講義	必修
	医療薬学2(代謝、内分泌、生殖)	3	2	講義	必修
	医療薬学3(消化器、呼吸器、泌尿器)	3	1	講義	必修
	医療薬学4(循環器、造血器)	3	2	講義	必修
	医療薬学5(免疫アレルギー、感覚器、皮膚)	3	1	講義	必修
	医薬情報科学	3	1	講義	必修
	毒性学	3	1	講義	必修
	保健衛生学	3	1	講義	必修
	物理化学実習	3	1	実習	必修
	有機化学実習	3	1	実習	必修
	生薬学実習	3	1	実習	必修
	衛生化学実習	3	1	実習	必修
	病態薬理学実習	3	1	実習	必修
	創剤学実習	3	1	実習	必修
	薬物代謝学実習	3	1	実習	必修
	看護体験実習	3	1	実習	必修
	チーム医療論	4	1	講義	必修
	薬学生の将来-多様なキャリアと多職種連携	4	1	講義	必修
	総合薬物治療演習	4	2	演習	必修
	基礎総合講義	4	6	講義	必修
	医療倫理とヒューマニズム	4	2	講義	必修
	医薬品管理学	4	1	講義	必修
	悪性腫瘍学	4	1	講義	必修
	地域医療薬学1(セルフメディケーション)	4	1	講義	必修
	地域医療薬学2(地域住民の疾病予防・健康増進と災害医療)	4	1	講義	必修
	臨床薬学(薬学的管理の実践)	4	2	講義	必修
	医療統計学	4	1	講義	必修
	症例処方解析学演習	4	2	演習	必修
	薬事関連制度	4	1	講義	必修
	実務基礎実習	4	4	実習	必修
解剖学	4	1	講義・実習	選択	
実践生化学	4	1	講義	選択	
応用生体防御学	4	1	講義	選択	
実践医薬化学	4	1	講義	選択	
創薬化学	4	1	講義	選択	
構造生物学	4	1	講義	選択	
実践衛生薬学	4	1	講義	選択	
現代医療と生薬・漢方薬	4	1	講義	選択	
アンチ・ドーピング	4	1	講義	選択	
医療手話コミュニケーション	4	1	実習	選択	
臨床医学概論	4	1	講義	選択	
放射化学実習	4	1	実習	選択	
遺伝情報と薬	4	1	講義	選択	
薬学特論1	5	2	講義	必修	
薬学特論2	5	2	講義	必修	
治療戦略1	5	1	講義	必修	
治療戦略2	5	1	講義	必修	
臨床薬学演習(実務実習まとめ)	5	2	演習	必修	
臨床倫理学	5	1	講義・演習	必修	
実務実習	5	20	実習	必修	
総合講義	6	8	講義	必修	
4学部合同セミナー	6	1	演習	必修	
先進医療システム概論	6	1	講義	必修	
卒業研究	4~6	10	実習	必修	
自由科目	デジタルトランスフォーメーション入門	1~3	1	講義	自由
	海外英語演習	1~6	2	演習	自由
	地域医療課題解決演習	1~6	1	演習	自由
	遺伝学に親しむ	2~3	0.5	実習	自由
	遺伝子導入技術を学ぶ	2~4	0.5	実習	自由
	実践チーム医療論(病棟実習)	6	1	実習	自由

別表1 (第6条関係:薬学部)  
(2) 2023年度入学者用 (2学年)

科目区分	科目名	履修年次	単位数	区分	備考	
教養教育科目	生命倫理学	1	1	講義	必修	
	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1	2	講義・演習	必修	
	法学	1	1	講義	必修	
	薬学数学2	1	1	講義	必修	
	基礎物理学	1	1	講義	必修	
	物理学実習	1	1	実験	必修	
	情報科学	1	1	講義・演習	必修	
	基礎化学	1	1	講義	必修	
	化学実習	1	1	実験	必修	
	エッセンシャル生物	1	1	講義	必修	
	薬学生物3 (生命システム)	1	1	講義	必修	
	生物学実習	1	1	実験	必修	
	English Reading & Writing	1	2	講義	必修	
	English Speaking & Listening	1	2	講義	必修	
	健康運動科学	1	1	講義・実技	必修	
	ベーシック生物	1	1	講義	選択	
	スタンダード生物	1	1	講義	選択	
	アドバンスト生物	1	1	講義	選択	
	自然・文化人類学	1	1	講義	選択	
	ベーシック化学	1	1	講義	選択	
	アドバンスト化学	1	1	講義	選択	
	ベーシック物理	1	1	講義	選択	
	ベーシック数学	1	1	講義	選択	
	文学の世界	1	1	講義	選択	
	医療と物語	1	1	講義	選択	
	医療とコミュニケーション	1	1	講義	選択	
	人間関係論	1	1	講義	選択	
	解析学入門	1	1	講義	選択	
	医療と法律	1	1	講義	選択	
	医療とスポーツ	1	1	講義・実技	選択	
	実践英語	1	1	講義	選択	
	医療と福祉	1	1	講義	選択	
	パーソナリティ心理学	1	1	講義	選択	
	哲学の世界	1	1	講義	選択	
	道徳のしくみ	1	1	講義	選択	
	科学英語	1	1	講義	選択	
	心理学	2	1	講義	必修	
	医療における社会・行動科学	2	1	講義	必修	
	医療面接の基礎	2	1	講義	必修	
	データサイエンス	2	1	講義	必修	
	薬学専門科目	はじめて学ぶ大学の有機化学	1	2	講義	必修
		薬学数学1	1	1	講義	必修
		薬学生物1 (機能形態)	1	1	講義	必修
		薬学生物2 (生体分子)	1	1	講義	必修
		分析科学入門	1	1	講義	必修
薬学入門		1	2	講義	必修	
薬化学の基礎		1	2	講義	必修	
機能形態学		1	1	講義	必修	
早期体験学習		1	1	実習	必修	
環境衛生学		2	1	講義	必修	
化学療法学1		2	1	講義	必修	
細胞生物学		2	1	講義	必修	
免疫生物学1		2	1	講義	必修	
食品衛生学		2	2	講義	必修	
生化学1 (タンパク質科学)		2	1	講義	必修	
生化学2 (エネルギー代謝)		2	1	講義	必修	
創剤学1		2	1	講義	必修	
微生物学		2	1	講義	必修	
物理化学1 (分子の性質と電磁波)		2	2	講義	必修	
物理化学2 (物質の性質、エネルギーと平衡)		2	1	講義	必修	
分析化学1		2	1	講義	必修	
分析化学2		2	1	講義	必修	
薬学実践英語1		2	1	講義	必修	
早期臨床体験		2	2	実習	必修	
基礎演習1		2	1	演習	必修	
分析化学計算演習		2	1	演習	必修	
薬学実習1		2	3	実習	必修	
薬物動態学		2	1	講義	必修	
薬理学1		2	2	講義	必修	
薬理学2		2	2	講義	必修	
有機スペクトル解析1		2	1	講義	必修	
有機薬化学1 (炭素-炭素多重結合の化学)		2	1	講義	必修	
有機薬化学2 (炭素-ヘテロ原子単結合の化学)		2	1	講義	必修	
生化学3 (ゲノムサイエンス)		2	1	講義	必修	
解剖学		2	1	講義・実習	必修	
医療薬学1 (消化器・呼吸器・骨・関節疾患の病態と治療)		3	2	講義	必修	

科目区分	科目名	履修年次	単位数	区分	備考
薬学専門科目	医療薬学2 (内分泌・生殖器・感覚器・皮膚疾患の病態と治療)	3	2	講義	必修
	感染症学	3	1	講義	必修
	化学療法学2	3	1	講義	必修
	看護体験実習	3	1	実習	必修
	構造生物学	3	1	講義	必修
	医療薬学3 (血液・代謝・免疫・アレルギー・神経・筋・遺伝性疾患の病態と治療)	3	2	講義	必修
	免疫生物学2	3	1	講義	必修
	応用生体防御学	3	1	講義	必修
	創剤学2	3	1	講義	必修
	有機生体制御化学	3	2	講義	必修
	チーム医療リテラシー	3	1	演習	必修
	臨床薬学入門	3	1	講義	必修
	天然物化学1 (生薬と漢方薬)	3	1	講義	必修
	天然物化学2	3	1	講義	必修
	毒性学	3	1	講義	必修
	医療薬学4 (循環器・泌尿器疾患の病態と治療)	3	1	講義	必修
	放射化学	3	1	講義	必修
	保健衛生学	3	1	講義	必修
	薬学実践英語2	3	1	講義	必修
	薬学実習2	3	5	実習	必修
	医薬安全性学	3	1	演習	必修
	薬物送達学	3	1	講義	必修
	薬物動態解析1	3	1	講義	必修
	薬物動態解析2	3	2	講義	必修
	有機薬化学3 (炭素-ヘテロ原子多重結合の化学)	3	1	講義	必修
	臨床分析化学	3	1	講義	必修
	物理化学3 (溶液の性質、平衡と反応速度論)	3	1	講義	必修
	薬事関係法規・制度1	3	1	講義	必修
	基礎演習2	3	1	演習	必修
	基礎演習3	3	1	演習	必修
	実践生化学	4	1	講義	必修
	実践医薬化学	4	1	講義	必修
	医薬情報科学	4	1	講義	必修
	医療統計学	4	1	講義	必修
	医療倫理とヒューマニズム	4	2	講義	必修
	総合薬物治療演習	4	1	講義	必修
	実務基礎実習	4	5	実習	必修
	症例・処方解析学	4	2	講義	必修
	薬学生の将来 - 多様なキャリアと多職種連携	4	1	講義	必修
	卒業研究1	4	4	実習	必修
	総合薬物治療演習	4	5	演習	必修
	日本薬局方概論	4	1	講義	必修
	薬学実習3	4	1	実習	必修
	薬事関係法規・制度2	4	1	講義	必修
	臨床医学概論	4	2	講義	必修
臨床薬学1	4	1	講義	必修	
臨床薬学2	4	1	講義	必修	
臨床薬学3	4	1	講義	必修	
実務実習	5	20	実習	必修	
医薬品情報セミナー	5	1	講義	必修	
治療戦略概論	5	1	講義	必修	
薬学特論 (衛生・分析・動態)	5	1	講義	必修	
薬学特論 (生物・薬理)	5	2	講義	必修	
卒業研究2	5~6	6	実習	必修	
地域医療マネジメント概論	6	1	講義	必修	
臨床薬学総合演習	6	2	講義	必修	
総合演習	6	3	演習	必修	
総合講義	6	5	講義	必修	
4学部合同セミナー	6	1	演習	必修	
海外外国語研修 (海外英語演習)	1~6	2	演習	自由	
地域医療課題解決演習	1~6	1	演習	自由	
デジタルトランスフォーメーション入門	1~3	1	講義	自由	
遺伝学に親しむ	2~3	0.5	実習	自由	
遺伝子導入技術を学ぶ	2~4	0.5	実習	自由	
一般用医薬品入門	2~4	0.5	講義	自由	
救急救命の基礎	2~4	0.5	講義・演習	自由	
放射科学実習	3	0.5	実習	自由	
アンチ・ドーピング	4	0.5	講義	自由	
医療手話コミュニケーション	4~5	0.5	実習	自由	
実践チーム医療論 (病棟実習)	6	1	実習	自由	
多職種連携地域医療演習	6	1	演習	自由	

別表1 (第6条関係:薬学部)  
(3) 2022年度入学者用 (3学年)

科目区分	科目名	履修年次	単位数	区分	備考	
教養教育科目	生命倫理学	1	1	講義	必修	
	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1	2	演習	必修	
	法学	1	1	講義	必修	
	薬学数学2	1	1	講義	必修	
	基礎物理学	1	1	講義	必修	
	物理学実習	1	1	実習	必修	
	情報科学	1	1	講義	必修	
	基礎化学	1	1	講義	必修	
	化学実習	1	1	実習	必修	
	エッセンシャル生物	1	1	講義	必修	
	薬学生物3 (生命システム)	1	1	講義	必修	
	生物学実習	1	1	実習	必修	
	English Reading & Writing	1	3	講義	必修	
	English Speaking & Listening	1	1	講義	必修	
	健康運動科学	1	2	講義	必修	
	ベーシック生物	1	1	講義	選択	
	スタンダード生物	1	1	講義	選択	
	アドバンスト生物	1	1	講義	選択	
	自然・文化人類学	1	1	講義	選択	
	ベーシック化学	1	1	講義	選択	
	アドバンスト化学	1	1	講義	選択	
	ベーシック物理	1	1	講義	選択	
	ベーシック数学	1	1	講義	選択	
	文学の世界	1	1	講義	選択	
	医療と物語	1	1	講義	選択	
	医療とコミュニケーション	1	1	講義	選択	
	人間関係論	1	1	講義	選択	
	解析学入門	1	1	講義	選択	
	医療と法律	1	1	講義	選択	
	医療とスポーツ	1	1	講義	選択	
	実践英語	1	1	講義	選択	
	医療と福祉	1	1	講義	選択	
	パーソナリティ心理学	1	1	講義	選択	
	哲学の世界	1	1	講義	選択	
	道徳のしくみ	1	1	講義	選択	
	科学英語	1	1	講義	選択	
	心理学	2	1	講義	必修	
	医療における社会・行動科学	2	1	講義	必修	
	医療面接の基礎	2	1	講義	必修	
	データサイエンス	2	1	講義	必修	
	薬学専門科目	はじめて学ぶ大学の有機化学	1	2	講義	必修
		薬学数学1	1	1	講義	必修
		薬学生物1 (機能形態)	1	1	講義	必修
		薬学生物2 (生体分子)	1	1	講義	必修
		分析科学入門	1	1	講義	必修
薬学入門		1	2	講義	必修	
薬化学の基礎		1	2	講義	必修	
機能形態学		1	1	講義	必修	
早期体験学習		1	1	実習	必修	
環境衛生学		2	1	講義	必修	
化学療法学1		2	1	講義	必修	
細胞生物学		2	1	講義	必修	
免疫生物学1		2	1	講義	必修	
食品衛生学		2	2	講義	必修	
生化学1 (タンパク質科学)		2	1	講義	必修	
生化学2 (エネルギー代謝)		2	1	講義	必修	
創剤学1		2	1	講義	必修	
微生物学		2	1	講義	必修	
物理化学1 (分子の性質と電磁波)		2	2	講義	必修	
物理化学2 (物質の性質、エネルギーと平衡)		2	1	講義	必修	
分析化学1		2	1	講義	必修	
分析化学2		2	1	講義	必修	
薬学実践英語1		2	1	講義	必修	
早期臨床体験		2	2	実習	必修	
基礎演習1		2	1	演習	必修	
分析化学計算演習		2	1	演習	必修	
薬学実習1		2	3	実習	必修	
薬物動態学		2	1	講義	必修	
薬理学1		2	2	講義	必修	
薬理学2		2	2	講義	必修	
有機スペクトル解析1		2	1	講義	必修	
有機薬化学1 (炭素-炭素多重結合の化学)		2	1	講義	必修	
有機薬化学2 (炭素-ヘテロ原子単結合の化学)		2	1	講義	必修	
生化学3 (ゲノムサイエンス)		2	1	講義	必修	
解剖学		2	1	講義・実習	必修	
医療薬学1 (消化器・呼吸器・骨・関節疾患の病態と治療)		3	2	講義	必修	

科目区分	科目名	履修年次	単位数	区分	備考
薬学専門科目	医療薬学2 (内分泌・生殖器・感覚器・皮膚疾患の病態と治療)	3	2	講義	必修
	感染症学	3	1	講義	必修
	化学療法学2	3	1	講義	必修
	看護体験実習	3	1	実習	必修
	構造生物学	3	1	講義	必修
	医療薬学3 (血液・代謝・免疫・アレルギー・神経・筋・遺伝性疾患の病態と治療)	3	2	講義	必修
	免疫生物学2	3	1	講義	必修
	応用生体防御学	3	1	講義	必修
	創剤学2	3	1	講義	必修
	有機生体制御化学	3	2	講義	必修
	チーム医療リテラシー	3	1	演習	必修
	臨床薬学入門	3	1	講義	必修
	天然物化学1 (生薬と漢方薬)	3	1	講義	必修
	天然物化学2	3	1	講義	必修
	毒性学	3	1	講義	必修
	医療薬学4 (循環器・泌尿器疾患の病態と治療)	3	1	講義	必修
	放射化学	3	1	講義	必修
	保健衛生学	3	1	講義	必修
	薬学実践英語2	3	1	講義	必修
	薬学実習2	3	5	実習	必修
	医薬安全性学	3	1	演習	必修
	薬物送達学	3	1	講義	必修
	薬物動態解析1	3	1	講義	必修
	薬物動態解析2	3	2	講義	必修
	有機薬化学3 (炭素-ヘテロ原子多重結合の化学)	3	1	講義	必修
	臨床分析化学	3	1	講義	必修
	物理化学3 (溶液の性質、平衡と反応速度論)	3	1	講義	必修
	薬事関係法規・制度1	3	1	講義	必修
	基礎演習2	3	1	演習	必修
	基礎演習3	3	1	演習	必修
	実践生化学	4	1	講義	必修
	実践医薬化学	4	1	講義	必修
	医薬情報科学	4	1	講義	必修
	医療統計学	4	1	講義	必修
	医療倫理とヒューマニズム	4	2	講義	必修
	総合衛生薬学	4	1	講義	必修
	実務基礎実習	4	5	実習	必修
	症例・処方解析学	4	2	講義	必修
	薬学生の将来 - 多様なキャリアと多職種連携	4	1	講義	必修
	卒業研究1	4	4	実習	必修
	総合薬物治療演習	4	5	演習	必修
	日本薬局方概論	4	1	講義	必修
	薬学実習3	4	1	実習	必修
	薬事関係法規・制度2	4	1	講義	必修
	臨床医学概論	4	2	講義	必修
臨床薬学1	4	1	講義	必修	
臨床薬学2	4	1	講義	必修	
臨床薬学3	4	1	講義	必修	
実務実習	5	20	実習	必修	
医薬品情報セミナー	5	1	講義	必修	
治療戦略概論	5	1	講義	必修	
薬学特論 (衛生・分析・動態)	5	1	講義	必修	
薬学特論 (生物・薬理)	5	2	講義	必修	
卒業研究2	5~6	6	実習	必修	
地域医療マネジメント概論	6	1	講義	必修	
臨床薬学総合演習	6	2	講義	必修	
総合演習	6	3	演習	必修	
総合講義	6	5	講義	必修	
4学部合同セミナー	6	1	演習	必修	
海外外国語研修 (海外英語演習)	1~6	2	演習	自由	
地域医療課題解決演習	1~6	1	演習	自由	
デジタルトランスフォーメーション入門	1~3	1	講義	自由	
予防医療入門	2	0.5	講義	自由	
遺伝学に親しむ	2~3	0.5	実習	自由	
遺伝子導入技術を学ぶ	2~4	0.5	実習	自由	
一般用医薬品入門	2~4	0.5	講義	自由	
救急救命の基礎	2~4	0.5	講義・演習	自由	
放射科学実習	3	0.5	実習	自由	
アンチ・ドーピング	4	0.5	講義	自由	
医療手話コミュニケーション	4~5	0.5	実習	自由	
実践チーム医療論 (病棟実習)	6	1	実習	自由	
多職種連携地域医療演習	6	1	演習	自由	

別表1 (第6条関係:薬学部)  
(4) 2021年度入学用(4学年)

科目区分	科目名	履修年次	単位数	区分	備考
教養教育科目	生命倫理学	1	1	講義	必修
	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1	2	演習	必修
	法学	1	1	講義	必修
	基礎数学	1	1	講義	必修
	基礎物理学	1	1	講義	必修
	物理学実習	1	1	実習	必修
	情報科学	1	1	講義	必修
	情報科学演習	1	2	演習	必修
	基礎化学	1	1	講義	必修
	化学実習	1	1	実習	必修
	エッセンシャル生物	1	1	講義	必修
	薬学生物3(生命システム)	1	1	講義	必修
	生物学実習	1	1	実習	必修
	English Reading & Writing	1	3	講義	必修
	English Speaking & Listening	1	1	講義	必修
	健康運動科学	1	2	講義	必修
	ベーシック生物	1	1	講義	選択
	スタンダード生物	1	1	講義	選択
	アドバンスト生物	1	1	講義	選択
	自然・文化人類学	1	1	講義	選択
	ベーシック化学	1	1	講義	選択
	アドバンスト化学	1	1	講義	選択
	ベーシック物理	1	1	講義	選択
	ベーシック数学	1	1	講義	選択
	文学の世界	1	1	講義	選択
	医療と物語	1	1	講義	選択
	医療とコミュニケーション	1	1	講義	選択
	人間関係論	1	1	講義	選択
	解析学入門	1	1	講義	選択
	医療と法律	1	1	講義	選択
	医療とスポーツ	1	1	講義	選択
	実践英語	1	1	講義	選択
	医療と福祉	1	1	講義	選択
	パーソナリティ心理学	1	1	講義	選択
	哲学の世界	1	1	講義	選択
	道徳のしくみ	1	1	講義	選択
	科学英語	1	1	講義	選択
	英語学	1	1	講義	選択
	心理学	2	1	講義	必修
	医療における社会・行動科学	2	1	講義	必修
医療面接の基礎	2	1	講義	必修	
データサイエンス	2	1	講義	必修	
はじめて学ぶ大学の有機化学	1	2	講義	必修	
薬学基礎数学	1	1	講義	必修	
薬学生物1(機能形態)	1	1	講義	必修	
薬学生物2(生体分子)	1	1	講義	必修	
分析科学入門	1	1	講義	必修	
薬学入門	1	2	講義	必修	
薬化学の基礎	1	2	講義	必修	
機能形態学	1	1	講義	必修	
早期体験学習	1	1	実習	必修	
環境衛生学	2	1	講義	必修	
化学療法学1	2	1	講義	必修	
細胞生物学	2	1	講義	必修	
免疫生物学1	2	1	講義	必修	
食品衛生学	2	2	講義	必修	
生化学1(タンパク質科学)	2	1	講義	必修	
生化学2(エネルギー代謝)	2	1	講義	必修	
創剤学1	2	1	講義	必修	
微生物学	2	1	講義	必修	
物理化学1(分子の性質と電磁波)	2	2	講義	必修	
物理化学2(物質のエネルギーと平衡)	2	1	講義	必修	
分析化学1	2	1	講義	必修	
分析化学2	2	1	講義	必修	
薬学実践英語1	2	1	講義	必修	
早期臨床体験	2	2	実習	必修	
基礎演習1	2	1	演習	必修	
分析化学計算演習	2	1	演習	必修	
薬学実習1	2	3	実習	必修	
薬物動態学1	2	1	講義	必修	
薬理学1	2	2	講義	必修	
薬理学2	2	2	講義	必修	
有機スペクトル解析1	2	1	講義	必修	
有機薬化学1(炭素-炭素多重結合の化学)	2	1	講義	必修	
有機薬化学2(炭素-ヘテロ原子単結合の化学)	2	1	講義	必修	
生化学3(ゲノムサイエンス)	2	1	講義	必修	
解剖学	2	1	講義	必修	
医療薬学1(消化器・呼吸器・骨・関節疾患の病態と治療)	3	2	講義	必修	

科目区分	科目名	履修年次	単位数	区分	備考
薬学専門科目	医療薬学2(内分泌・生殖器・感覚器・皮膚疾患の病態と治療)	3	2	講義	必修
	感染症学	3	1	講義	必修
	化学療法学2	3	1	講義	必修
	看護体験実習	3	1	実習	必修
	構造生物学	3	1	講義	必修
	医療薬学3(血液・代謝・免疫・アレルギー・神経・筋・遺伝性疾患の病態と治療)	3	2	講義	必修
	免疫生物学2	3	1	講義	必修
	応用生体防御学	3	1	講義	必修
	創剤学2	3	1	講義	必修
	有機生体制御化学	3	2	講義	必修
	チーム医療リテラシー	3	1	演習	必修
	臨床薬学入門	3	1	講義	必修
	天然物化学1(生薬と漢方薬)	3	1	講義	必修
	天然物化学2	3	1	講義	必修
	毒性学	3	1	講義	必修
	医療薬学4(循環器・泌尿器疾患の病態と治療)	3	1	講義	必修
	放射化学	3	1	講義	必修
	保健衛生学	3	1	講義	必修
	薬学実践英語2	3	1	講義	必修
	薬学実習2	3	5	実習	必修
	医薬安全学	3	1	演習	必修
	薬物送達学	3	1	講義	必修
	薬物動態解析1	3	1	講義	必修
	薬物動態解析2	3	2	講義	必修
	有機薬化学3(炭素-ヘテロ原子多重結合の化学)	3	1	講義	必修
	臨床分析化学	3	1	講義	必修
	物理化学3(溶液の性質、平衡と反応速度論)	3	1	講義	必修
	薬事関係法規・制度1	3	1	講義	必修
	基礎演習2	3	1	演習	必修
	基礎演習3	3	1	演習	必修
	実践生化学	4	1	講義	必修
	実践医薬化学	4	1	講義	必修
	医薬情報科学	4	1	講義	必修
	医療統計学	4	1	講義	必修
	医療倫理とヒューマニズム	4	2	講義	必修
	実践衛生薬学	4	1	講義	必修
	実務基礎実習	4	5	実習	必修
	症例・処方解析学	4	2	講義	必修
	薬学生の将来-多様なキャリアと多職種連携	4	1	講義	必修
	卒業研究1	4	4	実習	必修
総合薬物治療演習	4	5	演習	必修	
日本薬局方概論	4	1	講義	必修	
薬学実習3	4	1	実習	必修	
薬事関係法規・制度2	4	1	講義	必修	
臨床医学概論	4	2	講義	必修	
臨床薬学1	4	1	講義	必修	
臨床薬学2	4	1	講義	必修	
臨床薬学3	4	1	講義	必修	
実務実習	5	20	実習	必修	
医薬品情報セミナー	5	1	講義	必修	
治療戦略概論	5	1	講義	必修	
薬学特論(衛生・分析・動態)	5	1	講義	必修	
薬学特論(生物・薬理)	5	2	講義	必修	
卒業研究2	5~6	6	実習	必修	
地域医療マネジメント概論	6	1	講義	必修	
臨床薬学総合演習	6	2	講義	必修	
総合演習	6	3	演習	必修	
総合講義	6	5	講義	必修	
4学部合同セミナー	6	1	演習	必修	
海外外国語研修(海外英語演習)	1~6	2	演習	自由	
地域医療課題解決演習	1~6	1	演習	自由	
デジタルトランスフォーメーション入門	1~3	1	講義	自由	
予防薬学入門	2~3	0.5	講義	自由	
遺伝学に親しむ	2~3	0.5	実習	自由	
遺伝子導入技術を学ぶ	2~4	0.5	実習	自由	
一般用医薬品入門	2~4	0.5	講義	自由	
救急救命の基礎	2~4	0.5	講義・演習	自由	
放射科学実習	3	0.5	実習	自由	
アンチ・ドーピング	4	0.5	講義	自由	
医療手話コミュニケーション	4~5	0.5	実習	自由	
実践チーム医療論(病棟実習)	6	1	実習	自由	
多職種連携地域医療演習	6	1	演習	自由	

別表1 (第6条関係:薬学部)  
(5) 2020年度入学者用 (5学年)

科目区分	科目名	履修年次	単位数	区分	備考
教養教育科目	生命倫理学	1	1	講義	必修
	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1	2	演習	必修
	法学	1	1	講義	必修
	基礎数学	1	1	講義	必修
	基礎物理学	1	1	講義	必修
	物理学実習	1	1	実習	必修
	情報科学	1	1	講義	必修
	情報科学演習	1	2	演習	必修
	基礎化学	1	1	講義	必修
	化学実習	1	1	実習	必修
	エッセンシャル生物	1	1	講義	必修
	薬学生物3 (生命システム)	1	1	講義	必修
	生物学実習	1	1	実習	必修
	English Reading & Writing	1	3	講義	必修
	English Speaking & Listening	1	1	講義	必修
	健康運動科学	1	2	講義	必修
	ベーシック生物	1	1	講義	選択
	スタンダード生物	1	1	講義	選択
	アドバンスト生物	1	1	講義	選択
	自然・文化人類学	1	1	講義	選択
	ベーシック化学	1	1	講義	選択
	アドバンスト化学	1	1	講義	選択
	ベーシック物理	1	1	講義	選択
	ベーシック数学	1	1	講義	選択
	文学の世界	1	1	講義	選択
	医療と物語	1	1	講義	選択
	医療とコミュニケーション	1	1	講義	選択
	人間関係論	1	1	講義	選択
	解剖学入門	1	1	講義	選択
	医療と法律	1	1	講義	選択
	医療とスポーツ	1	1	講義	選択
	実践英語	1	1	講義	選択
	医療と福祉	1	1	講義	選択
	パーソナリティ心理学	1	1	講義	選択
	哲学の世界	1	1	講義	選択
	道徳のしくみ	1	1	講義	選択
	科学英語	1	1	講義	選択
	英語学	1	1	講義	選択
	心理学	2	1	講義	必修
	医療における社会・行動科学	2	1	講義	必修
	医療面接の基礎	2	1	講義	必修
	基礎統計学	2	1	講義	必修
	はじめて学ぶ大学の有機化学	1	2	講義	必修
	薬学基礎数学	1	1	講義	必修
	演習で学ぶ薬学化学基礎	1	1	講義	必修
薬学生物1 (機能形態)	1	1	講義	必修	
薬学生物2 (生体分子)	1	1	講義	必修	
分析科学入門	1	1	講義	必修	
薬学入門	1	2	講義	必修	
薬化学の基礎	1	1	講義	必修	
機能形態学	1	1	講義	必修	
早期体験学習	1	1	実習	必修	
環境衛生学	2	1	講義	必修	
化学療法学1	2	1	講義	必修	
細胞生物学	2	1	講義	必修	
免疫生物学1	2	1	講義	必修	
食品衛生学	2	2	講義	必修	
生化学1 (タンパク質科学)	2	1	講義	必修	
生化学2 (エネルギー代謝)	2	1	講義	必修	
創剤学1	2	1	講義	必修	
微生物学	2	1	講義	必修	
物理化学1 (分子の性質と電磁波)	2	2	講義	必修	
物理化学2 (物質のエネルギーと平衡)	2	1	講義	必修	
分析化学1	2	1	講義	必修	
分析化学2	2	1	講義	必修	
薬学実践英語1	2	1	講義	必修	
早期臨床体験	2	2	実習	必修	
基礎総合講義1	2	1	演習	必修	
基礎総合講義2	2	1	演習	必修	
分析化学計算演習	2	1	演習	必修	
薬学実習1	2	3	実習	必修	
薬物動態学1	2	1	講義	必修	
薬理学1	2	2	講義	必修	
薬理学2	2	2	講義	必修	
有機スベクトル解析1	2	1	講義	必修	
有機薬化学1 (炭素-炭素多重結合の化学)	2	1	講義	必修	
有機薬化学2 (炭素-ヘテロ原子単結合の化学)	2	1	講義	必修	
生化学3 (ゲノムサイエンス)	2	1	講義	必修	
解剖学	2	1	講義	必修	

科目区分	科目名	履修年次	単位数	区分	備考
薬学専門科目	医療薬学1 (消化器・呼吸器・骨・関節疾患の病態と治療)	3	2	講義	必修
	医療薬学2 (内分泌・生殖器・感覚器・皮膚疾患の病態と治療)	3	2	講義	必修
	感染症学	3	1	講義	必修
	化学療法学2	3	1	講義	必修
	看護体験実習	3	1	実習	必修
	構造生物学	3	1	講義	必修
	医療薬学3 (血液・代謝・免疫・アレルギー・神経・筋・遺伝性疾患の病態と治療)	3	2	講義	必修
	免疫生物学2	3	1	講義	必修
	応用生体防御学	3	1	講義	必修
	創剤学2	3	1	講義	必修
	有機生体制御化学	3	2	講義	必修
	チーム医療リテラシー	3	1	演習	必修
	臨床薬学入門	3	1	講義	必修
	天然物化学1 (生薬と漢方薬)	3	1	講義	必修
	天然物化学2	3	1	講義	必修
	毒性学	3	1	講義	必修
	医療薬学4 (循環器・泌尿器疾患の病態と治療)	3	1	講義	必修
	放射化学	3	1	講義	必修
	保健衛生学	3	1	講義	必修
	薬学実践英語2	3	1	講義	必修
	薬学実習2	3	5	実習	必修
	医薬安全性学	3	1	演習	必修
	薬物送達学	3	1	講義	必修
	薬物動態解析1	3	1	講義	必修
	薬物動態学2	3	1	講義	必修
	薬物動態解析2	3	1	講義	必修
	有機薬化学3 (炭素-ヘテロ原子多重結合の化学)	3	1	講義	必修
	臨床分析化学	3	1	講義	必修
	物理化学3 (平衡と反応速度論)	3	1	講義	必修
	薬事関係法規・制度1	3	1	講義	必修
	基礎演習2	3	1	演習	必修
	基礎演習3	3	1	演習	必修
	実践生化学	4	1	講義	必修
	実践医薬化学	4	1	講義	必修
	医薬情報科学	4	1	講義	必修
	医療統計学	4	1	講義	必修
	医療倫理とヒューマニズム	4	2	講義	必修
	実践衛生薬学	4	1	講義	必修
	実務基礎実習	4	5	実習	必修
	症例・処方解析学	4	2	講義	必修
	薬学生の将来 - 多様なキャリアと多職種連携	4	1	講義	必修
	卒業研究2	4	4	実習	必修
	総合薬物治療演習	4	5	演習	必修
	日本薬局方概論	4	1	講義	必修
	薬学実習3	4	1	実習	必修
薬事関係法規・制度2	4	1	講義	必修	
臨床医学概論	4	2	講義	必修	
臨床薬学1	4	1	講義	必修	
臨床薬学2	4	1	講義	必修	
臨床薬学3	4	1	講義	必修	
実務実習	5	20	実習	必修	
医薬品情報セミナー	5	1	講義	必修	
治療戦略概論	5	1	講義	必修	
薬学特論 (衛生・分析・動態)	5	1	講義	必修	
薬学特論 (生物・薬理)	5	2	講義	必修	
卒業研究2	5~6	6	実習	必修	
地域医療マネジメント概論	6	1	講義	必修	
臨床薬学総合演習	6	2	講義	必修	
総合演習	6	3	演習	必修	
総合講義	6	5	講義	必修	
4学部合同セミナー	6	1	演習	必修	
海外外国語研修 (海外英語演習)	1~6	2	演習	自由	
地域医療課題解決演習	1~6	1	演習	自由	
デジタルトランスフォーメーション入門	1~4	1	講義	自由	
遺伝学に親しむ	2~3	0.5	実習	自由	
遺伝子導入技術を学ぶ	2~4	0.5	実習	自由	
予防医療入門	2~4	0.5	講義	自由	
一般用医薬品入門	2~4	0.5	講義	自由	
放射科学実習	3	0.5	実習	自由	
アンチ・ドーピング	4	0.5	講義	自由	
医療手話コミュニケーション	4~5	0.5	実習	自由	
実践チーム医療論 (病棟実習)	6	1	実習	自由	
多職種連携地域医療演習	6	1	演習	自由	

別表1 (第6条関係:薬学部)  
(6) 2017年度入学者用 (6学年)

科目区分	科目名	履修年次	単位数	区分	備考
教養教育科目	生命倫理学	1	1	講義	必修
	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1	2	演習	必修
	法学	1	1	講義	必修
	基礎数学	1	1	講義	必修
	基礎物理学	1	1	講義	必修
	物理学実習	1	1	実習	必修
	情報科学	1	1	講義	必修
	情報科学演習	1	2	演習	必修
	基礎化学	1	1	講義	必修
	化学実習	1	1	実習	必修
	エッセンシャル生物	1	1	講義	必修
	薬学生物3 (生命システム)	1	1	講義	必修
	生物学実習	1	1	実習	必修
	English Reading & Writing	1	3	講義	必修
	English Speaking & Listening	1	1	講義	必修
	健康運動科学	1	2	講義	必修
	ベーシック生物	1	1	講義	選択
	スタンダード生物	1	1	講義	選択
	アドバンスト生物	1	1	講義	選択
	自然・文化人類学	1	1	講義	選択
	ベーシック化学	1	1	講義	選択
	アドバンスト化学	1	1	講義	選択
	ベーシック物理	1	1	講義	選択
	ベーシック数学	1	1	講義	選択
	文学の世界	1	1	講義	選択
	医療と物語	1	1	講義	選択
	医療とコミュニケーション	1	1	講義	選択
	人間関係論	1	1	講義	選択
	解析学入門	1	1	講義	選択
	医療と法律	1	1	講義	選択
	医療とスポーツ	1	1	講義	選択
	実践英語	1	1	講義	選択
	医療と福祉	1	1	講義	選択
	パーソナリティ心理学	1	1	講義	選択
	哲学の世界	1	1	講義	選択
	徳徳のしくみ	1	1	講義	選択
	科学英語	1	1	講義	選択
	英語学	1	1	講義	選択
	心理学	2	1	講義	必修
	医療における社会・行動科学	2	1	講義	必修
	医療面接の基礎	2	1	講義	必修
	基礎統計学	2	1	講義	必修
	はじめて学ぶ大学の有機化学	1	2	講義	必修
	薬学基礎数学	1	1	講義	必修
	演習で学ぶ薬化学基礎	1	1	講義	必修
薬学生物1 (機能形態)	1	1	講義	必修	
薬学生物2 (生体分子)	1	1	講義	必修	
分析科学入門	1	1	講義	必修	
薬学入門	1	2	講義	必修	
薬化学の基礎	1	1	講義	必修	
機能形態学	1	1	講義	必修	
早期体験学習	1	1	実習	必修	
環境衛生学	2	1	講義	必修	
感染症学	2	1	講義	必修	
細胞生物学	2	1	講義	必修	
免疫生物学1	2	1	講義	必修	
食品衛生学	2	2	講義	必修	
生化学1 (タンパク質科学)	2	1	講義	必修	
生化学2 (エネルギー代謝)	2	1	講義	必修	
創剤学1	2	1	講義	必修	
天然物化学1	2	1	講義	必修	
微生物学	2	1	講義	必修	
物理化学1 (分子の性質と電磁波)	2	2	講義	必修	
物理化学2 (物質のエネルギーと平衡)	2	1	講義	必修	
分析化学1	2	1	講義	必修	
分析化学2	2	1	講義	必修	
薬学英語1	2	1	講義	必修	
薬学英語2	2	1	講義	必修	
早期臨床体験	2	1	実習	必修	
基礎総合講義1	2	1	演習	必修	
基礎総合講義2	2	1	演習	必修	
分析化学計算演習	2	1	演習	必修	
薬学実習1	2	3	実習	必修	
薬物動態学1	2	1	講義	必修	
薬理学1	2	2	講義	必修	
薬理学2	2	2	講義	必修	
有機構造解析1	2	1	講義	必修	
有機薬化学1 (炭素-炭素多重結合の化学)	2	1	講義	必修	
有機薬化学2 (炭素-ヘテロ原子単結合の化学)	2	1	講義	必修	
生化学3 (ゲノムサイエンス)	2	1	講義	必修	
解剖学	2	1	講義	必修	

科目区分	科目名	履修年次	単位数	区分	備考
薬学専門科目	医療薬学1 (消化器・呼吸器・骨・関節疾患の病態と治療)	3	2	講義	必修
	医療薬学2 (内分泌・生殖器・感覚器・皮膚疾患の病態と治療)	3	2	講義	必修
	化学療法学1	3	1	講義	必修
	化学療法学2	3	1	講義	必修
	看護体験実習	3	1	実習	必修
	構造生物学	3	1	講義	必修
	医療薬学3 (血液・代謝・免疫・アレルギー・神経・筋・遺伝性疾患の病態と治療)	3	2	講義	必修
	免疫生物学2	3	1	講義	必修
	応用生体防御学	3	1	講義	必修
	創剤学2	3	1	講義	必修
	有機生体制御化学	3	2	講義	必修
	チーム医療リテラシー	3	1	演習	必修
	臨床薬学入門	3	1	講義	必修
	天然物化学2 (生薬と漢方薬)	3	1	講義	必修
	毒性学	3	1	講義	必修
	医療薬学4 (循環器・泌尿器疾患の病態と治療)	3	1	講義	必修
	放射化学	3	1	講義	必修
	保健衛生学	3	1	講義	必修
	薬学英語3	3	1	講義	必修
	薬学実習2	3	5	実習	必修
	医薬安全性学	3	1	演習	必修
	薬物送達学	3	1	講義	必修
	薬物動態解析1	3	1	講義	必修
	薬物動態学2	3	1	講義	必修
	薬物動態解析2	3	1	講義	必修
	有機薬化学3 (炭素-ヘテロ原子多重結合の化学)	3	1	講義	必修
	臨床分析化学	3	1	講義	必修
	物理化学3 (平衡と反応速度論)	3	1	講義	必修
	薬事関係法規・制度1	3	1	講義	必修
	実践生化学	4	1	講義	必修
	実践薬化学	4	1	講義	必修
	医薬情報科学	4	1	講義	必修
	医療統計学	4	1	講義	必修
	医療倫理とヒューマニズム	4	2	講義	必修
	実践衛生薬学	4	1	講義	必修
	実務基礎実習	4	5	実習	必修
	症例・処方解析学	4	2	講義	必修
	薬学生の将来 - 多様なキャリアと多職種連携	4	1	講義	必修
	卒業研究1	4	4	実習	必修
	総合薬物治療演習	4	5	演習	必修
	日本薬局方概論	4	1	講義	必修
	薬学実習3	4	1	実習	必修
	薬事関係法規・制度2	4	1	講義	必修
	臨床医学概論	4	2	講義	必修
	臨床薬学1	4	1	講義	必修
臨床薬学2	4	1	講義	必修	
臨床薬学3	4	1	講義	必修	
実務実習	5	20	実習	必修	
医薬品情報セミナー	5	1	講義	必修	
治療戦略概論	5	1	講義	必修	
薬学特論 (衛生・分析・動態)	5	1	講義	必修	
薬学特論 (生物・薬理)	5	2	講義	必修	
卒業研究2	5~6	6	実習	必修	
地域医療マネジメント概論	6	1	講義	必修	
臨床薬学総合演習	6	2	講義	必修	
総合演習	6	3	演習	必修	
総合講義	6	5	講義	必修	
4学部合同セミナー	6	1	演習	必修	
海外英語演習	1~6	2	演習	自由	
地域医療課題解決演習	1~6	1	演習	自由	
遺伝学に親しむ	2~3	0.5	実習	自由	
遺伝子導入技術を学ぶ	2~4	0.5	実習	自由	
予防医療入門	2~4	0.5	講義	自由	
一般用医薬品入門	2~4	0.5	講義	自由	
放射科学実習	3	0.5	実習	自由	
アンチ・ドーピング	4	0.5	講義	自由	
医療手話コミュニケーション	4~5	0.5	実習	自由	
感染制御学	5	0.5	講義	自由	
実践チーム医療論 (病棟実習)	6	1	実習	自由	
多職種連携地域医療演習	6	1	演習	自由	

別表1 (第6条関係:看護学部)  
(1) 2024年度以降入学者用

科目区分	科目名	履修年次	単位	区分	備考
関連科目 IPE	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1	2	演習	必修
	チーム医療リテラシー	3	1	演習	必修
	4学部合同セミナー	4	1	演習	必修
教養教育科目群 教養教育科目	医療における社会・行動科学	1	1	講義	必修
	基礎自然科学	1	1	講義	必修
	情報科学	1	2	講義	必修
	健康運動科学	1	2	講義	必修
	社会福祉	1	1	講義	必修
	心理学	1	1	講義	必修
	医療面接の基礎	1	1	講義	必修
	生命倫理学	1	1	講義	必修
	データサイエンス	1	1	講義	必修
	English Speaking & Listening	1	1	講義	必修
	English Reading & Writing	1	2	講義	必修
	医療英語	2	1	講義	必修
	ベーシック生物	1	1	講義	選択
	スタンダード生物	1	1	講義	選択
	アドバンスト生物	1	1	講義	選択
	自然・文化人類学	1	1	講義	選択
	ベーシック化学	1	1	講義	選択
	ベーシック物理	1	1	講義	選択
	解析学入門	1	1	講義	選択
	医療とスポーツ	1	1	講義	選択
	医療とコミュニケーション	1	1	講義	選択
	道徳のしくみ	1	1	講義	選択
	ベーシック数学	1	1	講義	選択
	アドバンスト数学	1	1	講義	選択
	アドバンスト化学	1	1	講義	選択
	文学の世界	1	1	講義	選択
	実践英語	1	1	講義	選択
	医療と福祉	1	1	講義	選択
	科学英語	1	1	講義	選択
	医療と物語	1	1	講義	選択
	人間関係論	1	1	講義	選択
	パーソナリティ心理学	1	1	講義	選択
	哲学の世界	1	1	講義	選択
	医療と法律	1	1	講義	選択
看護専門基礎科目	栄養学	1	1	講義	必修
	生化学	1	2	講義	必修
	感染免疫学	1	2	講義	必修
	基礎解剖学	1	2	講義	必修
	基礎生理学	1	2	講義	必修
	病理学概論	1	1	講義	必修
	薬理学	2	2	講義	必修
	臨床心理学	2	1	講義	必修
	疾病論Ⅰ(内科系総論)	2	2	講義	必修
	疾病論Ⅱ(外科系総論)	2	2	講義	必修
	疾病論Ⅲ(各論)	2	2	講義	必修
	疾病論Ⅳ(展開論)	2	2	講義	必修
	臨床病態生理学	3	1	講義	必修
	看護薬理学	4	1	講義	必修
	臨床推論	4	1	講義	必修
	医学・医療論	1	1	講義	必修
	公衆衛生学・疫学	3	2	講義	必修
保健統計学	3	2	講義	必修	
看護専門科目 基礎看護学	看護学概論(全人的医療基礎講義含む)	1	2	講義	必修
	看護倫理学	3	1	講義	必修
	生活援助技術論Ⅰ(感染・廃棄・活動・食事の援助技術)	1	1	演習	必修
	生活援助技術論Ⅱ(清潔・排泄の援助技術)	1	1	演習	必修
	フィジカルアセスメント	1	1	演習	必修
	診療援助技術論	1	2	演習	必修
	看護過程論	1	1	講義	必修
	看護過程演習	2	2	演習	必修
	地域健康生活論	1	1	講義	必修
	地域・在宅看護学概論	2	2	講義	必修
地域・在宅看護方法論	2	2	講義	必修	
地域・在宅看護学演習	3	1	演習	必修	

科目区分	科目名	履修年次	単位	区分	備考	
成人看護学	成人看護学概論	2	1	講義	必修	
	成人慢性期看護方法論	2	2	講義	必修	
	成人急性期看護方法論	2	2	講義	必修	
	成人慢性期看護学演習	2	1	演習	必修	
	成人急性期看護学演習	3	1	演習	必修	
	老年看護学	老年看護学概論	2	1	講義	必修
		老年看護方法論	2	2	講義	必修
		老年看護学演習	3	1	演習	必修
	小児看護学	小児看護学概論	2	1	講義	必修
		小児看護方法論	2	2	講義	必修
小児看護学演習		3	1	演習	必修	
母性看護学	母性看護学概論	2	1	講義	必修	
	母性看護方法論	2	2	講義	必修	
	母性看護学演習	3	1	演習	必修	
精神看護学	精神看護学概論	2	1	講義	必修	
	精神看護方法論	2	2	講義	必修	
	精神看護学演習	3	1	演習	必修	
看護専門科目 看護の統合と実践	災害ケア論	1	1	講義	必修	
	医療安全論	2	1	講義	必修	
	緩和ケア論	2	1	講義	必修	
	国際看護学	3	1	講義	必修	
	看護研究入門	3	1	講義	必修	
	看護管理学	4	1	講義	必修	
	看護研究	4	1	演習	必修	
	基礎看護学実習	1	1	実習	必修	
	基礎看護過程実習	2	2	実習	必修	
	地域・在宅看護学実習	3~4	3	実習	必修	
臨地実習	成人看護学慢性期・回復期実習	3~4	3	実習	必修	
	成人看護学急性期実習	3~4	3	実習	必修	
	老年看護学実習	3~4	3	実習	必修	
	小児看護学実習	3~4	2	実習	必修	
	母性看護学実習	3~4	2	実習	必修	
	精神看護学実習	3~4	2	実習	必修	
	統合看護実習	4	2	実習	必修	
	医療情報論	3	1	講義	選択	
	災害医療論	3	1	講義	選択	
	家族ケア論	3	1	講義	選択	
発展科目	スキンケア論	3	1	講義	選択	
	看護教育論	4	1	講義	選択	
	メンタルヘルスケア論	4	1	講義	選択	
	看護政策論	4	1	講義	選択	
	地域包括ケア論	4	1	講義	選択	
	対象別健康支援論	3	1	講義	選択	
	公衆衛生看護管理論	3	1	講義	選択	
	公衆衛生看護方法論	3	1	演習	選択	
	学校・産業保健論	3	1	講義	選択	
	健康危機管理論	3	1	講義	選択	
公衆衛生看護学 関連科目群	地域アセスメント演習	4	1	演習	選択	
	地区・組織支援論	4	1	講義	選択	
	保健医療福祉行政論	4	1	講義	選択	
	公衆衛生看護学実習	4	3	実習	選択	
	日本国憲法	2	2	講義	選択	
	助産学概論	3	1	講義	選択	
	母子の心理・社会学	3	1	講義	選択	
	助産診断技術学(ローリスク)	3	1	講義	選択	
	助産診断技術学(ハイリスク)	3	1	講義	選択	
	助産診断技術学(新生児)	3	1	講義	選択	
助産学関連科目群	性と生殖の健康科学	3	1	講義	選択	
	母子の健康教育論	3	1	講義	選択	
	助産診断技術学(分娩期)	4	2	演習	選択	
	周産期医学	4	1	講義	選択	
	地域母子保健	4	1	講義	選択	
	助産管理学	4	1	講義	選択	
	地域母子保健実習	4	2	実習	選択	
	助産学実習	4	8	実習	選択	
	看護研究実践演習	4	1	演習	自由	
	地域医療課題解決演習	1~4	1	演習	自由	
自由科目	臨床微生物・感染症学	3・4	1	講義	自由	
	感染制御・感染看護演習	3・4	1	演習	自由	
	海外英語演習	1~4	2	演習	自由	

別表1 (第6条関係:看護学部)  
(2) 2022年度以降入学者用

科目区分	科目名	履修年次	単位	区分	備考
関連科目 I P E	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1	2	演習	必修
	チーム医療リテラシー	3	1	演習	必修
	4学部合同セミナー	4	1	演習	必修
教養教育科目群	医療における社会・行動科学	1	1	講義	必修
	基礎自然科学	1	1	講義	必修
	情報科学	1	2	講義	必修
	健康運動科学	1	2	講義	必修
	社会福祉	1	1	講義	必修
	心理学	1	1	講義	必修
	医療面接の基礎	1	1	講義	必修
	生命倫理学	1	1	講義	必修
	データサイエンス	1	1	講義	必修
	English Speaking & Listening	1	1	講義	必修
	English Reading & Writing	1	2	講義	必修
	医療英語	2	1	講義	必修
	ベーシック生物	1	1	講義	選択
	スタンダード生物	1	1	講義	選択
	アドバンスト生物	1	1	講義	選択
	自然・文化人類学	1	1	講義	選択
	ベーシック化学	1	1	講義	選択
	ベーシック物理	1	1	講義	選択
	解析学入門	1	1	講義	選択
	医療とスポーツ	1	1	講義	選択
	医療とコミュニケーション	1	1	講義	選択
	道徳のしくみ	1	1	講義	選択
	ベーシック数学	1	1	講義	選択
	アドバンスト化学	1	1	講義	選択
	文学の世界	1	1	講義	選択
	実践英語	1	1	講義	選択
	医療と福祉	1	1	講義	選択
	科学英語	1	1	講義	選択
	医療と物語	1	1	講義	選択
	人間関係論	1	1	講義	選択
	パーソナリティ心理学	1	1	講義	選択
	哲学の世界	1	1	講義	選択
	医療と法律	1	1	講義	選択
看護専門基礎科目	栄養学	1	1	講義	必修
	生化学	1	2	講義	必修
	感染免疫学	1	2	講義	必修
	基礎解剖学	1	2	講義	必修
	基礎生理学	1	2	講義	必修
	病理学概論	1	1	講義	必修
	薬理学	2	2	講義	必修
	臨床心理学	2	1	講義	必修
	疾病論Ⅰ(内科系総論)	2	2	講義	必修
	疾病論Ⅱ(外科系総論)	2	2	講義	必修
	疾病論Ⅲ(各論)	2	2	講義	必修
	疾病論Ⅳ(展開論)	2	2	講義	必修
	臨床病態生理学	3	1	講義	必修
	看護薬理学	4	1	講義	必修
	臨床推論	4	1	講義	必修
医学・医療論	1	1	講義	必修	
公衆衛生学・疫学	3	2	講義	必修	
保健統計学	3	2	講義	必修	
看護専門科目 地域・在宅看護学	看護学概論(全人的医療基礎講義含む)	1	2	講義	必修
	看護倫理学	3	1	講義	必修
	生活援助技術論Ⅰ(感応・環境・活動・食事の援助技術)	1	1	演習	必修
	生活援助技術論Ⅱ(清潔・排泄の援助技術)	1	1	演習	必修
	フィジカルアセスメント	1	1	演習	必修
	診療援助技術論	1	2	演習	必修
	看護過程論	1	1	講義	必修
	看護過程演習	2	2	演習	必修
	地域健康生活論	1	1	講義	必修
	地域・在宅看護学概論	2	2	講義	必修
地域・在宅看護学方法論	2	2	講義	必修	
地域・在宅看護学演習	3	1	演習	必修	

科目区分	科目名	履修年次	単位	区分	備考	
看護専門科目 看護の統合と実践	成人看護学概論	2	1	講義	必修	
	成人慢性期看護学方法論	2	2	講義	必修	
	成人急性期看護学方法論	2	2	講義	必修	
	成人慢性期看護学演習	2	1	演習	必修	
	成人急性期看護学演習	3	1	演習	必修	
	老年看護学概論	2	1	講義	必修	
	老年看護学方法論	2	2	講義	必修	
	老年看護学演習	3	1	演習	必修	
	小児看護学概論	2	1	講義	必修	
	小児看護学方法論	2	2	講義	必修	
	小児看護学演習	3	1	演習	必修	
	母性看護学概論	2	1	講義	必修	
	母性看護学方法論	2	2	講義	必修	
	母性看護学演習	3	1	演習	必修	
	精神看護学概論	2	1	講義	必修	
	精神看護学方法論	2	2	講義	必修	
	精神看護学演習	3	1	演習	必修	
	災害ケア論	1	1	講義	必修	
	医療安全論	2	1	講義	必修	
	緩和ケア論	2	1	講義	必修	
	国際看護学	3	1	講義	必修	
	看護研究入門	3	1	講義	必修	
	看護管理学	4	1	講義	必修	
	看護研究	4	1	演習	必修	
	臨床実習	基礎看護学実習	1	1	実習	必修
		基礎看護過程実習	2	2	実習	必修
		地域・在宅看護学実習	3~4	3	実習	必修
		成人看護学慢性期・回復期実習	3~4	3	実習	必修
		成人看護学急性期実習	3~4	3	実習	必修
		老年看護学実習	3~4	3	実習	必修
		小児看護学実習	3~4	2	実習	必修
		母性看護学実習	3~4	2	実習	必修
		精神看護学実習	3~4	2	実習	必修
統合看護実習		4	2	実習	必修	
発展科目	医療情報論	3	1	講義	選択	
	災害医療論	3	1	講義	選択	
	家族ケア論	3	1	講義	選択	
	スキンケア論	3	1	講義	選択	
	看護教育論	4	1	講義	選択	
	メンタルヘルスケア論	4	1	講義	選択	
	看護政策論	4	1	講義	選択	
	地域包括ケア論	4	1	講義	選択	
	対象別健康支援論	3	1	講義	選択	
	公衆衛生看護管理論	3	1	講義	選択	
公衆衛生看護学 関連科目群	公衆衛生看護学方法論	3	1	演習	選択	
	学校・産業保健論	3	1	講義	選択	
	健康危機管理論	3	1	講義	選択	
	地域アセスメント演習	4	1	演習	選択	
	地区・組織支援論	4	1	講義	選択	
	保健医療福祉行政論	4	1	講義	選択	
	公衆衛生看護学実習	4	3	実習	選択	
	日本国憲法	2	2	講義	選択	
	助産学関連科目群	助産学概論	3	1	講義	選択
		母子の心理・社会学	3	1	講義	選択
助産診断技術学(ローリスク)		3	1	講義	選択	
助産診断技術学(ハイリスク)		3	1	講義	選択	
助産診断技術学(新生児)		3	1	講義	選択	
性と生殖の健康科学		3	1	講義	選択	
母子の健康教育論		3	1	講義	選択	
助産診断技術学(分娩期)		4	2	演習	選択	
周産期医学		4	1	講義	選択	
地域母子保健		4	1	講義	選択	
自由科目	助産管理学	4	1	講義	選択	
	地域母子保健実習	4	2	実習	選択	
	助産学実習	4	8	実習	選択	
	看護研究実践演習	4	1	演習	自由	
	地域医療課題解決演習	1~4	1	演習	自由	
	臨床微生物・感染症学	3・4	1	講義	自由	
	感染制御・感染看護演習	3・4	1	演習	自由	
	海外英語演習	1~4	2	演習	自由	

別表1 (第6条関係:看護学部)  
(3) 2021年度以前入学者用

科目区分	科目名	履修年次	単位	区分	備考	
関連科目	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1	2	演習	必修	
	チーム医療リテラシー	3	1	演習	必修	
	4学部合同セミナー	4	1	演習	必修	
教養教育科目群	医療における社会・行動科学	1	1	講義	必修	
	基礎自然科学	1	1	講義	必修	
	情報科学	1	2	講義	必修	
	健康運動科学	1	2	講義	必修	
	社会福祉	1	1	講義	必修	
	心理学	1	1	講義	必修	
	医療面接の基礎	1	1	講義	必修	
	生命倫理学	1	1	講義	必修	
	English Speaking & Listening	1	1	講義	必修	
	English Reading & Writing	1	3	講義	必修	
	医療英語	2	1	講義	必修	
	ベーシック生物	1	1	講義	選択	
	スタンダード生物	1	1	講義	選択	
	アドバンスト生物	1	1	講義	選択	
	自然・文化人類学	1	1	講義	選択	
	ベーシック化学	1	1	講義	選択	
	ベーシック物理	1	1	講義	選択	
	解析学入門	1	1	講義	選択	
	医療とスポーツ	1	1	講義	選択	
	医療とコミュニケーション	1	1	講義	選択	
	道徳のしくみ	1	1	講義	選択	
	ベーシック数学	1	1	講義	選択	
	アドバンスト化学	1	1	講義	選択	
	文学の世界	1	1	講義	選択	
	実践英語	1	1	講義	選択	
	医療と福祉	1	1	講義	選択	
	科学英語	1	1	講義	選択	
	英語学	1	1	講義	選択	
	医療と物語	1	1	講義	選択	
	人間関係論	1	1	講義	選択	
	パーソナリティ心理学	1	1	講義	選択	
	哲学の世界	1	1	講義	選択	
	医療と法律	1	1	講義	選択	
	看護専門基礎科目	栄養学	1	1	講義	必修
		生化学	1	2	講義	必修
		感染免疫学	1	2	講義	必修
		基礎解剖学	1	2	講義	必修
		基礎生理学	1	2	講義	必修
		病理学概論	1	1	講義	必修
		薬理学	2	2	講義	必修
		臨床心理学	2	1	講義	必修
		疾病論Ⅰ	2	2	講義	必修
		疾病論Ⅱ	2	2	講義	必修
		疾病論Ⅲ	2	2	講義	必修
		疾病論Ⅳ	2	2	講義	必修
		医学・医療入門	1	1	講義	必修
		公衆衛生学・疫学	3	2	講義	必修
	保健統計学	3	2	講義	必修	
	看護専門科目	看護学概論	1	2	講義	必修
		看護倫理学	3	1	講義	必修
		基礎看護学Ⅰ	1	1	演習	必修
		基礎看護学Ⅱ	1	1	演習	必修
		基礎看護学Ⅲ	1	1	演習	必修
		基礎看護学Ⅳ	1	2	講義	必修
		基礎看護学Ⅴ	2	2	演習	必修
		成人看護学概論	2	1	講義	必修
		成人看護方法論Ⅰ	2	2	講義	必修
成人看護方法論Ⅱ		2	2	講義	必修	
成人看護学演習Ⅰ		2	1	演習	必修	
成人看護学演習Ⅱ		3	1	演習	必修	

科目区分	科目名	履修年次	単位	区分	備考
老年看護学	老年看護学概論	2	1	講義	必修
	老年看護方法論	2	2	講義	必修
	老年看護学演習	3	1	演習	必修
小児看護学	小児看護学概論	2	1	講義	必修
	小児看護方法論	2	2	講義	必修
	小児看護学演習	3	1	演習	必修
母性看護学	母性看護学概論	2	1	講義	必修
	母性看護方法論	2	2	講義	必修
	母性看護学演習	3	1	演習	必修
精神看護学	精神看護学概論	2	1	講義	必修
	精神看護方法論	2	2	講義	必修
	精神看護学演習	3	1	演習	必修
在宅・地域看護学	地域看護学Ⅰ	1	1	講義	必修
	地域看護学Ⅱ	3	2	講義	必修
	地域看護学方法論	3	1	講義	必修
	地域看護学展開論	3	1	講義	必修
	在宅看護学概論	2	1	講義	必修
	在宅看護方法論	2	2	講義	必修
	在宅看護学演習	3	1	演習	必修
	災害ケア論	1	1	講義	必修
	国際看護学	2	1	講義	必修
	看護研究入門	2	1	講義	必修
看護の統合と実践	医療安全論	2	1	講義	必修
	緩和ケア論	2	1	講義	必修
	看護政策論	4	1	講義	必修
	看護管理学	4	1	講義	必修
	看護研究	4	1	演習	必修
	基礎看護学実習Ⅰ	1	1	実習	必修
	基礎看護学実習Ⅱ	2	2	実習	必修
	成人看護学慢性期・回復期実習	3	3	実習	必修
	成人看護学急性期実習	3	3	実習	必修
	老年看護学実習	3~4	4	実習	必修
臨床実習	小児看護学実習	3~4	2	実習	必修
	母性看護学実習	3~4	2	実習	必修
	精神看護学実習	3~4	2	実習	必修
	在宅看護学実習	3~4	2	実習	必修
	統合看護実習	4	2	実習	必修
	医療情報論	3・4	1	講義	選択
	先端医療論	3・4	1	講義	選択
	災害医療論	3・4	1	講義	選択
	家族ケア論	4	1	講義	選択
	看護教育論	4	1	講義	選択
メンタルヘルスケア論	4	1	講義	選択	
公衆衛生看護学	保健医療福祉行政論	3	1	講義	選択
	公衆衛生看護方法論	3	1	演習	選択
	公衆衛生看護展開論	3	1	演習	選択
	公衆衛生看護管理論Ⅰ	4	1	演習	選択
	公衆衛生看護管理論Ⅱ	4	1	講義	選択
	公衆衛生看護学実習	4	3	実習	選択
	日本国憲法	2	2	講義	選択
助産看護学	助産学概論	3	1	講義	選択
	助産診断技術学Ⅰ	3	1	講義	選択
	助産診断技術学Ⅱ	3	1	講義	選択
	助産診断技術学Ⅲ	3	1	講義	選択
	助産診断技術学Ⅳ	4	2	演習	選択
	助産診断技術学Ⅴ	4	1	講義	選択
	地域母子保健	4	1	講義	選択
	助産管理学	4	1	講義	選択
	助産学実習Ⅰ	4	2	実習	選択
	助産学実習Ⅱ	4	8	実習	選択
自由科目	看護研究実践演習	4	1	演習	自由
	地域医療課題解決演習	1~4	1	演習	自由
	臨床微生物・感染症学	3・4	1	講義	自由
	感染制御・感染看護演習	3・4	1	演習	自由

別表 2 (第30条関係)

1. 入学検定料、入学金、授業料、その他学費は、次のとおりとする。(転部入学含む)

		医学部	歯学部	薬学部	看護学部
入学検定料		60,000 円	40,000 円	35,000 円	30,000 円
入学金		2,000,000 円	600,000 円	350,000 円	250,000 円
授業料 (年額)		2,500,000 円	2,500,000 円	1,300,000 円	1,000,000 円
実験実習費	初年度 (年額)	500,000 円	—	125,000 円	150,000 円
	第2学年以降 (年額)	500,000 円	—	195,000 円	150,000 円
施設整備費 (年額)		1,000,000 円	1,000,000 円	400,000 円	250,000 円
教育充実費	入学時	3,000,000 円	2,000,000 円	—	—
	第2学年以降 (年額)	1,000,000 円	800,000 円	—	—

※教育充実費のうち、平成 21 年度医学部在学中の学生の第 2 学年からの年額は 800,000 円とする。

※看護学部の保健師養成科目履修者については、別途実習費等として 150,000 円を加える。

※看護学部の助産師養成科目履修者については、別途実習費等として 200,000 円を加える。

2. 再入学に係る入学検定料、入学金、授業料、その他学費は、次のとおりとする。

		医学部	歯学部	薬学部	看護学部
入学検定料		60,000 円	40,000 円	35,000 円	30,000 円
入学金		500,000 円	300,000 円	175,000 円	125,000 円
授業料 (年額)		2,500,000 円	2,500,000 円	1,300,000 円	1,000,000 円
実験実習費	第 1 学年 (年額)	500,000 円	—	125,000 円	150,000 円
	第 2 学年以降 (年額)	500,000 円	—	195,000 円	150,000 円
施設整備費 (年額)		1,000,000 円	1,000,000 円	400,000 円	250,000 円
教育充実費	第 1 学年 (年額)	—	—	—	—
	第 2 学年以降 (年額)	1,000,000 円	800,000 円	—	—

3. 転入学(歯学部に限る。)に係る入学検定料、入学金、授業料、その他学費は、前項と同額とする。

4. 編入学に係る入学検定料、入学金、授業料、その他の学費は、次のとおりとする。

		医学部	歯学部	看護学部
入学検定料		60,000 円	40,000 円	30,000 円
入学金		2,000,000 円	600,000 円	250,000 円
授業料 (年額)		2,500,000 円	2,500,000 円	1,000,000 円
実験実習費 (年額)		500,000 円	—	150,000 円
施設整備費 (年額)		1,500,000 円	1,000,000 円	250,000 円
教育充実費	編入学時	3,000,000 円	800,000 円	—
	次年度以降 (年額)	1,000,000 円	800,000 円	—

※看護学部の保健師養成科目履修者については、別途実習費等として 150,000 円を加える。

※看護学部の助産師養成科目履修者については、別途実習費等として 200,000 円を加える。

5. 留年した者についての授業料、その他学費は、次のとおりとする。

(1) 第1学年において留年した者

留年年度における第1学年の授業料、実験実習費及び施設整備費とする。

(2) 第2学年以降において留年した者

留年年度における留年学年の授業料、実験実習費、施設整備費及び教育充実費とする。  
ただし、最終学年で留年した者で、前期末に卒業する者については、授業料、実験実習費、施設整備費及び教育充実費のいずれも半額とする。

備考 第1項から第5項における入学検定料、入学金、授業料、その他学費については、次年度以降変更することがある。

## 岩手医科大学学則変更事項

### 1. 学則変更の事由について

令和6年度を期限とする35名の入学定員数について、令和7年度までの期限を付した再度の入学定員増を行い、令和7年度に再度の定員増を行わなかった場合の95名から令和7年度に再度の定員増を行った場合の入学定員130名に変更する。

これに併せて、令和12年度の再度の定員増を行った場合の収容定員数についても、令和7年度までの期限を付した臨時の入学定員増を踏まえ、再度の定員増を行わなかった場合の570名から再度の定員増を行った場合の605名に変更する。

### 2. 変更点

- 1) 医学部医学科の入学定員数を、95名から130名に変更
- 2) 医学部医学科の収容定員数を、570名から605名に変更

### 3. 学則変更の時期について

令和7年4月1日

## 学則変更（案）様式

学則（新）	学則（旧）																																																						
<p>第1条～第35条 [略]</p> <p>第36条 各学部の学生定員は次のとおりとする。            医学部医学科 入学定員 95名                              収容定員 570名</p> <p style="text-align: center;">[略]</p> <p>第37条～第47条 [略]</p> <p style="text-align: center;">附 則 [略]</p> <p style="text-align: center;">附 則</p> <p>1 この学則は、令和6年4月1日から施行する。（令和5年10月26日一部改正）</p> <p>2 第36条の規定にかかわらず、令和6年度から令和12年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 15%;"></td><td style="width: 20%;">令和6年度</td><td style="width: 20%;">令和7年度</td></tr> <tr><td>入学定員</td><td style="text-align: center;">130人</td><td style="text-align: center;">95人</td></tr> <tr><td>収容定員</td><td style="text-align: center;">769人</td><td style="text-align: center;">737人</td></tr> </table> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 15%;"></td><td style="width: 20%;">令和8年度</td><td style="width: 20%;">令和9年度</td></tr> <tr><td>入学定員</td><td style="text-align: center;">95人</td><td style="text-align: center;">95人</td></tr> <tr><td>収容定員</td><td style="text-align: center;">702人</td><td style="text-align: center;">671人</td></tr> </table> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 15%;"></td><td style="width: 20%;">令和10年度</td><td style="width: 20%;">令和11年度</td></tr> <tr><td>入学定員</td><td style="text-align: center;">95人</td><td style="text-align: center;">95人</td></tr> <tr><td>収容定員</td><td style="text-align: center;">640人</td><td style="text-align: center;">605人</td></tr> </table>		令和6年度	令和7年度	入学定員	130人	95人	収容定員	769人	737人		令和8年度	令和9年度	入学定員	95人	95人	収容定員	702人	671人		令和10年度	令和11年度	入学定員	95人	95人	収容定員	640人	605人	<p>第1条～第35条 [略]</p> <p>第36条 各学部の学生定員は次のとおりとする。            医学部医学科 入学定員 95名                              収容定員 570名</p> <p style="text-align: center;">[略]</p> <p>第37条～第47条 [略]</p> <p style="text-align: center;">附 則 [略]</p> <p style="text-align: center;">附 則</p> <p>1 この学則は、令和6年4月1日から施行する。（令和5年10月26日一部改正）</p> <p>2 第36条の規定にかかわらず、令和6年度から令和12年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 15%;"></td><td style="width: 20%;">令和6年度</td><td style="width: 20%;">令和7年度</td></tr> <tr><td>入学定員</td><td style="text-align: center;">130人</td><td style="text-align: center;">95人</td></tr> <tr><td>収容定員</td><td style="text-align: center;">769人</td><td style="text-align: center;">737人</td></tr> </table> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 15%;"></td><td style="width: 20%;">令和8年度</td><td style="width: 20%;">令和9年度</td></tr> <tr><td>入学定員</td><td style="text-align: center;">95人</td><td style="text-align: center;">95人</td></tr> <tr><td>収容定員</td><td style="text-align: center;">702人</td><td style="text-align: center;">671人</td></tr> </table> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 15%;"></td><td style="width: 20%;">令和10年度</td><td style="width: 20%;">令和11年度</td></tr> <tr><td>入学定員</td><td style="text-align: center;">95人</td><td style="text-align: center;">95人</td></tr> <tr><td>収容定員</td><td style="text-align: center;">640人</td><td style="text-align: center;">605人</td></tr> </table>		令和6年度	令和7年度	入学定員	130人	95人	収容定員	769人	737人		令和8年度	令和9年度	入学定員	95人	95人	収容定員	702人	671人		令和10年度	令和11年度	入学定員	95人	95人	収容定員	640人	605人
	令和6年度	令和7年度																																																					
入学定員	130人	95人																																																					
収容定員	769人	737人																																																					
	令和8年度	令和9年度																																																					
入学定員	95人	95人																																																					
収容定員	702人	671人																																																					
	令和10年度	令和11年度																																																					
入学定員	95人	95人																																																					
収容定員	640人	605人																																																					
	令和6年度	令和7年度																																																					
入学定員	130人	95人																																																					
収容定員	769人	737人																																																					
	令和8年度	令和9年度																																																					
入学定員	95人	95人																																																					
収容定員	702人	671人																																																					
	令和10年度	令和11年度																																																					
入学定員	95人	95人																																																					
収容定員	640人	605人																																																					

	令和12年度
入学定員	95人
収容定員	570人

	令和12年度
入学定員	95人
収容定員	570人

附 則

- 1 この学則は、令和7年4月1日から施行する。
- 2 第36条の規定にかかわらず、令和7年度から令和13年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

(新規)

	令和7年度	令和8年度
入学定員	130名	95名
収容定員	772名	737名

	令和9年度	令和10年度
入学定員	95名	95名
収容定員	706名	675名

	令和11年度	令和12年度
入学定員	95名	95名
収容定員	640名	605名

	令和13年度
入学定員	95名
収容定員	570名

## 学則の変更の趣旨等を記載した書類

### ア. 学則変更（収容定員変更）の内容

岩手医科大学医学部医学科の平成 20 年度以降の入学定員については、平成 20 年度に「新医師確保総合対策」（10 名）、平成 21 年度に「緊急医師確保対策」（5 名）に基づき、平成 29 年度までの期限を付した 15 名の臨時定員増を実施した。更に、平成 22 年度に「経済財政改革の基本方針 2009」（15 名、うち 5 名は歯学部定員削減枠）、平成 25 年度に「地域の医師確保等の観点からの平成 25 年度医学部入学定員の増加について」（5 名、うち 2 名は歯学部定員削減枠）に基づき、平成 31 年度までの期限を付した 20 名の臨時定員増を実施した。平成 29 年度を期限とする 15 名の入学定員数について、平成 31 年度までの期限を付した再度の入学定員増を行った。現在は、平成 31 年度を期限とする臨時定員 35 名を令和 5 年度まで延長した。

加えて、平成 21 年度に「経済財政改革の基本方針 2008」に基づき 15 名の恒久定員増を実施し、95 名とした。

令和 6 年度を期限とする 35 名の入学定員数について、令和 7 年度までの期限を付した再度の入学定員増を行い、入学定員を 130 名に変更する。

これに併せて、令和 12 年度の再度の定員増を行った場合の収容定員数についても、令和 7 年度までの期限を付した臨時の入学定員増を踏まえ、再度の定員増を行わなかった場合の 570 名から再度の定員増を行った場合の 605 名に変更する。

### イ. 学則変更（収容定員変更）の必要性

本学は、創設者三田俊次郎が岩手県における医療の貧困を憂い、多くの良医を育成し地域住民に医療の恵みを与え、人々の命を救うため設立されたものであるが、本設立から 125 年以上を経た今日に至っても、岩手県の医師不足は未だに解消されていない。

本県の医療施設に勤務している医師の数は、人口 10 万人あたり 223.0 人であり、都道府県別順位が 42 位と全国水準の 269.2 名を大きく下回る。（令和 2 年厚生労働省医師・歯科医師・薬剤師調査）

現在、岩手県においては、地域医療に従事する医師不足が慢性化、深刻化しており、特に県北、沿岸地区では医療は危機的な状況にある。

本学は東北唯一の私立医科大学として、地域医療に貢献する医師の養成に努めてきたが、前述のような厳しい医師不足の状況と医師確保に係る地域の切実な要望を受け、平成 18 年 8 月に発出された「新医師確保総合対策」に基づき、平成 20 年度から医学部入学定員 10 名の暫定定員増（入学定員

90名)が認可され、その後、平成19年8月の「緊急医師確保対策」に基づく5名暫定定員増(入学定員95名)、平成20年8月「経済財政改革の基本方針2008(骨太の方針)」の「地域や診療科の医師確保の観点からの医師養成の推進について(通知)」に基づき15名の定員増(入学定員110名)、平成21年7月「地域の医師確保等の観点からの医学部入学定員の増加について」に基づき15名の定員増(入学定員125名)、平成24年10月「地域の医師確保等の観点からの平成25年度医学部入学定員の増加について」に基づき5名の定員増(入学定員123名、編入学定員7名)、平成29年度を期限とした定員15名を「地域の医師確保等の観点からの平成30年度医学部入学定員の増加について」に基づき15名の定員増(入学定員123名、編入学定員7名)、さらに、平成31年度を期限とした定員については、令和4年8月10日「地域の医師確保等の観点からの令和5年度医学部入学定員の増加について(通知)」に基づき、35名の定員増を行ってきたところである。また、平成23年3月に発生した「東日本大震災津波」は岩手県にも甚大な被害をもたらし、特に沿岸部の県立病院や診療所は壊滅的な損害を受けた。本学は発災後直ちに岩手県と連携し、被災地への医療支援の拠点となり、様々な救命活動や医療支援を行ってきたが、震災後10年以上が経過した現在でも沿岸部の医療機能は完全に回復していない状況である。今般、令和6年8月7日「地域の医師確保等の観点からの令和7年度医学部入学定員の増加について(通知)」に基づき、東日本大震災津波で罹災し、医療機関だけでなく医療従事者への深刻な影響を受けた岩手県の医師不足を解消し、被災地の医療機能復活のため、学是でもある地域医療への貢献を果たすべく、医学部学生の入学定員増に係る学則変更の認可を願い出るものである。

#### ウ. 学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容

学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程、教育方法及び履修指導方法、教員組織、施設・設備の変更は行わない。しかしながら、これまで構築した教育プログラムに加え、以下のとおりさらなる充実化を図っている。

##### (ア) 教育課程

本学のカリキュラムは、建学の精神である「医療人たる前に、誠の人間たれ」を基に、地域医療や患者本位の全人的医療を実現できる医師の養成プログラムを重視し、以下のとおり実施している他、さらなる充実化を図るためカリキュラムを改編してきた。

##### ①看護・介護体験実習 第1学年

本学附属病院他1病院と県内22カ所の介護施設において、それぞれ4日間にわたりスタッフの一員として直接患者様に接する中で、地域コミュニティに根ざした医療を担うプロフェッショナルを目指し、コミュニケーション

ョン能力やチーム医療の重要性を学ぶ。

②地域保健介護福祉見学研修 第1学年

県内全域の医療施設や行政機関を訪問し、見学・取材を通して「地域医療が抱えている問題と行政機関の対応」や「医師不足の現状と対策」等を総合的に学習する。見学に先立ち、地域医療の現場にいる県立病院長による「地域医療の実態」に関する講義を受け、見学研修の成果の向上を図っている。見学研修後は、班ごとに研修成果の発表を行っているが、年々調査・取材内容が精緻かつ高度になっており、教員が感銘を受ける場面も多い。

③地域医療体験実習 第1学年

学生を2～5名のグループに分け、過疎地、被災地を含めた県内外の39医療機関で2日間の研修を行う。地域の医療機関で働く医師の活動を自ら体験することを通して医師の果たすべき役割を習得する。

④地域医療研修 第3学年

学生を1～5名のグループに分け、県内外の37医療機関で5日間の研修を行う。1学年で体験した地域医療の実態体験をさらに発展させ、実際の医療現場にも立ち会い、地域の患者様とのコミュニケーションを図る。

⑤地域医療臨床実習 第5学年

県内外の医療機関において、3年次に学んだ地域医療を担当する医師の役割とその重要性を再確認し見識を深めるとともに、実際に4週間と長期間において各医療圏の地域医療の診療に参加することで、専門に分化した医療のみにとらわれない総合性を重視したプライマリーケアの重要性を認識する。

⑥医療プロフェッショナルリズム教育 第4学年

医師免許取得後に医療人として進むキャリアは、臨床各科の専門医に加え、基礎医学者、社会医学者、行政職など多岐にわたることから多彩なキャリア形成の道・学位とは・専門医とは・研究・留学、また家庭と仕事の両立に関する具体的事例を基に学ぶ。

(イ) 教育方法及び履修指導方法

本学では、時代の要請に応える医学教育を行い、地域医療への関心を高める教育方法として、第1、3、6学年で医・歯・薬・看護学部合同の多職種連携教育を実施している。これは、多職種が連携し、医療の質を向上させることを学び合う機会とし、チーム医療の意義を早期に習得することを目的としており、地域・へき地医療を担う医師を目指す者にとって重要なカリキュラムとして位置づけている。また、地方自治体との連携により、職種間の協働作業を通じて地域医療が抱える問題の解決を行っている。

①多職種連携のためのアカデミックリテラシー 第1学年

他学部混合グループに分け、医療分野に関するテーマを基にワークショップ

プを実施し、専門職に求められる能力の養成および様々な医療専門職の役割や責任について理解を深める。

②チーム医療リテラシー 第3学年

他学部混合グループに分け、緩和ケア等の患者の健康段階によるサポート体制についてワークショップを実施し、チーム医療に必要なコミュニケーションのあり方や方法を理解する。

③4学部合同セミナー 第6学年

他学部混合グループに分け、課題となる症例を提示し、PBL形式により診断、病態生理および治療方針についてそれぞれの職種の立場からの意見交換を行い、患者への治療方針を共同でまとめる。このことにより、自職種役割の再認識と多職種尊重の姿勢を身に付け、チーム医療に必要なコミュニケーション能力を確立する。学生のアンケート結果は、学修効果が非常に高い結果となり、今後も継続していく予定である。

④地域医療課題解決演習 全学年

本学が拠点とする岩手県矢巾町と連携し、矢巾地区の地域医療課題について学生のみならず地域との協同作業により、当該医療課題に対する解決策や政策面での提案を行うほか、医療人である自らの役目を自覚し、チームでの協働に必要な協調性を身に付ける。

(ウ) 教員組織

本学医学部の教員数は、大学設置基準に定める基準を十分に満たしているが、今後も教員のさらなる充足に向け努力する。

カリキュラムに組み込まれている地域医療実習・研修では、地域医療の現場で活躍する経験豊富な医師を臨床教授・臨床准教授・臨床講師として委嘱し、より実践的な教育を行っている。

(エ) 施設・設備

本学では、これまでの医学部定員増にも十分に対応できる講義室・実習室等の充実した教育環境とバリアフリーに配慮したキャンパス施設が整備されている。2019年までは矢巾キャンパスでは医学部1～4学年までが、5～6学年が附属病院のある内丸キャンパスにおいて修学していたが、矢巾キャンパスに隣接する敷地に附属病院が移転したことにより、すべての教員が学生教育に注視できる環境が整った。この新病院は、現在の学生定員数にも十分に対応可能であり、敷地内には新たに講義室を2室、グループ学習が可能な部屋を54室設置し、うち25室は医局と隣接したレイアウトとなっており、学生の教育環境を十分に整備できた。さらに同敷地内にはドクターヘリポートを設置しており、岩手県内のみならず北東北の救急医療の現場を体験可能とするなど、臨床実習・高次臨床実習の充実化を図り、地域医療の医師養成をさらに促進する。

令和7年度  
医学部入学定員増員計画

6 岩医大医第 22 号  
令和 6 年 8 月 23 日

文部科学省高等教育局長 殿

岩手医科大学  
理事長 祖父江 憲治

「地域の医師確保等の観点からの令和7年度医学部入学定員の増加について（令和6年8月7日文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

<連絡先>

責任者連絡先	職名・氏名	総括課長 水戸 信博
	TEL	019-651-5111 内線5007
	FAX	019-698-1826
	E-mail	ikyomu@j.iwate-med.ac.jp

大学名	国公立
岩手医科大学	私立

1. 現在（令和6年度）の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
130			769

↑  
(収容定員計算用)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	計
(ア) 入学定員	123	126	126	126	130	130	761
(イ) 2年次編入学定員							0
(ウ) 3年次編入学定員	4	4	0				8
計	127	130	126	126	130	130	769

2. 本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和7年度の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
95			570

↑  
(収容定員計算用)

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
(ア) 入学定員	95	95	95	95	95	95	570
(イ) 2年次編入学定員							0
(ウ) 3年次編入学定員							0
計	95	95	95	95	95	95	570
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

3. 令和7年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
130			605

↑  
(収容定員計算用)

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
(ア) 入学定員	130	95	95	95	95	95	605
(イ) 2年次編入学定員							0
(ウ) 3年次編入学定員							0
計	130	95	95	95	95	95	605
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

増員希望人数	35
↑ (内訳)	
(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増（地域枠）	35
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増（研究医枠）	0
計	35

## 1. 地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数

### (1) 対象都道府県名及び増員希望人数

	都道府県名	増員希望人数
大学が所在する都道府県	岩手県	35
大学所在地以外の都道府県		
計		35

※「大学所在地以外の都道府県」が5都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

### (2) 修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	R5地域枠定員 (※1)	R5貸与者数 (※2)	R6地域枠定員 (※1)	R6貸与者数 (※2)	R5とR6の貸与 者数のうち多い 方の数
岩手県	35	35	35	35	35
秋田県	0	2	0	1	2
					0
					0
					0
					0
計	35	37	35	36	37

(※1) 臨時定員分のみご記入ください。

(※2) 恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(3) 令和7年度地域の医師確保のための入学定員増について

1. 大学が講ずる措置

1-1. 地域枠学生の選抜

①令和5年度に実施した地域枠学生(令和6年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法(※1)	出願要件(※1)	診療科の選定の有無	(診療科の選定(推奨)がある場合)その診療科名	開始年度	備考
				うち臨時定員分						
学校推薦型選抜地域枠A【岩手県出身者枠】	(i) 学校推薦型選抜	別枠(先行型)	15	15	試験科目合計(450点満点)の成績上位順に合格者を選抜する。但し、面接において大学および岩手県が設定する基準に満たない場合は、成績順によらず不合格と判定する。調査書は面接時に評価する。出願書類は出願資格の確認と面接時の参考とする。	岩手県から「岩手県医師修学資金」の貸与候補生の決定を受けている者で、次の1または2に該当し、3以下の要件をすべて満たしている者 1 岩手県内の高等学校、中等教育学校を令和5年3月に卒業した者、または令和6年3月卒業見込みの者 2 岩手県外の高等学校、中等教育学校(文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む)を令和5年3月に卒業した者、または令和6年3月卒	無		H21以前	
学校推薦型選抜地域枠B【東北出身者枠】	(i) 学校推薦型選抜	別枠(先行型)	8	8	試験科目合計(450点満点)の成績上位順に合格者を選抜する。但し、面接において大学および岩手県が設定する基準に満たない場合は、成績順によらず不合格と判定する。調査書は面接時に評価する。出願書類は出願資格の確認と面接時の参考とする。	岩手県医療局から「医療局医師奨学資金」の貸与候補生の決定を受けている者で、次の1から3のいずれかに該当し、4以下の要件をすべて満たしている者 1 岩手県内の高等学校、中等教育学校を令和5年3月に卒業した者、または令和6年3月卒業見込みの者 2 岩手県外の高等学校、中等教育学校(文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む)を令和5年3月に卒業した者、または令和6年3月卒	無		R1	
一般選抜地域枠C【全国枠】	(iii) 一般選抜地域枠(前期・後期)	別枠(区別型)	5	5	一次試験では、試験科目合計(350点満点)の成績上位順に一次試験通過者を選抜する。二次試験では、一次試験成績に面接(50点満点)を加えた成績上位順に合格者を選抜する。但し、面接において大学および岩手県が設定する基準に満たない場合は、成績順によらず不合格と判定する。調査書は面接時に評価する。出願書類は出願資格の確認と面接	岩手県医療局から「医療局医師奨学資金」の貸与候補生の決定を受けている者で、次の1から7のいずれかに該当し、8および9の要件を満たしている者 1 高等学校または中等教育学校を卒業した者、および令和6年3月卒業見込みの者 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、および令和6年3月修了見込みの者 3 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、および令和6年3	無		R1	

一般選抜地域 枠D【全国枠・ 診療科指定 枠】	(iii) 一般選抜 地域枠（前期・ 後期）	別枠（区別 型）	7	7	一次試験では、試験科目合計 （350点満点）の成績上位順 に一次試験通過者を選抜する。 二次試験では、一次試験成績に 面接（50点満点）を加えた成 績上位順に合格者を選抜する。 但し、面接において大学および岩 手県が設定する基準に満たない 場合は、成績順によらず不合格と 判定する。 調査書は面接時に評価する。出 願書類は出願資格の確認と面接	岩手県国民健康保険団体連合会から 「岩手県市町村医師養成修学資金」の 貸与候補生の決定を受けている者で、次 の1から7のいずれかに該当し、8および9 の要件を満たしている者 1 高等学校または中等教育学校を卒業 した者、および令和6年3月卒業見込み の者 2 通常の課程による12年の学校教育を 修了した者、および令和6年3月修了見 込みの者 3 外国において学校教育における12年	有	産婦人科・小児 科・総合診療科	R4	
学校推薦型選 抜秋田県地域 枠【秋田県出 身者枠】	(i) 学校推薦 型選抜	別枠（先行 型）	2	0	試験科目合計（450点満点） の成績上位順に合格者を選抜す る。但し、面接において大学および 秋田県が設定する基準に満たな い場合は、成績順によらず不合格 と判定する。 調査書は面接時に評価する。出 願書類は出願資格の確認と面接 時の参考とする。	次の要件をすべて満たしている者 1 秋田県内の高等学校を令和5年3月 に卒業した者、または令和6年3月卒業 見込みの者 2 調査書の全体の学習成績の状況が 4.0以上の学力を有し、学業および生活 態度が優秀であり、かつ医師となる適性と 明確な目的意識を持った生徒で、校長 が推薦する者 3 合格した場合は必ず入学し、医師免 許取得後は、秋田県の地域医療のため に、9年間（臨床研修期間2年含む）	無		R2	
合計			37	35						

(※1) 貴大学において作成した学生募集要項に記載の内容をご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②令和6年度に実施する地域枠学生(令和7年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行っている場合には、それぞれご記入ください。  
また、参考としてPRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法(※1)	出願要件(※1)	診療科の選定の有無	(診療科の選定(推奨)がある場合)その診療科名	開始年度	備考
				うち臨時定員分						
学校推薦型選抜地域枠A【岩手県出身者枠】	(i) 学校推薦型選抜	別枠(先行型)	15	15	試験科目合計(450点満点)の成績上位順に合格者を選抜する。但し、面接において大学および岩手県が設定する基準に満たない場合は、成績順によらず不合格と判定する。調査書は面接時に評価する。出願書類は出願資格の確認と面接時の参考とする。	岩手県から「岩手県医師修学資金」の貸与候補生の決定を受けている者で、次の1または2に該当し、3以下の要件をすべて満たしている者 1 岩手県内の高等学校、中等教育学校を令和6年3月に卒業した者、または令和7年3月卒業見込みの者 2 岩手県外の高等学校、中等教育学校(文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む)を令和6年3月に卒業した者、または令和7年3月卒	無		H21以前	
学校推薦型選抜地域枠B【東北出身者枠】	(i) 学校推薦型選抜	別枠(先行型)	8	8	試験科目合計(450点満点)の成績上位順に合格者を選抜する。但し、面接において大学および岩手県が設定する基準に満たない場合は、成績順によらず不合格と判定する。調査書は面接時に評価する。出願書類は出願資格の確認と面接時の参考とする。	岩手県医療局から「医療局医師奨学資金」の貸与候補生の決定を受けている者で、次の1から3のいずれかに該当し、4以下の要件をすべて満たしている者 1 岩手県内の高等学校、中等教育学校を令和6年3月に卒業した者、または令和7年3月卒業見込みの者 2 岩手県外の高等学校、中等教育学校(文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む)を令和6年3月に卒業した者、または令和7年3月卒	無		R1	
一般選抜地域枠C【全国枠】	(iii) 一般選抜地域枠(前期・後期)	別枠(区別型)	5	5	一次試験では、試験科目合計(350点満点)の成績上位順に一次試験通過者を選抜する。二次試験では、一次試験成績に面接(50点満点)を加えた成績上位順に合格者を選抜する。但し、面接において大学および岩手県が設定する基準に満たない場合は、成績順によらず不合格と判定する。調査書は面接時に評価する。出願書類は出願資格の確認と面接	岩手県医療局から「医療局医師奨学資金」の貸与候補生の決定を受けている者で、次の1から7のいずれかに該当し、8および9の要件を満たしている者 1 高等学校または中等教育学校を卒業した者、および令和7年3月卒業見込みの者 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、および令和7年3月修了見込みの者 3 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、および令和7年3	無		R1	

一般選抜地域 枠D【全国枠・ 診療科指定 枠】	(iii) 一般選抜 地域枠（前期・ 後期）	別枠（区別 型）	7	7	一次試験では、試験科目合計 （350点満点）の成績上位順 に一次試験通過者を選抜する。 二次試験では、一次試験成績に 面接（50点満点）を加えた成 績上位順に合格者を選抜する。 但し、面接において大学および岩 手県が設定する基準に満たない 場合は、成績順によらず不合格と 判定する。 調査書は面接時に評価する。出 願書類は出願資格の確認と面接	岩手県国民健康保険団体連合会から 「岩手県市町村医師養成修学資金」の 貸与候補生の決定を受けている者で、次 の1から7のいずれかに該当し、8および9 の要件を満たしている者 1 高等学校または中等教育学校を卒業 した者、および令和7年3月卒業見込み の者 2 通常の課程による12年の学校教育を 修了した者、および令和7年3月修了見 込みの者 3 外国において学校教育における12年	有	産婦人科・小児 科・総合診療科	R4	
学校推薦型選 抜秋田県地域 枠【秋田県出 身者枠】	(i) 学校推薦 型選抜	別枠（先行 型）	2	0	試験科目合計（450点満点） の成績上位順に合格者を選抜す る。但し、面接において大学および 秋田県が設定する基準に満たな い場合は、成績順によらず不合格 と判定する。 調査書は面接時に評価する。出 願書類は出願資格の確認と面接 時の参考とする。	次の要件をすべて満たしている者 1 秋田県内の高等学校を令和6年3月 に卒業した者、または令和7年3月卒業 見込みの者 2 調査書の全体の学習成績の状況が 4.0以上の学力を有し、学業および生活 態度が優秀であり、かつ医師となる適性と 明確な目的意識を持った生徒で、校長 が推薦する者 3 合格した場合は必ず入学し、医師免 許取得後は、秋田県の地域医療のため に、9年間（臨床研修期間2年含む）	無		R2	
合計			37	35						

(※1) 貴大学において、PRのために作成した文書（リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等）に記載の内容（貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容）をご記入ください。  
※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

## 1-2. 教育内容

①地域枠学生が卒後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要（令和7年度）について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

1年次には、「地域医療体験学習」および「地域保健介護福祉見学研修」の実習を必修化し、早期から地域医療の現場を体験し理解を深めている。3年次には「地域医療学Ⅱ」を必修化し、地域内で医師が果たすべく役割を学んでいる。5年次には、「医学部地域医療臨床実習」を必修化し、各医療圏において多職種連携医療チームの一員として、地域包括ケアを経験している。

（参考：記入例）

1～2年次には、「○○」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～～を学んでいる。またキャリア支援として□□を実施している。令和7年度からは、■を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

②（過去に地域枠を設定したことがある場合）これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

平成20年度から地域枠による増員を開始し、早期からの病院実習の導入や、長期間の地域医療臨床実習などの取組を行ってきた。令和5年度までに297名の地域枠学生を確保し、そのうち139名が、県内の公的病院や大学病院等で地域医療に貢献している。

（参考：記入例）

平成○年度から地域枠による増員を開始し、□□、■などの取組を行ってきた。令和6年度までに△名の地域枠学生を確保し、そのうち▲名が現在～～として地域医療に貢献している。

③上記①の教育内容（正規科目）について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者 (※1)	必修／選択の別		講義／実習の 別	単位数	開始年度
			地域枠学生	その他の学生			
1学年	地域医療体験実	全員	必修	必修	実習	0.5	H24
1学年	地域保健介護福祉見学研修	全員	必修	必修	実習	0.5	H21以前
3学年	地域医療学Ⅱ	全員	必修	必修	実習	1	H21以前
5学年	医学部地域医療臨床実習	全員	必修	必修	実習	4	H30
1～6学年	地域医療課題解決演習	全員	選択	選択	実習	1	H30

（※1）対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。（地域枠学生の希望者のみの場合は、対象者を「地域枠学生」、必修／選択の別を「選択」とご記載ください。）

※空欄がある場合は、何も記入せずそのままにご提出ください。

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者 (※1)	都道府県との連携	期間 (例：○週間)	プログラムの概要（1～2行程度）	開始年度

(※1) 対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。(令和5年度以前から継続する取組を含む) (1～2行程度)

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度

※空欄がある場合は、何も記入せずそのままご提出ください。

## 2. 都道府県等との連携

①都道府県が設定する奨学金について、以下をご記入ください。併せて、都道府県が厚生労働省に提出する予定の地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」（平成元年法律第64号）第4条に規定する都道府県計画等に位置づけることを約束する文書を添付して下さい。

なお、複数の奨学金を設定している場合は、それぞれ記入ください。

奨学金の設定主体	貸与人数	貸与対象	貸与額（例：200,000）		返還免除要件	選抜方法		診療科の選定の有無	〔診療科の選定（推奨）がある場合〕 その診療科名	備考
			月額	総貸与額		選抜時期	大学の関与の有無（※1）			
岩手県	15	新入生		30,500,000	キャリア形成プログラムに従って、17年以内に県内研修病院での臨床研修（2年間）を含む11年間、県内の公的病院等に勤務した場合	④その他（備考欄に記入）	○	×		県による貸与候補生の選考・決定の後、大学と県による合同面接を実施【推薦入試】
岩手県	8	新入生	300,000	21,600,000	キャリア形成プログラムに従って、原則、15年以内に県内研修病院での臨床研修（2年間）を含む9年間岩手県立病院等に勤務した場合	④その他（備考欄に記入）	○	×		県による貸与候補生の選考・決定の後、大学と県による合同面接を実施【推薦入試】
岩手県	5	新入生	300,000	21,600,000	キャリア形成プログラムに従って、原則、15年以内に県内研修病院での臨床研修（2年間）を含む9年間岩手県立病院等に勤務した場合	④その他（備考欄に記入）	○	×		県による貸与候補生の選考・決定の後、大学と県による合同面接を実施【一般入試】
岩手県	7	新入生	200,000	22,000,000	キャリア形成プログラムに従って、原則、15年以内に県内研修病院での臨床研修（2年間）を含む9年間岩手県立病院等に勤務した場合	④その他（備考欄に記入）	○	○	総合診療科・産婦人科・小児科	県による貸与候補生の選考・決定の後、大学と県による合同面接を実施【一般入試】

〔※1〕診療科の限定または推奨がある場合は、備考欄に詳細をご記入ください。

※該当がない場合は、何も記入せずそのままご提出ください。

②その他、都道府県と連携した取組があれば、簡潔にご記入ください。（例：在学中の学生に対する都道府県と連携した相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援）（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
いわて医学奨学生サマーセミナー	地域医療に関する講演、キャリアパス形成に資するワークショップ等	H29
奨学生向け説明・相談会	奨学金制度及びキャリア形成プログラムの説明、学生からの相談対応	H30

※空欄がある場合は、何も記入せずそのままご提出ください。

### 3. その他

**1～2に記入したものの以外で**、その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組があれば、簡潔にご記入ください。（1～3行程度）

特に、都道府県からの奨学金の貸与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組み予定がありましたら、ご記入ください。

本学では地域医療を担う人材を養成することを目的とした大学であり、開講している実習等は地域医療に対する理解を深めることを目的とした内容としており、今後も同様にカリキュラムを編成する予定である。

## 学生確保の見通し等を記載した書類

### 目次

- (1) 収容定員を増加する組織の概要
  - ① 収容定員を増加する組織の概要 . . . . . 2
  - ② 収容定員を増加する組織の特色 . . . . . 2
- (2) 人材需要の社会的な動向等
  - ① 収容定員を増加する組織で養成する人材の全国的、地域的、  
社会的動向の分析 . . . . . 2
  - ② 中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析 . . . . . 3
  - ③ 収容定員を増加する組織の主な学生募集地域 . . . . . 3
  - ④ 既設組織の定員充足の状況 . . . . . 4
- (3) 学生確保の見通し
  - ① 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果
    - ア 既設組織における取組とその目標 . . . . . 4～5
    - イ 収容定員を増加する組織における取組とその目標 . . . . . 5
    - ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、収容定員を増加する組織での  
入学者の見込み数 . . . . . 5～6
  - ② 競合校の状況分析
    - ア 競合校の選定理由と収容定員を増加する組織との比較分析、優位性 . 6～7
    - イ 競合校の入学志願動向等 . . . . . 7
    - ウ 収容定員を増加する組織において定員を充足できる根拠等 . . . . . 7
    - エ 学生納付金等の金額設定の理由 . . . . . 7
  - ③ 先行事例分析 . . . . . 7
  - ④ 学生確保に関するアンケート調査 . . . . . 7～8
  - ⑤ 人材需要に関するアンケート調査等 . . . . . 8
- (4) 収容定員を増加する組織の定員設定の理由 . . . . . 8

## (1) 収容定員を増加する組織の概要

### ① 収容定員を増加する組織の概要(名称、入学定員(編入学定員)、収容定員、所在地)

名称	入学定員	編入学定員	収容定員	所在地
岩手医科大学 医学部 医学科	130	-	605	岩手県紫波郡矢巾町 医大通一丁目1番1号

### ② 収容定員を増加する組織の特色

岩手医科大学(以下「本学」という。)は、岩手県内唯一の医学部を有し、歯学部、薬学部、看護学部とともに医療系総合大学として、多岐にわたる教育と研究を展開している。本学医学部の特色は、豊かな人間性と高い倫理観を備え、教育、診療、研究の各分野でリーダーシップを発揮できる人材を育成する点にある。学生は、医師としての専門知識や高度な技能を習得するだけでなく、幅広い教養を身につけ、自己研鑽を続けることで、常に進化する医学に対応できる能力を養うことを目指している。さらに、岩手県が抱える医師不足という課題に応えるべく、地域医療に根ざした教育や実践的な研修プログラムを整備している。また、歯学部、薬学部、看護学部との緊密な連携を通じて、多職種協働のスキルを身につけた総合的な医療人を育成し、地域社会に大きく貢献している。

## (2) 人材需要の社会的な動向等

### ① 収容定員を増加する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

全国的に、医療技術の進歩と高齢化の進行に伴い、高度な専門知識と技能を持つ医師への需要がますます高まっている。本学は、全国から多くの入学者を受け入れ、高度なスキルを持つ医師を安定的に輩出することで、社会に寄与している。

一方、岩手県における医師数(人口 10 万人あたり)は増加傾向にあるものの、全国平均と比較して依然として低い水準にあり、その差は拡大しつつある。特に、盛岡医療圏以外の地域では医師の偏在が顕著であり、医師偏在指標において、岩手県全体の指標は182.5、釜石医療圏の指標は107.8と、いずれも全国で最も低い数値を示している【資料1】。岩手県において、地域医療を支える医師の確保は喫緊の課題であり、本学が養成する医師は、岩手県の医療において欠かせない存在となっている。

さらに、社会全体では、高齢化の進行に伴い医療需要が急増することが予測されている。特に、団塊の世代が後期高齢者となる2025年以降は、慢性疾患の増加や介護ニーズの拡大が医療機関への負担を一層増大させることが懸念されている。また、医療技術の進歩により、さらに高度な専門知識と技能を持つ医師が求められることになる。こうした状況を踏まえ、持続可能な医療提供体制を構築するためには、これまで以上に多くの医師を確保することが不可欠である。

## ②中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

株式会社リクルートが運営する「リクルート進学総研」の予測によると、全国的に18歳人口は減少傾向にあるが、令和7年(2025年)には全国で前年比2.8万人の増加が見込まれ、総数は109.1万人に達する見通しである。しかし、その後は再び減少に転じ、令和9年(2027年)には108.5万人まで減少するとされている。岩手県を含む東北地方でも、令和7年(2025年)に一時的な増加が見られるが、令和9年(2027年)には7.0万人まで減少するとの予測がなされている【資料2】。

一方で、医学部の競争倍率は依然として非常に高く、全国の受験生が地域を問わず複数の大学に志願する傾向が続いている。日本私立学校振興・共済事業団が公表した「令和5(2023)年度私立大学・短期大学等入学志願動向」によれば、私立大学医学部の入学定員は令和4年度の4,125名から令和5年度には4,153名へと微増し、志願者数も令和4年度の97,957名から令和5年度には102,448名へと増加している。これにより、志願倍率も23.8倍から24.7倍へと上昇しており、医学部の人気は引き続き高い水準を維持している【資料3】。

このような背景を踏まえると、18歳人口が中長期的に減少する中でも、医学部への進学希望者は依然として多く、増員後の定員も充足する見通しである。

## ③収容定員を増加する組織の主な学生募集地域

本学医学部は全国規模で学生募集を展開しており、その設定の妥当性を評価するために、収容定員を増加する組織が置かれる都道府県への入学状況【別紙1】と、本学医学部の過去3年間の志願者および入学者の出身地の実績【資料4】を分析した。

まず、岩手県に所在する大学の定員充足状況について、文部科学省の「学校基本調査」に基づいて集計したデータを確認した。このデータによると、令和3年度から令和5年度にかけて定員充足率は96.50%から87.10%へと低下しており、地域の人口減少や志願者数の減少、さらには大学進学志向の変化が影響を与えていると考えられる。しかし、本学医学部では、このような地域的な影響が必ずしも当てはまらないことが確認された。

本学医学部の過去3年間の志願者数および入学者数を分析した結果、全国各地から多様な志願者が集まっていることが確認された。特に、東京都からの志願者数は令和4年度で463名、令和6年度で536名と増加傾向にあり、入学者数も安定している。このデータは、岩手県に限らず、全国的な学生募集が非常に効果的であることを示している。また、他の都道府県からの志願者も安定しており、特定の地域に依存せずに広範囲から学生を確保できていることが確認された。

さらに、日本私立学校振興・共済事業団が公開している「私立大学・短期大学等入学志願動向」に基づき集計した学部系統別定員充足状況を考慮すると、医学部は常に高い充足率を維持しており、全国的にも非常に人気の高い学部であることが裏付けられている。本学医学部もこの傾向を反映しており、全国からの志願者をターゲットにすることで、安定した定員充足率を維持しつつ、多様性に富んだ教育環境を提供することが可能である。

以上の分析結果から、本学医学部が全国規模での学生募集を行うことは極めて妥当であると結論づけられる。

#### ④既設組織の定員充足の状況

既設学科等の入学定員の充足状況は【別紙 2】のとおりである。

医学部では、過去 5 年間にわたって募集人数を大幅に超える志願者および合格者を確保しており、定員充足率も 100%の状況が継続している。このことから、今後も安定的に定員を充足する見込みである【別紙 2-1】。

歯学部では、令和 3 年度以降、志願者数が約半数に減少しているものの、定員を充足するための合格者数は一定程度確保している。しかし、入学者数は依然として減少傾向にあり、合格者を本学に引き留めることが重要な課題となっている【別紙 2-2】。今後は、教育課程や教育環境の充実と改善を図るとともに、幅広い広報戦略を展開し、定員充足を目指す方針である。具体的には、カリキュラムの再編や教育環境の整備を進めることで留年率の減少と国家試験合格率の向上を図り、歯学部の魅力を一層高める。また、独自のホームページや広報活動を強化し、臨床実習の強みを PR することで志願者数の増加を目指す。さらに、医学部入学試験利用選抜や特待生制度の導入により、柔軟な入学選択の幅を提供し、優秀な学生へのインセンティブを強化することで定員確保を推進する。

薬学部では、定員充足率の低下が続いており、直近では入学定員に対して半数程度の入学者にとどまっている【別紙 2-3】。このため、令和 6 年度から入学定員を 50 名に変更し、充足率は 66.0%に改善した。今後は、減少傾向にある志願者数の増加を目指しつつ、入学生の学力を維持し、さらに定員充足の改善を図る方針である。また、都市部への志願者流出を防ぐため、特定機能病院での実習や多職種連携教育の強みをアピールし、キャンパス環境を積極的に PR している。加えて、特待生制度の導入により経済的支援を強化し、志願者数の増加と定員確保を目指す。さらに、薬剤師国家試験の合格率向上を踏まえ、広報活動を通じて薬学部の魅力を発信し、入学者を確保する方針である。

看護学部は過去 5 年間にわたり定員を充足しており【別紙 2-4】、今後も安定した状況が続くと見込んでいる。

### (3) 学生確保の見通し

#### ①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

##### ア 既設組織における取組とその目標

本学における学生募集のための PR 活動について、過去の実績と分析を報告する。令和 4 年度および令和 5 年度の入試における WEB オープンキャンパスの資料請求者を対象とした PR 活動に加え、個別相談会や進学相談会への参加者数、受験率、入学率についても詳細に分析した。

令和 4 年度には、WEB オープンキャンパスで 312 名、令和 5 年度には 301 名が資料請求を行った。令和 4 年度の受験対象者は 230 名で、そのうち 190 名が受験し、受験率は 82.6%であった。令和 5 年度では、受験対象者が 254 名で、そのうち 194 名が受験し、受験率は 76.4%であった。入学者数は、令和 4 年度で 57 名、令和 5 年度で 72 名であり、入学率はそれぞれ 24.8%、28.3%であ

った。

また、個別相談会や進学相談会においても、令和4年度には個別相談会に29名、進学相談会に303名が参加し、令和5年度ではそれぞれ26名、309名が参加した。これらのイベントは、学生が本学の教育内容や就職支援体制について直接質問できる機会を提供し、出願への意欲を高める効果があると考えられる【別紙3】。

これらのPR活動を通じて、WEBオープンキャンパスや相談会が本学の魅力を伝える上で重要な役割を果たしていることが明らかになった。しかし、受験率および入学率のさらなる向上を図るためには、資料請求者や相談会参加者に対するフォローアップを強化し、出願を確実にする施策が必要である。また、広報戦略を再検討し、参加者数の増加を目指す取り組みも不可欠である。特に、対面型のPR活動が出願決定に与える影響が大きいことを踏まえ、今後はこれらの活動をさらに拡充し、より多くの学生に本学の魅力を伝えることで、学生募集活動の効果が一層高められることを期待する。

#### イ 収容定員を増加する組織における取組とその目標

医学部の学生募集におけるPR活動の方針は、質の高い教育と充実した研究環境を強調しつつ、地域医療への貢献を掲げ、全国から優秀な学生を広く募集することを目的としている。この方針に基づき、まずは医学部のブランド力をさらに強化することに重点を置いている。具体的には、医学部が誇る教育・研究実績を積極的に発信し、全国的な知名度を一層高めることを目指している。特に、卒業生の活躍や最先端の研究成果を通じて、医学部の価値を広く認知させることが重要である。また、デジタルメディアやSNSを活用して、学生や保護者に向けた情報発信を強化し、受験者層の拡大を図る。この戦略により、医学部の魅力を効果的に伝え、志願者数を増やすとともに、より多様な学生を惹きつけることが期待される。

この戦略を実現するためには、全国規模の受験関連媒体への広告展開をさらに強化し、オープンキャンパスや個別相談会を通じて、直接的なコミュニケーションの機会を増やしていくことが重要な柱となる。目標として、次年度の志願者数を前年比で5%増加させるとともに、合格者の質の向上を目指す。これにより、医学部の教育と研究のさらなる質の向上を図り、地域医療を支える人材の確保を実現することを目指している。

#### ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、収容定員を増加する組織での入学者の見込み数

これまでの取り組みとその実績を分析した結果、本学医学部における今後の入学定員は充足するものと見込んでいる。過去のデータは、PR活動が受験率および入学率の向上に大きく寄与していることを示しており、この効果は今後も継続するものと考えられる。

具体的には、WEBオープンキャンパス、個別相談会、進学相談会といったPR活動を通じて、志願者の関心を効果的に引きつけている。令和4年度と令和5年度の資料請求者数や相談会参加者数の増加は、これらの活動が本学の魅力を伝える上で極めて重要な役割を果たしていることを示している。こうしたPR活動が効果的に機能しているということは、今後も同様の取り組みを継続

することで、安定した学生確保が期待できることを示している。

さらに、医学部は過去 5 年間にわたり入学定員を確実に充足してきたという実績がある。この安定した充足率は、全国規模での効果的な PR 戦略や継続的な広報活動の成果である。これまでの成功を踏まえ、同様の戦略を継続することで、今後も確実に入学定員が充足されると見込まれる。

以上の分析結果から、本学医学部は、過去の取り組みを継続することにより、今後も安定して優秀な学生を確保し、質の高い教育と研究環境を維持・向上させることが期待される。

## ②競合校の状況分析(立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況)

### ア 競合校の選定理由と収容定員を増加する組織との比較分析、優位性

競合校として東北医科薬科大学を設定した。設定の理由は、両校が東北地方に位置し、共に医療系大学として地域医療に貢献する使命を持っている点にある。本学と東北医科薬科大学は、地域社会に根ざした医療人材の育成を目指しており、教育内容や方法、研究施設の充実度において多くの共通点がある。しかし、これらの共通点の中においても、本学には独自の強みがあり、その優位性について比較分析を行った。

まず、本学の特徴の一つとして挙げられるのは、学部構成の多様性と教育の総合力である。本学は医学部、歯学部、薬学部、看護学部を有し、各学部が連携して多職種協働教育を展開している。これにより、学生は専門分野を超えて他職種との連携を学び、総合的な医療提供のスキルを習得できる環境が整っている。一方、東北医科薬科大学は薬学部と医学部を有し、特に薬学教育において卓越した実績を持っているが、本学のような複数の専門分野が連携する教育体制には限界がある。この点で、本学の教育体制は広範かつ総合的であり、その強みが明確である。

教育内容と方法においても、本学の独自性が明らかである。本学では、6 年間の教育を通じて、医療従事者としての高度な専門知識と技術、さらには倫理観と人間性を養うことを重視している。また、地域医療に根ざした実践的な教育プログラムを採用しており、学生が在学中から地域医療の現場で経験を積む機会を提供している。これにより、卒業後すぐに現場で活躍できる医療人材を育成している。東北医科薬科大学も地域医療に特化した教育を提供しており、地域社会に貢献できる人材を育てるという点では共通しているが、本学は多様な臨床実習プログラムを通じて、学生がより幅広い医療現場で経験を積むことを可能にしている。この実践的なアプローチが、本学の教育の優位性を裏付けている。

さらに、地域社会との連携や地域医療への貢献という観点でも、本学は強力な基盤を持っている。岩手県内唯一の医学部を有する大学として、本学は長年にわたり地域医療の中核を担ってきた。特に、地域医療における医師不足の問題に対して、大学全体で取り組み、地域医療従事者の育成と定着に力を入れている。また、地域卒の設定により、地元出身の学生が卒業後に地元で医療従事することを促進しており、これにより地域医療の持続可能性を高めている。東北医科薬科大学も地域に根ざした教育を行っており、地域社会への貢献は共通の目標であるが、本学はその長年の経験と取り組みにより、地域医療の発展において特筆すべき成果を上げている。

総括すると、本学はその総合的な学部構成、実践的で幅広い教育内容、最先端の研究設備、

そして地域医療への深い貢献において、競合校と比較しても顕著な優位性を持っている。両校はともに地域社会に貢献する教育機関であり、東北地方における医療教育のリーダーシップを発揮しているが、本学はその総合力と長年にわたる取り組みにより、さらに強固な競争力を築いている。

#### イ 競合校の入学志願動向等

東北医科薬科大学は、多くの志願者数と安定した定員充足率を維持しており、地域医療に貢献する優れた教育機関として高く評価されている。同様に、本学も志願者数が増加傾向にあり、令和6年度には2,608名の志願者を集めた。これは、両校が東北地方の医療系大学として確固たる人気と信頼を築いていることを示している。

本学は、医学部に加え、歯学部、薬学部、看護学部を有する総合医療系大学として、多角的な教育を提供している。この幅広い学問分野の提供が、学生にとって魅力的な選択肢となり、志願者数の増加に寄与している。また、最新の医療設備を備えた教育環境が整っており、学生は高度なスキルを身につける機会を得ている。

これらの充実した教育環境と学問分野の多様性を背景に、東北医科薬科大学が安定的に定員を充足しているのと同様に、本学においても増員後の定員が確実に充足される見込みである【資料5】。

ウ 収容定員を増加する組織において定員を充足できる根拠等(競合校定員未充足の場合のみ)  
競合校の定員が充足しているため、省略する【資料5】。

#### エ 学生納付金等の金額設定の理由

医学部の令和6年度学生納付金について、初年度は入学金が2,000,000円、授業料が2,500,000円、実験実習費が500,000円、施設整備費が1,000,000円、教育充実費が3,000,000円であり、これらを合計した6年間の総額は34,000,000円となる。他の私立大学医学部と比較すると、本学の学費は平均的な範囲内に位置している【資料6】。令和7年度も現行の設定を維持する方針であり、この設定が学生募集に与える影響は少ないものと考えている。

### ③ 先行事例分析

令和6年度において増員を実施した私立大学医学部における入学定員の充足状況を調査した。その結果、多くの大学において増加後の定員を充足する入学者数を確保していた【資料7】。この実績に基づき、令和7年度においても、増員後の本学の入学定員は充足するもの考える。

### ④ 学生確保に関するアンケート調査

今回の申請は「収容定員に係る学則変更の認可申請」であり、増員分を対象とする「地域枠入学者選抜」における過去5年間の志願者数および入学者数の実績から、増員分の定員設定は妥当であると判断している。さらに、これまでの分析結果から令和7年度入学者選抜においても定員

の充足が見込まれることから、アンケート調査は実施しないこととした。

#### ⑤人材需要に関するアンケート調査等

近年、全国的に医師の供給が増加している一方で、都市部と地方における医師の分布には依然として大きな偏在が存在しており、この問題は今後も続く予測される。厚生労働省のデータによれば、都市部では医師数が増加しており、特に高度医療を提供する大病院への医師の集中が顕著である。一方、地方では依然として医師数が不足しており、特にへき地や離島といった地域では、医療提供体制が脆弱な状況が続いている。

医師偏在指標に基づく分析では、都市部では医師が過剰に存在する一方で、地方では医師一人当たりの患者数が過大であり、医療提供に大きな負担がかかっていることが示されている。この偏在の原因として、都市部における医療機関の集積や、医師が都市部に集中する傾向が挙げられる。また、地方では医療機関の数が限られているため、若手医師の教育環境やキャリアパスが都市部に比べて乏しく、医師の定着が困難であるという問題も指摘されている。

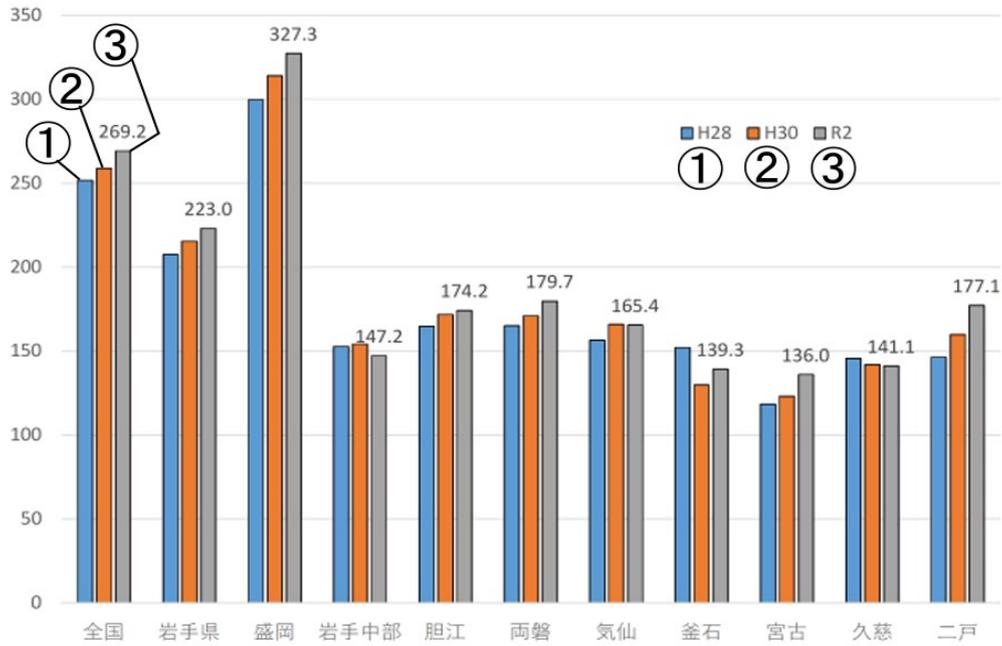
今後、医師の需要は全国的に増加することが予測されるが、特に地方における医師不足の解消が喫緊の課題である。政府は地域医療構想の下で地方の医師確保に向けた施策を推進しているが、現状の偏在を是正するにはさらなる取り組みが必要である。例えば、医師の偏在を是正するために、医学生や若手医師に対して地方勤務を促進する奨学金制度の拡充や、地方における医師のキャリア形成を支援するプログラムの強化が求められる。

本学では、このような社会的課題に対応するため、これまでも増員分に対応した地域枠入学者選抜を通じて地域医療に関心のある学生を積極的に受け入れ、岩手県の地域医療に貢献する医師の養成に取り組んできた。今後も、岩手県における医師不足を解消するため、増員した定員を最大限に活用し、地域医療を支える人材を育成する方針である。

#### (4) 収容定員を増加する組織の定員設定の理由

今回の医学部収容定員の変更は、医師不足が深刻な地域や診療科での医師確保を目的としている。具体的には、2008年度の「新医師確保総合対策」による10名、2009年度の「緊急医師確保対策」による5名、2010年度以降の「地域の医師確保の観点からの定員増」による13名、そして2023年度の「地域の医師確保および診療科偏在対策」による7名の計35名を増員するものである。本学は、これらの増員を通じて、地域医療に貢献できる医師の養成と定着を図り、地域医療の課題解決と持続可能な医療体制の構築に積極的に取り組んでいく方針である。

保健医療圏別の医師数（人口10万対）



岩手県「岩手県保健医療計画（2024-2029）」より

医師偏在指標（都道府県・二次医療圏別）

圏域等	医師偏在指標	順位	区分
岩手県	182.5	47	医師少数県
盛岡	244.6	78	医師多数区域
二戸	200.9	156	
両磐	151.1	289	医師少数区域
胆江	144.9	300	医師少数区域
気仙	144.1	303	医師少数区域
久慈	142.4	305	医師少数区域
岩手中部	135.4	316	医師少数区域
宮古	134.5	318	医師少数区域
釜石	107.8	330	医師少数区域

岩手県「岩手県保健医療計画（2024-2029）」より

## エリア別18歳人口予測(2023年～2035年)

年度	全国(万人)	東北(人)	岩手(人)
2023年	109.7	75,379	10,677
2024年	106.3	71,820	10,092
2025年	109.1	73,013	10,396
2026年	109.3	71,988	10,077
2027年	108.5	70,738	9,967
2028年	106.9	68,758	9,742
2029年	106.7	68,222	9,604
2030年	105.0	66,499	9,351
2031年	103.5	65,191	9,193
2032年	102.4	65,404	9,122
2033年	101.3	63,713	8,804
2034年	100.6	63,249	8,637
2035年	97.0	60,112	8,265

※株式会社リクルート「リクルート進学総研 マーケットレポート2022 Vol.120 2024年2月号」より

## 医学部の志願者・入学者動向(私立大学)

系統区分	入学定員(人)		志願者数(人)		入学者数(人)		志願倍率(倍)	
	R4年度	R5年度	R4年度	R5年度	R4年度	R5年度	R4年度	R5年度
医学	4,125	4,153	97,957	102,448	4,146	4,171	23.8	24.7

※日本私立学校振興・共済事業団「令和5(2023)年度私立大学・短期大学等入学志願動向」より

岩手医科大学医学部における出身地別志願者数等（過去3年間）

（単位：人）

年度 区分	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
北海道	122	6	130	5	120	7
青森県	35	1	34	6	34	3
岩手県	128	26	115	24	134	28
宮城県	102	6	93	9	99	9
秋田県	34	5	21	3	22	3
山形県	23	2	22	4	28	2
福島県	36	2	39	2	45	7
茨城県	73	1	66	2	76	1
栃木県	38	2	46	0	53	2
群馬県	25	2	34	3	41	0
埼玉県	141	4	119	1	138	7
千葉県	53	4	44	3	60	1
東京都	463	19	490	22	536	18
神奈川県	139	3	146	4	150	3
新潟県	37	4	39	1	39	0
富山県	7	0	5	0	6	0
石川県	7	1	8	0	14	1
福井県	4	0	5	0	10	0
山梨県	23	0	26	2	27	1
長野県	39	2	52	1	50	4
岐阜県	17	0	14	2	21	0
静岡県	50	4	53	1	62	1
愛知県	69	0	102	5	102	3
三重県	13	2	18	0	23	1
滋賀県	10	0	12	2	6	0
京都府	30	3	38	4	44	0
大阪府	139	2	156	6	165	3
兵庫県	54	4	64	2	73	5
奈良県	32	1	32	0	33	2
和歌山県	15	1	8	1	10	0
鳥取県	7	0	6	0	5	1
島根県	5	0	6	1	4	0
岡山県	31	0	33	0	29	1
広島県	39	2	36	5	37	0
山口県	12	0	13	1	15	0
徳島県	7	0	8	0	4	0
香川県	9	1	10	1	8	0
愛媛県	11	0	10	0	16	1
高知県	7	0	6	0	5	1
福岡県	68	2	74	1	73	4
佐賀県	39	2	45	2	37	2
長崎県	37	0	38	1	28	2
熊本県	19	2	16	0	20	0
大分県	13	1	8	1	12	1
宮崎県	11	0	13	0	8	0
鹿児島県	29	3	23	0	33	1
沖縄県	10	1	17	2	14	2
外国等	8	1	4	0	11	0
専修学校高等課程	0	0	0	0	1	0
高卒認定	24	1	13	0	27	2
合計	2,344	123	2,410	130	2,608	130

## 競合校との比較

項目	年度	岩手医科大学	東北医科薬科大学
定員	令和4年度	123人	100人
	令和5年度	130人	100人
	令和6年度	130人	100人
志願者数	令和4年度	2344人	1840人
	令和5年度	2410人	1806人
	令和6年度	2608人	2170人
受験者数	令和4年度	2297人	1760人
	令和5年度	2356人	1752人
	令和6年度	2543人	2093人
合格者数	令和4年度	284人	361人
	令和5年度	285人	343人
	令和6年度	300人	342人
入学者数	令和4年度	123人	100人
	令和5年度	130人	100人
	令和6年度	130人	100人
定員充足率	令和4年度	100.0%	100.0%
	令和5年度	100.0%	100.0%
	令和6年度	100.0%	100.0%

※大学HPから集計

## 【医学部】 令和6年度 私立医科大学 学生納付金

(単位：千円)

	大学名	初年度計	次年度以降計	6年間合計	備考
1	国際医療福祉大学	4,500	2,800	18,500	
2	順天堂大学	2,900	3,580	20,800	
3	関西医科大学	2,900	3,620	21,000	
4	日本医科大学	4,500	3,500	22,000	
5	慶應義塾大学	3,900	3,700	22,400	スライド制適用
6	東京慈恵会医科大学	3,500	3,800	22,500	
7	自治医科大学	4,600	3,600	22,600	
8	東邦大学	4,800	4,200	25,800	
9	昭和大学	4,500	4,500	27,000	
10	大阪医科薬科大学	5,985	4,485	28,410	
11	東京医科大学	4,800	4,920	29,400	
12	藤田医科大学	6,300	4,700	29,800	
13	産業医科大学	5,915	4,915	30,490	
14	日本大学	6,350	5,350	33,100	
<b>15</b>	<b>岩手医科大学</b>	<b>9,000</b>	<b>5,000</b>	<b>34,000</b>	
15	東北医科薬科大学	6,500	5,500	34,000	
17	愛知医科大学	8,200	5,200	34,200	
18	聖マリアンナ医科大学	6,970	5,570	34,820	
19	東海大学	6,400	5,720	35,000	
20	近畿大学	6,800	5,800	35,800	
21	久留米大学	9,200	6,200	36,200	2年次
			5,200		3・4・5・6年次
22	獨協医科大学	8,600	5,600	36,600	
23	杏林大学	9,500	5,500	37,000	
23	兵庫医科大学	8,500	5,700	37,000	
23	埼玉医科大学	8,250	5,750	37,000	
26	福岡大学	8,600	7,600	37,600	2・3年次
			4,600		4・5・6年次
27	北里大学	9,000	6,400	38,900	2・3年次
			5,700		4・5・6年次
28	帝京大学	9,362	6,002	39,372	
29	金沢医科大学	11,000	6,000	39,500	2・3・4年次
			5,500		5年次
			5,000		6年次
30	東京女子医科大学	11,300	6,808	45,340	
31	川崎医科大学	10,500	7,000	45,500	

令和6年度私立大学医学部における収容定員の増加後の入学定員充足率について

大学名	入学定員 (増加前) (人)	増員数 (人)	入学定員 (増加後) (人)	入学者数 (人)	充足率
岩手医科大学	95	35	130	130	100.0%
自治医科大学	100	23	123	123	100.0%
獨協医科大学	110	16	126	未公表	未公表
埼玉医科大学	110	20	130	130	100.0%
杏林大学	105	14	119	119	100.0%
順天堂大学	105	35	140	140	100.0%
昭和大学	110	21	131	129	98.5%
帝京大学	110	8	118	118	100.0%
東京医科大学	113	10	123	123	100.0%
日本大学	120	15	135	135	100.0%
日本医科大学	110	15	125	126	100.8%
北里大学	110	16	126	未公表	未公表
聖マリアンナ医科大学	110	7	117	未公表	未公表
東海大学	110	8	118	未公表	未公表
金沢医科大学	110	1	111	111	100.0%
愛知医科大学	105	10	115	115	100.0%
藤田医科大学	110	10	120	未公表	未公表
大阪医科薬科大学	110	2	112	110	98.2%
関西医科大学	110	17	127	127	100.0%
近畿大学	95	17	112	111	99.1%
兵庫医科大学	108	4	112	未公表	未公表
川崎医科大学	110	16	126	126	100.0%
久留米大学	110	5	115	未公表	未公表

※各大学公表データから集計（令和6年8月20日時点）

※収容定員の増加に係る学則変更を行った大学のみ抜粋

## 収容定員を増加する組織が置かれる都道府県への入学状況

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位5都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1	岩手県	1,225人	50.2%
2	宮城県	257人	10.5%
3	青森県	234人	9.6%
4	秋田県	141人	5.8%
5	山形県	69人	2.8%
	全 体	2,442人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○収容定員を増加する組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県)	充足率		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	岩手県	96.50%	86.20%	87.10%
2				

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○収容定員を増加する組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	医学	100.20%	100.51%	100.43%
2	歯学	75.83%	76.13%	78.50%
3	薬学	88.61%	94.79%	94.66%
4	保健系	99.97%	99.28%	96.79%

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	0人	0人	0人	5人	8人	3人	
	延べ人数	志願者数				35人	32人	34人
		受験者数				35人	32人	34人
		合格者数				6人	10人	8人
		うち追加合格者数				1人	0人	1人
		辞退者数				1人	0人	1人
	実人数	志願者数				35人	32人	34人
		受験者数				35人	32人	34人
		合格者数				6人	10人	8人
		うち追加合格者数				1人	0人	1人
		辞退者数				1人	0人	1人
	入学者数				5人	10人	8人	
	学校推薦型選抜	募集人数	30人	38人	40人	40人	37人	37人
		延べ人数	志願者数	118人	128人	100人	108人	78人
受験者数			118人	125人	99人	108人	78人	106人
合格者数			30人	38人	40人	40人	35人	36.6
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0
辞退者数			0人	0人	0人	0人	0人	0
実人数		志願者数	105人	112人	82人	78人	58人	87
		受験者数	105人	110人	81人	78人	58人	86.4
		合格者数	30人	38人	40人	40人	35人	36.6
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
入学者数		30人	38人	40人	40人	35人	36.6	
一般選抜		募集人数	90人	85人	83人	78人	85人	84.2
		延べ人数	志願者数	2951人	2420人	2207人	2201人	2300人
	受験者数		2834人	2331人	2152人	2154人	2246人	2343.4
	合格者数		249人	224人	231人	238人	240人	236.4
	うち追加合格者数		106人	79人	90人	93人	88人	91.2
	辞退者数		159人	139人	148人	160人	155人	152.2
	実人数	志願者数	2951人	2420人	2207人	2201人	2300人	2415.8
		受験者数	2834人	2331人	2152人	2154人	2246人	2343.4
		合格者数	249人	224人	231人	238人	240人	236.4
		うち追加合格者数	106人	79人	90人	93人	88人	91.2
		辞退者数	159人	139人	148人	160人	155人	152.2
	入学者数	90人	85人	83人	78人	85人	84.2	
	共通テスト利用入試	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		延べ人数	志願者数					
受験者数								#DIV/0!
合格者数								#DIV/0!
うち追加合格者数								#DIV/0!
辞退者数								#DIV/0!
実人数		志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
入学者数							#DIV/0!	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		延べ人数	志願者数					
	受験者数							#DIV/0!
	合格者数							#DIV/0!
	うち追加合格者数							#DIV/0!
	辞退者数							#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	入学者数						#DIV/0!	
	合計	募集人数	120人	123人	123人	123人	130人	124人
		延べ人数	志願者数	3069人	2548人	2307人	2344人	2410人
受験者数			2952人	2456人	2251人	2297人	2356人	2462人
合格者数			279人	262人	271人	284人	285人	276人
うち追加合格者数			106人	79人	90人	94人	88人	91人
辞退者数			159人	139人	148人	161人	155人	152人
実人数		志願者数	3056人	2532人	2289人	2314人	2390人	2516人
		受験者数	2939人	2441人	2233人	2267人	2336人	2443人
		合格者数	279人	262人	271人	284人	285人	276人
		うち追加合格者数	106人	79人	90人	94人	88人	91人
		辞退者数	159人	139人	148人	161人	155人	152人
入学者数		120人	123人	123人	123人	130人	124人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	120人	123人	123人	123人	130人	123.8
入学定員充足率	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
歩留率	0.43	0.47	0.45	0.43	0.46	0.45

（備考）特記事項がある場合は記載すること。  
 学校推薦型選抜および総合型選抜では、次のとおり1つの出願で2つの入試区部の併願ができるものがある。  
 ①地域枠A（岩手県出身者枠）と地域枠B（東北出身者枠） ②地域枠B（東北出身者枠）と公募制 ③秋田県地域枠と地域枠B（東北出身者枠）  
 ④秋田県地域枠と公募制、⑤秋田県地域枠と地域枠B（東北出身者枠）と公募制、⑥総合型選抜（地域医療医師育成特別枠）と公募制

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）  
 大学学部学科等名：岩手医科大学歯学部歯学科

別紙2-2

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
辞退者数							#DIV/0!	
入学者数						#DIV/0!		
学校推薦型選抜	募集人数	15人	15人	15人	15人	15人	15人	
	延べ人数	志願者数	2人	5人	6人	9人	10人	6人
		受験者数	2人	5人	6人	9人	10人	6人
		合格者数	2人	5人	6人	9人	10人	6.4
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実人数	志願者数	2人	5人	6人	9人	10人	6.4
		受験者数	2人	5人	6人	9人	10人	6.4
		合格者数	2人	5人	6人	9人	10人	6.4
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0	
入学者数	2人	5人	6人	9人	10人	6.4		
一般選抜	募集人数	32人	32人	32人	32人	32人	32	
	延べ人数	志願者数	108人	124人	83人	56人	52人	84.6
		受験者数	86人	102人	62人	47人	47人	68.8
		合格者数	75人	88人	58人	38人	39人	59.6
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	35人	41人	26人	18人	26人	29.2
	実人数	志願者数	108人	124人	83人	56人	52人	84.6
		受験者数	86人	102人	62人	47人	47人	68.8
		合格者数	75人	88人	58人	38人	39人	59.6
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
辞退者数		35人	41人	26人	18人	26人	29.2	
入学者数	40人	47人	32人	20人	13人	30.4		
共通テスト利用入試	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
辞退者数							#DIV/0!	
入学者数						#DIV/0!		
その他の特別選抜	募集人数	10人	10人	10人	10人	10人	10	
	延べ人数	志願者数	45人	55人	26人	30人	23人	35.8
		受験者数	36人	40人	20人	27人	21人	28.8
		合格者数	32人	29人	19人	26人	21人	25.4
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	24人	22人	17人	23人	14人	20
	実人数	志願者数	45人	55人	26人	30人	23人	35.8
		受験者数	36人	40人	20人	27人	21人	28.8
		合格者数	32人	29人	19人	26人	21人	25.4
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
辞退者数		24人	22人	17人	23人	14人	20	
入学者数	8人	7人	2人	3人	7人	5.4		
合計	募集人数	57人	57人	57人	57人	57人	57人	
	延べ人数	志願者数	155人	184人	115人	95人	85人	127人
		受験者数	124人	147人	88人	83人	78人	104人
		合格者数	109人	122人	83人	73人	70人	91人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	59人	63人	43人	41人	40人	49人
	実人数	志願者数	155人	184人	115人	95人	85人	127人
		受験者数	124人	147人	88人	83人	78人	104人
		合格者数	109人	122人	83人	73人	70人	91人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数		59人	63人	43人	41人	40人	49人	
入学者数	50人	59人	40人	32人	30人	42人		

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	73人	73人	73人	73人	73人	73
入学定員充足率	0.68	0.81	0.55	0.44	0.41	0.58
歩留率	0.46	0.48	0.48	0.44	0.43	0.46

（備考）特記事項がある場合は記載すること。  
 その他の特別選抜は、共通テスト利用選抜となっているが、共通テストの成績の他に面接による評価を加えているため、共通テスト利用入試欄ではなく、その他の特別選抜欄に記載している。また、平成31年度のみ、その他の特別選抜の人数に、同窓生入試の人数も含まれている（志願者4、受験者4、合格者4、追加合格0、辞退者0、入学者4）。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）  
 大学学部学科等名：岩手医科大学薬学部薬学科

別紙2-3

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
入学者数						#DIV/0!		
学校推薦型選抜	募集人数	40人	40人	20人	20人	20人	28人	
	延べ人数	志願者数	24人	23人	22人	18人	20人	21人
		受験者数	24人	23人	22人	18人	20人	21人
		合格者数	21人	19人	18人	15人	17人	18
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実人数	志願者数	24人	23人	22人	18人	20人	21.4
		受験者数	24人	23人	22人	18人	20人	21.4
		合格者数	21人	19人	18人	15人	17人	18
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
入学者数	21人	19人	18人	15人	17人	18		
一般選抜	募集人数	70人	70人	50人	50人	50人	58	
	延べ人数	志願者数	102人	87人	69人	67人	65人	78
		受験者数	97人	64人	51人	48人	52人	62.4
		合格者数	82人	47人	39人	37人	36人	48.2
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	57人	25人	20人	20人	20人	28.4
	実人数	志願者数	102人	87人	69人	67人	65人	78
		受験者数	97人	64人	51人	48人	52人	62.4
		合格者数	82人	47人	39人	37人	36人	48.2
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	57人	25人	20人	20人	20人	28.4
入学者数	25人	22人	19人	17人	16人	19.8		
共通テスト利用入試	募集人数	10人	10人	10人	10人	10人	10	
	延べ人数	志願者数	55人	48人	42人	36人	33人	42.8
		受験者数	55人	48人	42人	36人	33人	42.8
		合格者数	35人	36人	35人	21人	19人	29.2
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	35人	35人	34人	21人	18人	28.6
	実人数	志願者数	55人	48人	42人	36人	33人	42.8
		受験者数	55人	48人	42人	36人	33人	42.8
		合格者数	35人	36人	35人	21人	19人	29.2
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	35人	35人	34人	21人	18人	28.6
入学者数	0人	1人	1人	0人	1人	0.6		
その他の特別選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0	
	延べ人数	志願者数	2人	0人	1人	0人	1人	0.8
		受験者数	2人	0人	1人	0人	1人	0.8
		合格者数	2人	0人	1人	0人	1人	0.8
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実人数	志願者数	2人	0人	1人	0人	1人	0.8
		受験者数	2人	0人	1人	0人	1人	0.8
		合格者数	2人	0人	1人	0人	1人	0.8
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
入学者数	2人	0人	1人	0人	1人	0.8		
合計	募集人数	120人	120人	80人	80人	80人	96人	
	延べ人数	志願者数	183人	158人	134人	121人	119人	143人
		受験者数	178人	135人	116人	102人	106人	127人
		合格者数	140人	102人	93人	73人	73人	96人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	92人	60人	54人	41人	38人	57人
	実人数	志願者数	183人	158人	134人	121人	119人	143人
		受験者数	178人	135人	116人	102人	106人	127人
		合格者数	140人	102人	93人	73人	73人	96人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	92人	60人	54人	41人	38人	57人
入学者数	48人	42人	39人	32人	35人	39人		

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	120人	120人	80人	80人	80人	96
入学定員充足率	0.40	0.35	0.49	0.40	0.44	0.42
歩留率	0.34	0.41	0.42	0.44	0.48	0.42

（備考）特記事項がある場合は記載すること。  
 その他の特別選抜は、社会人入学者選抜、帰国子女入学者選抜の合計となっている。また、平成31年度のみ、その他の特別選抜の人数に、同窓生入試の人数も含まれている（志願者1、受験者1、合格者1、追加合格0、辞退者0、入学者1）。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）  
 大文学部学科等名：岩手医科大学看護学部看護学科

別紙2-4

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
入学者数						#DIV/0!		
学校推薦型選抜	募集人数	30人	30人	30人	30人	30人	30人	
	延べ人数	志願者数	46人	42人	39人	35人	43人	41人
		受験者数	46人	42人	39人	35人	43人	41人
		合格者数	26人	31人	31人	30人	29人	29.4
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実人数	志願者数	46人	42人	39人	35人	43人	41
		受験者数	46人	42人	39人	35人	43人	41
		合格者数	26人	31人	31人	30人	29人	29.4
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
入学者数	26人	31人	31人	30人	29人	29.4		
一般選抜	募集人数	60人	60人	60人	60人	60人	60	
	延べ人数	志願者数	194人	237人	191人	174人	164人	192
		受験者数	182人	229人	179人	168人	156人	182.8
		合格者数	114人	111人	118人	120人	119人	116.4
		うち追加合格者数	1人	0人	10人	6人	14人	6.2
		辞退者数	51人	52人	58人	60人	56人	55.4
	実人数	志願者数	194人	237人	191人	174人	164人	192
		受験者数	182人	229人	179人	168人	156人	182.8
		合格者数	114人	111人	118人	120人	119人	116.4
		うち追加合格者数	1人	0人	10人	6人	14人	6.2
		辞退者数	51人	52人	58人	60人	56人	55.4
入学者数	63人	59人	60人	60人	63人	61		
共通テスト利用入試	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
入学者数						#DIV/0!		
その他の特別選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0	
	延べ人数	志願者数	3人	0人	1人	1人	0人	1
		受験者数	3人	0人	0人	1人	0人	0.8
		合格者数	1人	0人	0人	0人	0人	0.2
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実人数	志願者数	3人	0人	1人	1人	0人	1
		受験者数	3人	0人	0人	1人	0人	0.8
		合格者数	1人	0人	0人	0人	0人	0.2
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
入学者数	1人	0人	0人	0人	0人	0.2		
合計	募集人数	90人	90人	90人	90人	90人	90人	
	延べ人数	志願者数	243人	279人	231人	210人	207人	234人
		受験者数	231人	271人	218人	204人	199人	225人
		合格者数	141人	142人	149人	150人	148人	146人
		うち追加合格者数	1人	0人	10人	6人	14人	6人
		辞退者数	51人	52人	58人	60人	56人	55人
	実人数	志願者数	243人	279人	231人	210人	207人	234人
		受験者数	231人	271人	218人	204人	199人	225人
		合格者数	141人	142人	149人	150人	148人	146人
		うち追加合格者数	1人	0人	10人	6人	14人	6人
		辞退者数	51人	52人	58人	60人	56人	55人
入学者数	90人	90人	91人	90人	92人	91人		

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	90人	90人	90人	90人	90人	90
入学定員充足率	1.00	1.00	1.01	1.00	1.02	1.01
歩留率	0.64	0.63	0.61	0.60	0.62	0.62

（備考）特記事項がある場合は記載すること。  
 その他の特別選抜は、社会人入学者選抜となっている。また、平成31年度のみ、その他の特別選抜の人数に、同窓生入試の人数も含まれている（志願者2、受験者2、合格者1、追加合格0、辞退者0、入学者1）。

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：WEBオープンキャンパス資料請求者

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	312人	301人	①取組概要 本学の紹介を行っているWEBオープンキャンパス(常時開設)にある、資料請求フォーム(大学案内と過去問題を送付)に入力した方を参加者総数(a)とし、そのうち保護者やその他の身分を選択した方を排除したものを受験対象者数(b)、入力者の氏名と資料請求した年の入試の受験者氏名が一致したものを受験者数(c)、入力者の氏名と資料請求した年の入学者氏名が一致したものを入学者数(d)とした。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 本学のWEBオープンキャンパスを閲覧し、また大学案内や過去問題を請求する時点で志望度はある程度高い者が予想されるため、受験に結びついていると考えられる。
うち受験対象者数 (b)	230人	254人	
うち受験者数 (c)	190人	194人	
うち入学者数 (d)	57人	72人	
(受験率 c/b)	82.6%	76.4%	
(入学率 d/b)	24.8%	28.3%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：個別相談参加者

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	29人	26人	①取組概要 5月～10月の第1・第4土曜日の午前中に来学またはZoomで個別相談会を実施している。保護者等を含めた相談会参加者を参加者等総数(a)とし、そのうち保護者等の随行者等を除いた数を受験対象者数(b)、相談会参加者氏名とその年の入試の受験者氏名が一致したものを受験者数(c)、相談会参加者の氏名とその年の入学者氏名が一致したものを入学者数(d)とした。受験対象者数を受験者数が上回っているのは、受験対象者1名が複数回出願している場合があるためである。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 個別相談参加理由は大学概要の紹介ということよりも入試内容等の具体的なものについての相談が多いため、相談後については受験に結びついていると考えられる。
うち受験対象者数 (b)	15人	14人	
うち受験者数 (c)	18人	16人	
うち入学者数 (d)	7人	3人	
(受験率 c/b)	120.0%	114.3%	
(入学率 d/b)	46.7%	21.4%	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：進学相談会参加者

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	303人	309人	①取組概要 全国で開催する進学相談会にブース出展し、本学のブースで相談をした方を参加者等総数(a)とし、そのうち、予備校関係者等を除いた数を受験対象者数(b)、相談者名とその年の入試の受験者氏名が一致したものを受験者数(c)、相談者名とその年の入学者氏名が一致したものを入学者数(d)とした。複数回進学相談会に参加し者は1回のみカウントしている。 【R3】 5/14秋田、5/19八戸、5/20青森、5/21弘前、6/2盛岡、6/21盛岡、6/25一関、6/27盛岡、7/4東京、7/11東京、7/12仙台、7/22東京、7/25岡山、7/28広島、8/1京都、8/3福岡、8/8大阪、8/9名古屋、8/9仙台、8/10名古屋、8/16大阪、8/19一関、8/21北九州、8/22福岡、9/5札幌、9/21盛岡 【R4】 6/20盛岡、7/2盛岡、7/10東京、7/10盛岡、7/18東京、7/21北上、7/21一関、7/24東京、7/27大阪、7/31大阪、8/1広島、8/4福岡、8/10名古屋、8/11名古屋、8/16仙台、8/20北九州、8/20札幌、8/28東京、8/28京都、9/2秋田、9/4東京、9/5仙台、9/8八戸、9/16盛岡、9/30盛岡 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 進学相談会参加者の受験割合は高くないが、進学相談会にはたくさんの大学や専門学校等が参加するため、志望度がそれほど高くない場合でも説明を聞きに来るケースがあるため、知名度を上げるために継続して参加する必要があると思われる。
うち受験対象者数 (b)	162人	156人	
うち受験者数 (c)	76人	93人	
うち入学者数 (d)	9人	8人	
(受験率 c/b)	46.9%	59.6%	
(入学率 d/b)	5.6%	5.1%	

④募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数 (b)			
うち受験者数 (c)			
うち入学者数 (d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

⑤募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数 (b)			
うち受験者数 (c)			
うち入学者数 (d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

教 員 名 簿

学 長 又 は 校 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
	学長	オガサワラ クニアキ 小笠原 邦昭 <令和6年4月>		医学博士		岩手医科大学 学長 (令和6.4～令和10.3)